

令和 7 年度
川崎市ひとり親家庭に関するアンケート調査
報告書

令和 7 年 8 月

川崎市

目次

I. 調査概要	4
1. 調査の目的	4
2. 調査対象	4
3. 調査期間	4
4. 調査の方法	4
5. 調査票の回収	4
6. 集計方法	4
II. 調査の結果	5
1. 回答者の属性	5
1. 1. 居住区	5
1. 2. 世帯の状況	6
1. 3. 年齢	7
1. 4. 子の人数	9
1. 5. 末子の年齢	11
1. 6. ひとり親世帯になった時の年齢	12
1. 7. ひとり親世帯になってからの期間	13
1. 8. ひとり親世帯になった時の末子の年齢	15
1. 9. ひとり親世帯になった理由	16
1. 10. 年収	17
1. 11. 児童扶養手当の受給状況	18
1. 12. ひとり親家庭等医療費助成の受給状況	19
1. 13. 生活保護の受給状況	19
2. 住居の状況	20
2. 1. 住居の種類	20
2. 2. 住居費	20
3. 子どもの状況	21
3. 1. 子どもの年齢	21
3. 2. 子どもの修学状況	23
3. 3. 中学校卒業後の進学率	24
3. 4. 子どもに関する最終進学目標	25
① 最終進学目標	25
② 最終進学目標（年収別）	26
4. 相談、支援について	27
4. 1. 身近な支援者	27
4. 2. 支援の内容	28
4. 3. 相談先機関	29
5. 就労の状況	30
5. 1. 就労の状況	30
5. 2. 就労先の数	31
5. 3. 雇用形態	32
① 雇用形態	32
② 雇用形態（児童扶養手当の受給状況別）	33
③ 雇用形態（ひとり親の期間別）	34
5. 4. 就労時間	35
5. 5. キャリアアップの希望	35

①	キャリアアップの希望.....	35
②	キャリアアップの希望（年齢別）.....	36
③	キャリアアップの希望（雇用形態別）.....	37
5. 6.	キャリアアップの課題.....	38
①	キャリアアップの課題.....	38
②	キャリアアップの課題（年齢別）.....	39
③	キャリアアップの課題（雇用形態別）.....	40
5. 7.	キャリアアップを考えない理由.....	41
①	キャリアアップを考えない理由.....	41
②	キャリアアップを考えない理由（年齢別）.....	42
③	キャリアアップを考えない理由（雇用形態別）.....	43
5. 8.	経済的な困りごと.....	44
5. 9.	困りごとの原因.....	45
6.	離婚の際の取り決めについて.....	46
6. 1.	第三者を交えた協議.....	46
6. 2.	子どもの養育に関する取り決め.....	47
①	養育費.....	47
②	親子交流（面会交流）.....	49
③	共同親権.....	51
④	その他.....	52
6. 3.	子どもの養育条件を取り決めなかった理由.....	53
6. 4.	養育費の受け取り状況.....	54
①	養育費の受け取り状況.....	54
②	取り決め方法別.....	55
6. 5.	養育費の金額.....	56
6. 6.	親子交流（面会交流）の実施状況.....	57
①	親子交流（面会交流）の実施状況.....	57
②	養育費の支払い状況別.....	58
6. 7.	親子交流（面会交流）を行わない理由.....	59
6. 8.	離婚前に「あればよかった」と思う機会.....	60
①	離婚前に「あればよかった」と思う機会.....	60
②	取り決めなかった人について.....	61
7.	川崎市の施策について.....	62
7. 1.	母子・父子福祉センターサン・ライヴ.....	62
①	認知・利用の状況.....	62
②	利用していない理由.....	63
7. 2.	ひとり親家庭同士の交流の希望.....	64
7. 3.	支援施策の利用状況.....	65
7. 4.	ひとり親家庭サポートガイドブック.....	66
①	認知・利用の状況.....	66
②	自由意見.....	67
7. 5.	LINE、メールマガジン.....	69
①	認知・利用の状況.....	69
②	利用していない理由.....	70
7. 6.	市の配信情報のうち興味のある情報.....	71
7. 7.	配信情報の意見.....	72
7. 8.	情報を得る方法.....	75
7. 9.	川崎市の施策に関する意見.....	76

I. 調査概要

1. 調査の目的

令和8年度の「第3期川崎市こども・若者の未来応援プラン」を策定するにあたり、近年の物価高騰等の影響下における状況やニーズを把握するとともに、養育費や親子交流についても設問を設けることで、国の動向も踏まえながら効果的な支援施策の実施につなげる。

2. 調査対象

市内ひとり親家庭 6,142 世帯（件）

（児童扶養手当受給資格者・ひとり親家庭等医療費助成制度対象者）

3. 調査期間

令和7年5月7日（水）～令和7年5月31日（土）

4. 調査の方法

郵送配布、インターネット回答。紙での回答希望があった際は、調査票郵送配布及び郵送による回収を実施。

5. 調査票の回収

Webによる回収は2,474件（40.28%）で、紙による回収は1件（0.02%）である。

配布件数	6,142 件
回答件数	2,475 件
回収率	40.3%

6. 集計方法

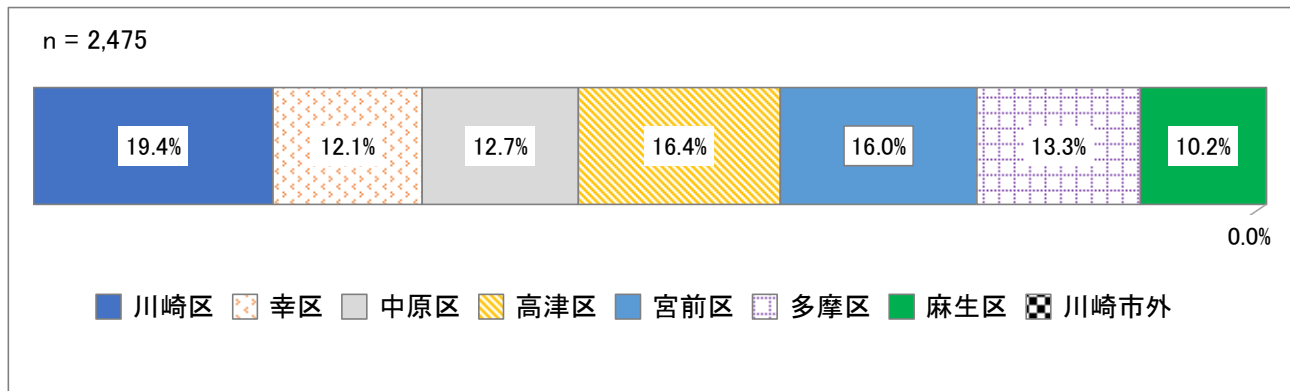
- （1）複数回答の設問は、全ての比率の合計が100%を超える場合がある。
- （2）百分比は回答者数（該当設問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、比率の合計が必ずしも100%にならない場合がある。同様にいくつかの選択肢の小計が、本文中の数字と合致しない場合がある。
- （3）「n」は回答者総数、「SA（シングルアンサー）」は単一回答、「MA（マルチアンサー）」は複数回答のことである。
- （4）データクリーニングを実施しているため母数が合わない場合がある。
- （5）前回比較について、前回と設問や選択肢が異なるものがある。
- （6）前回比較について、比較を行うために、令和3年度のデータを再集計しているものがある。

Ⅱ. 調査の結果

1. 回答者の属性

1. 1. 居住区

設問 1. お住まいの区はどちらですか。(SA)

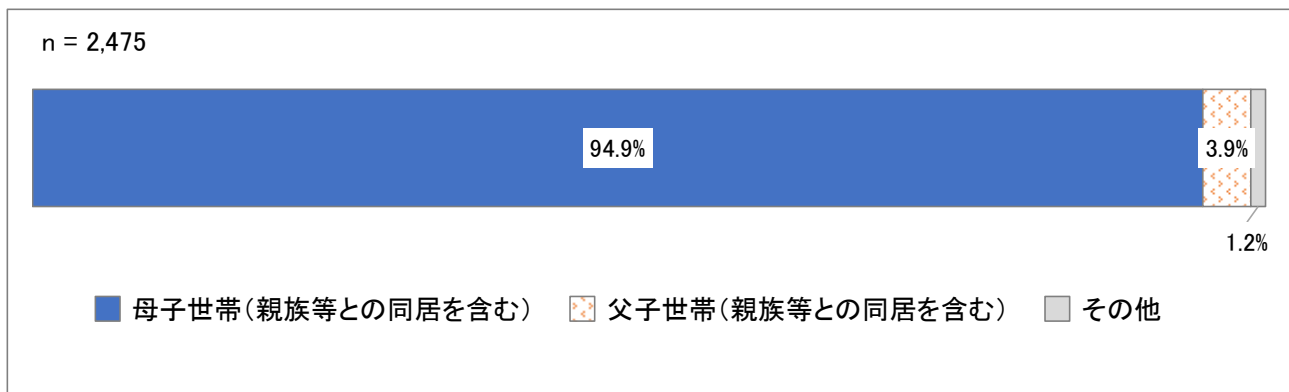


図表 1 居住区

回答者の居住区をみると、「川崎区」が 19.4%と最も高く、次いで、「高津区」(16.4%)、「宮前区」(16.0%)と続いている。

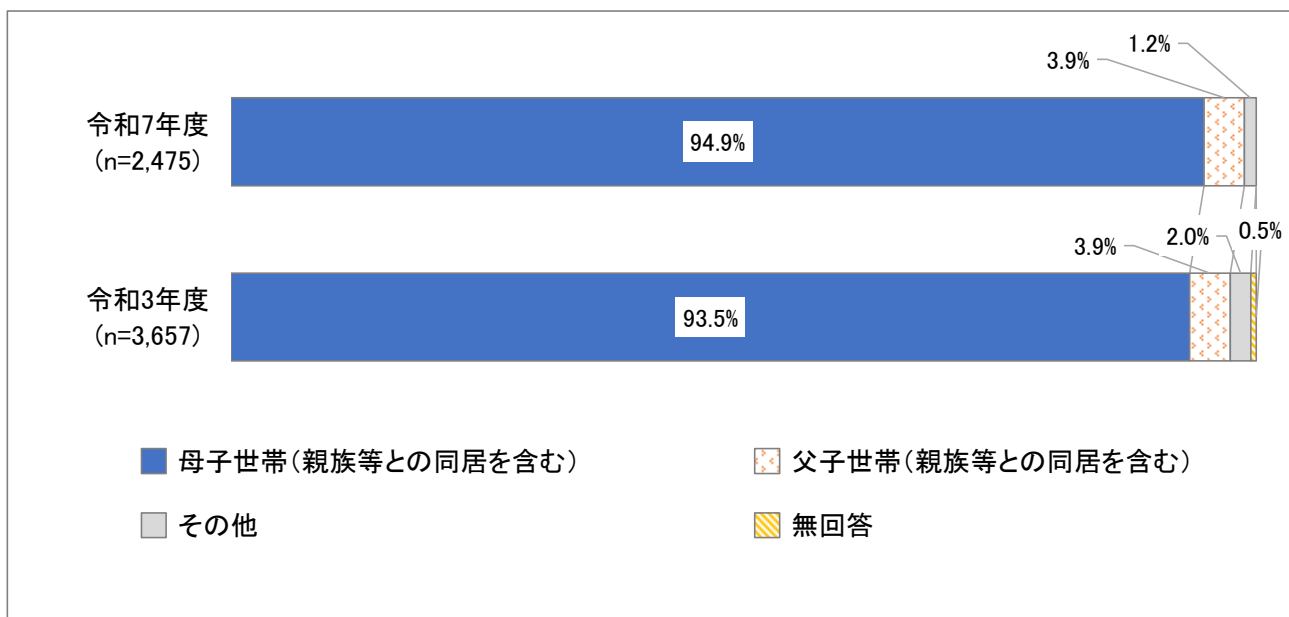
1. 2. 世帯の状況

設問2. 現在の世帯の状況は次のうちどれですか。(SA)



図表 2 世帯の状況

回答者の世帯の状況をみると、「母子世帯(親族等との同居を含む)」が 94.9%と最も高く、次いで、「父子世帯(親族等との同居を含む)」(3.9%)、「その他」(1.2%)と続いている。

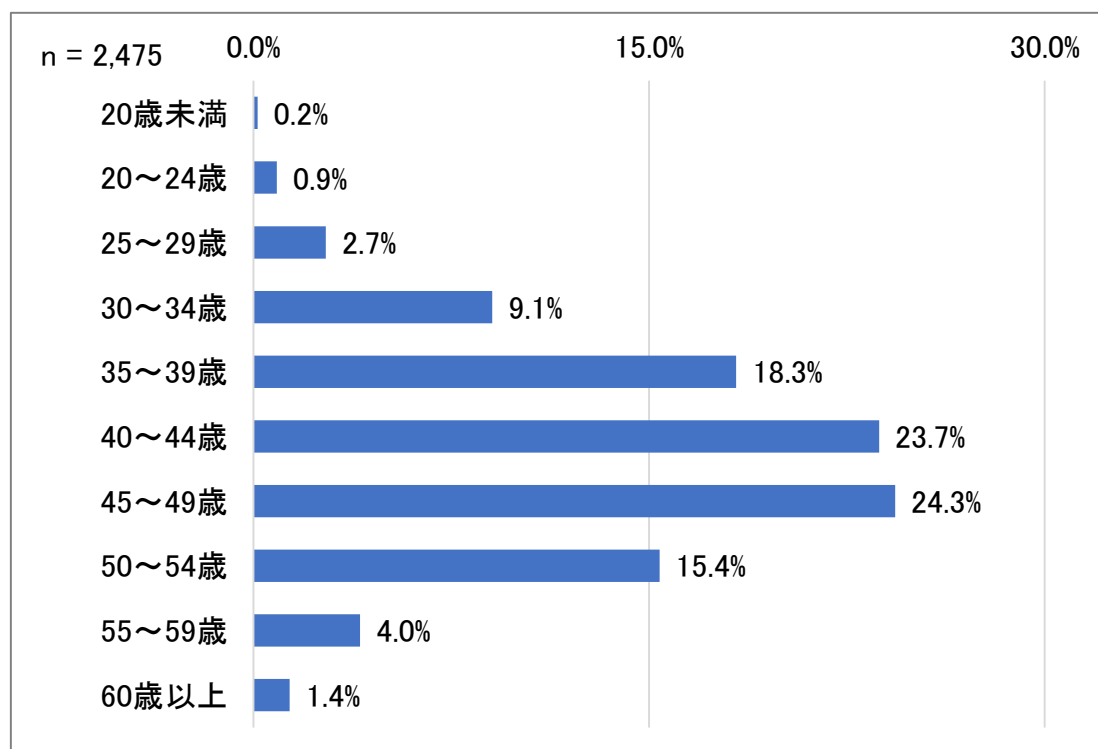


図表 3 世帯の状況(前回比較)

世帯の状況についての前回比較では、大きな差は見られなかった。

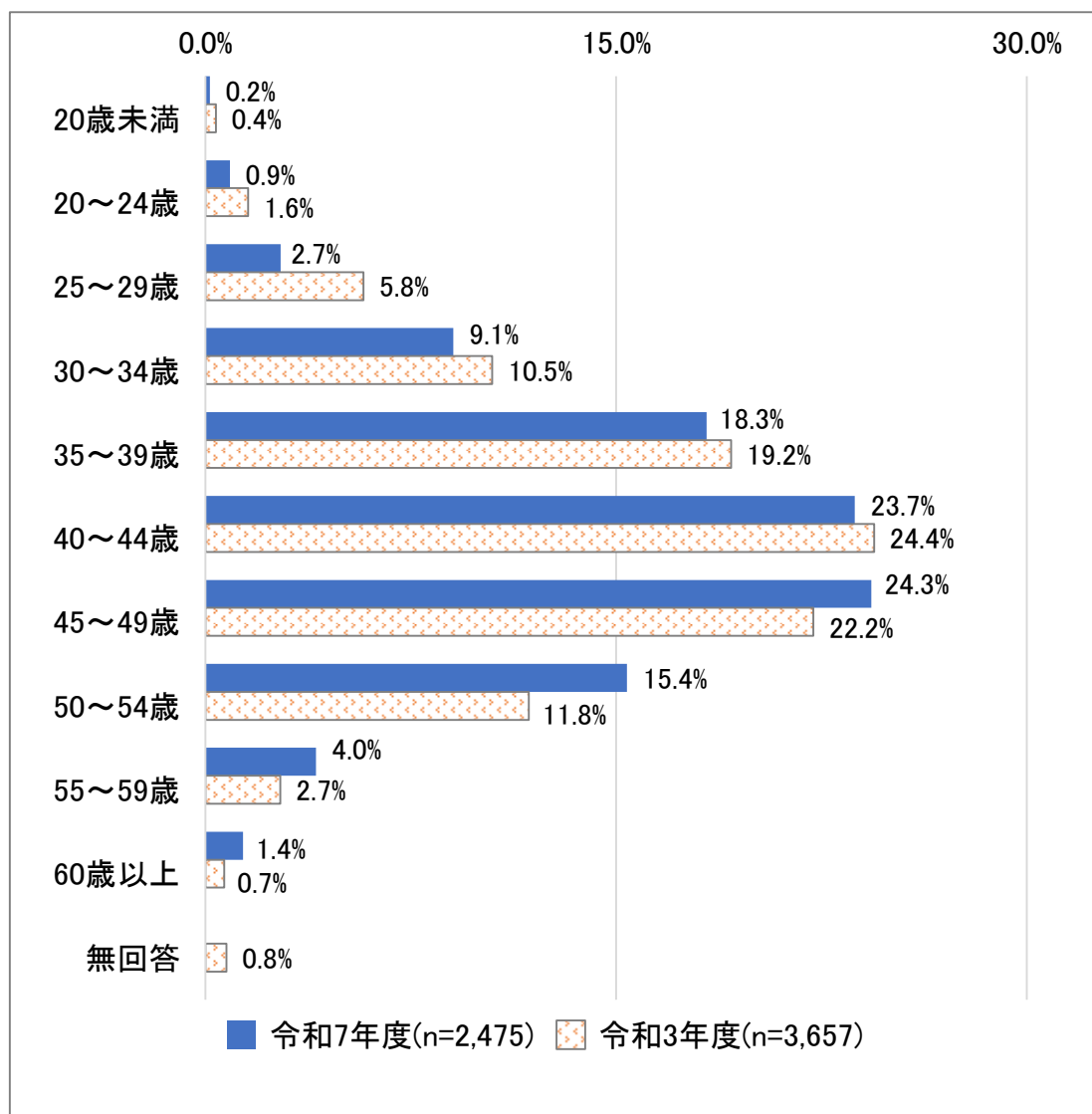
1. 3. 年齢

設問3. あなたの年齢（令和7年4月1日時点）を入力してください。



図表 4 年齢

回答者の年齢をみると、「45～49歳」が24.3%と最も高く、次いで、「40～44歳」(23.7%)、「35～39歳」(18.3%)と続いている。

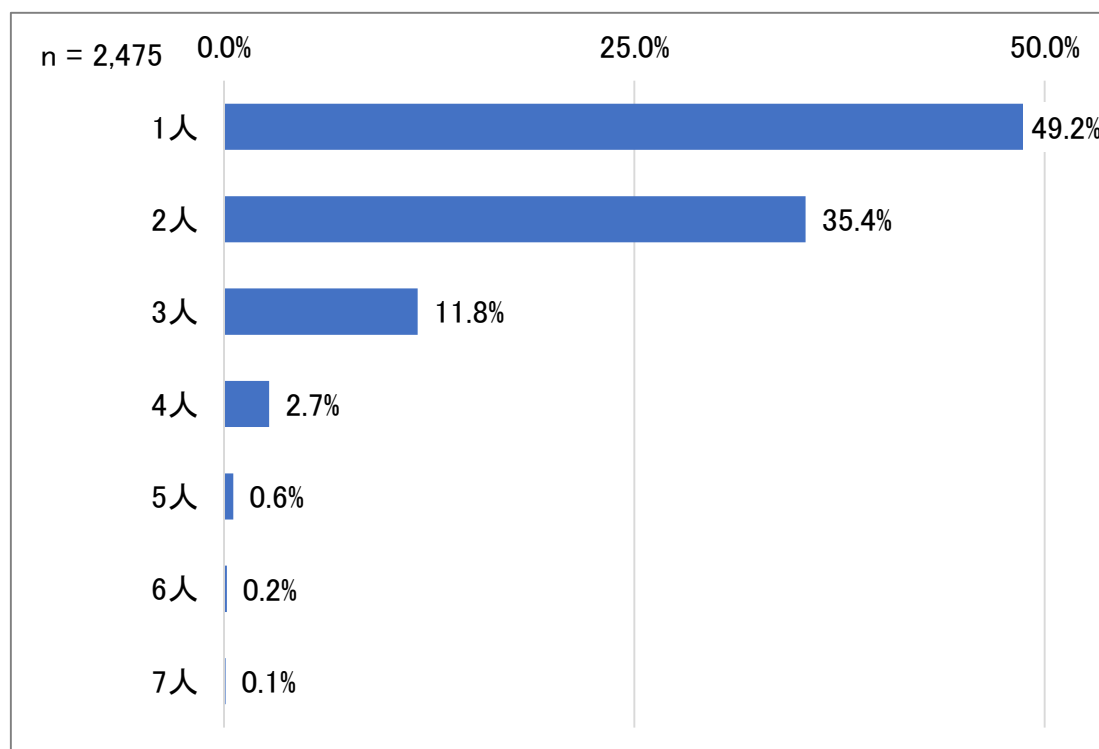


図表 5 年齢（前回比較）

年齢についての前回比較では、「45 歳以上」のすべての年代で 0.7～3.6 ポイント増加した。

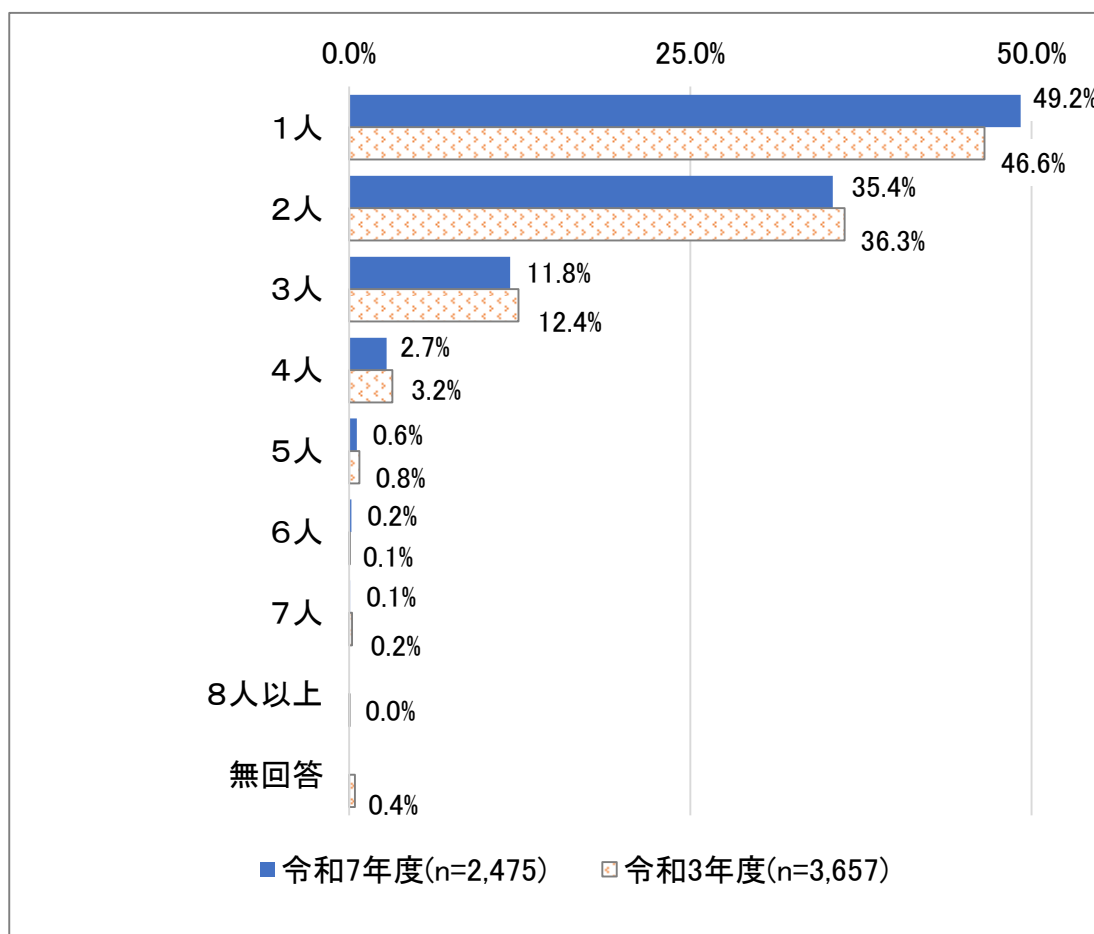
1. 4. 子の人数

設問 11. お子さんの人数を選択してください。(SA)



図表 6 子の人数

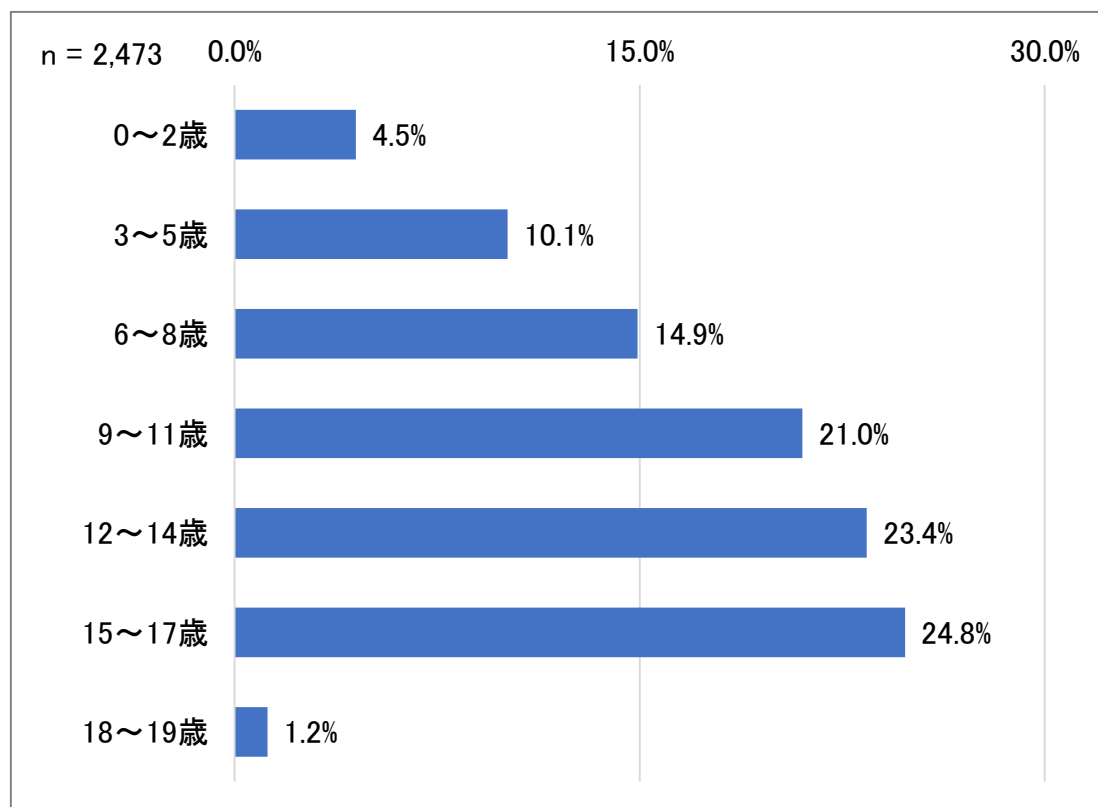
回答者の子の人数をみると、「1人」が49.2%と最も高く、次いで、「2人」(35.4%)、「3人」(11.8%)と続いている。なお、8人以上の回答はなかった。



図表 7 子の人数（前回比較）

子の人数についての前回比較では、「1人」では2.6ポイント増加した。
 8人以上の回答は、令和3年度は1人、令和7年度の回答についてはなかった。

1. 5. 末子の年齢



図表 8 末子の年齢

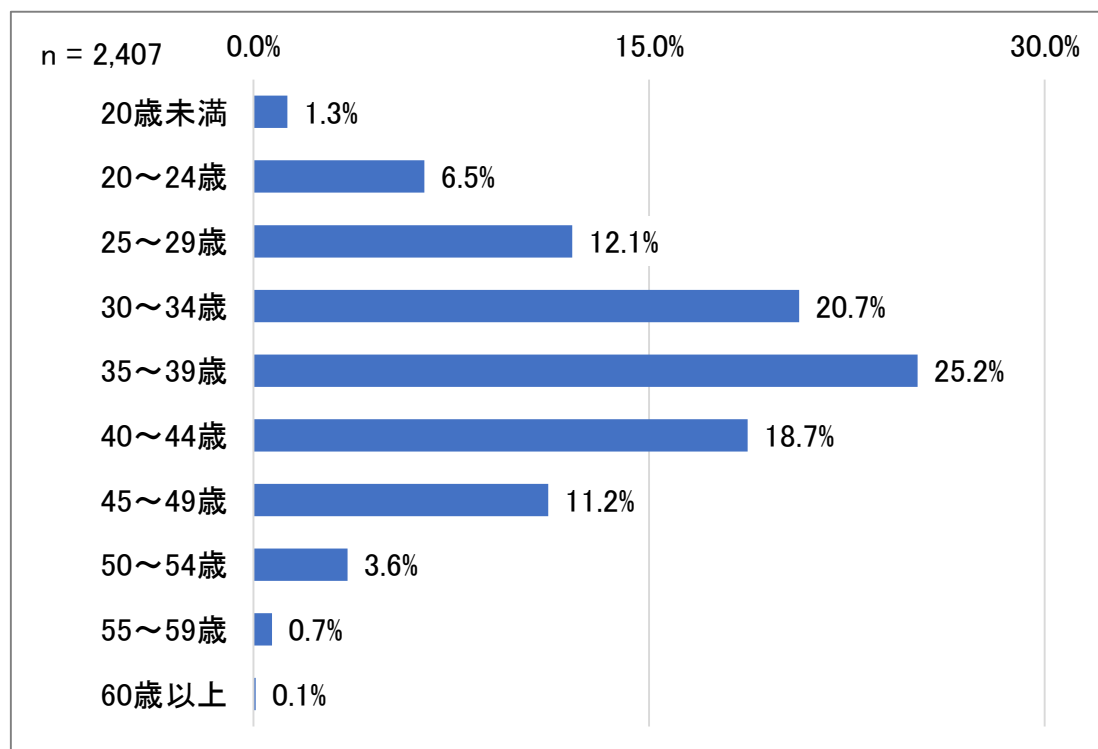
回答者の末子の年齢をみると、「15～17 歳」が 24.8%と最も高く、次いで、「12～14 歳」(23.4%)、「9～11 歳」(21.0%) と続いている。

※本報告書における「末子」とは、2人以上の子どもがいる場合は一番下の子どもを、子どもが1人の場合にはその子どものことを指すこととする。また、以降の項目においても同じとする。

1. 6. ひとり親世帯になった時の年齢

(設問2で「母子世帯」「父子世帯」と回答した場合)

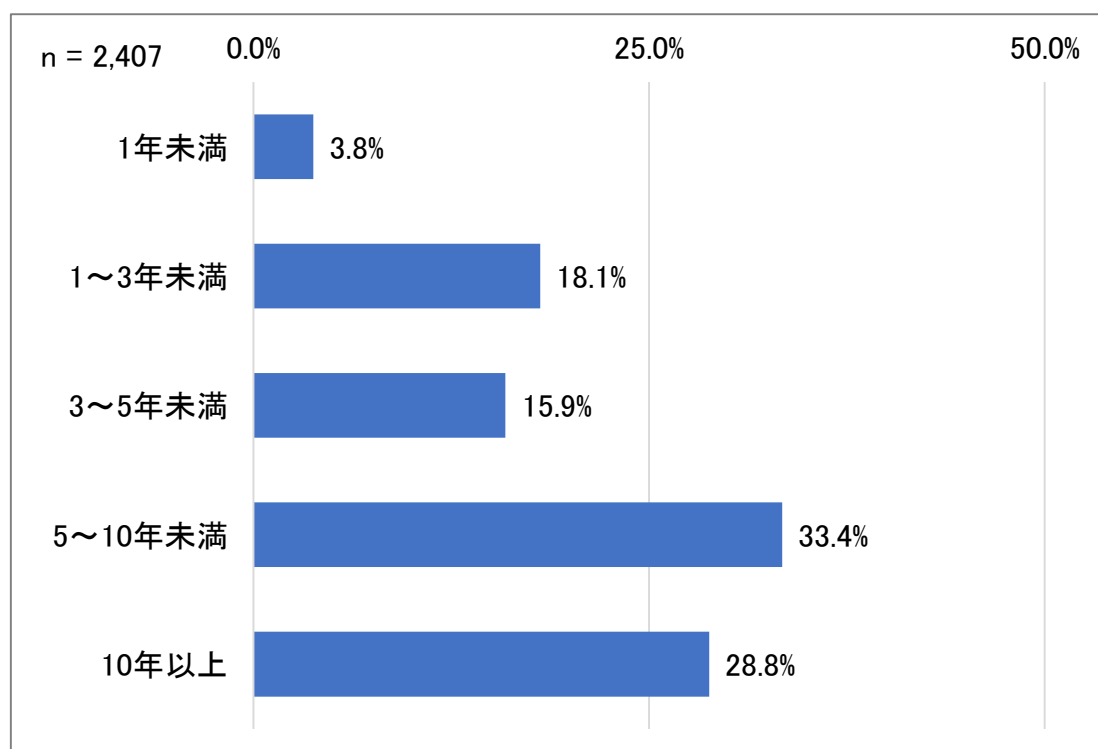
設問4. ひとり親になったときの年齢を入力してください。



図表 9 ひとり親になった時の年齢

回答者のひとり親世帯になった時の年齢をみると、「35～39歳」が25.2%と最も高く、次いで、「30～34歳」(20.7%)、「40～44歳」(18.7%)と続いている。

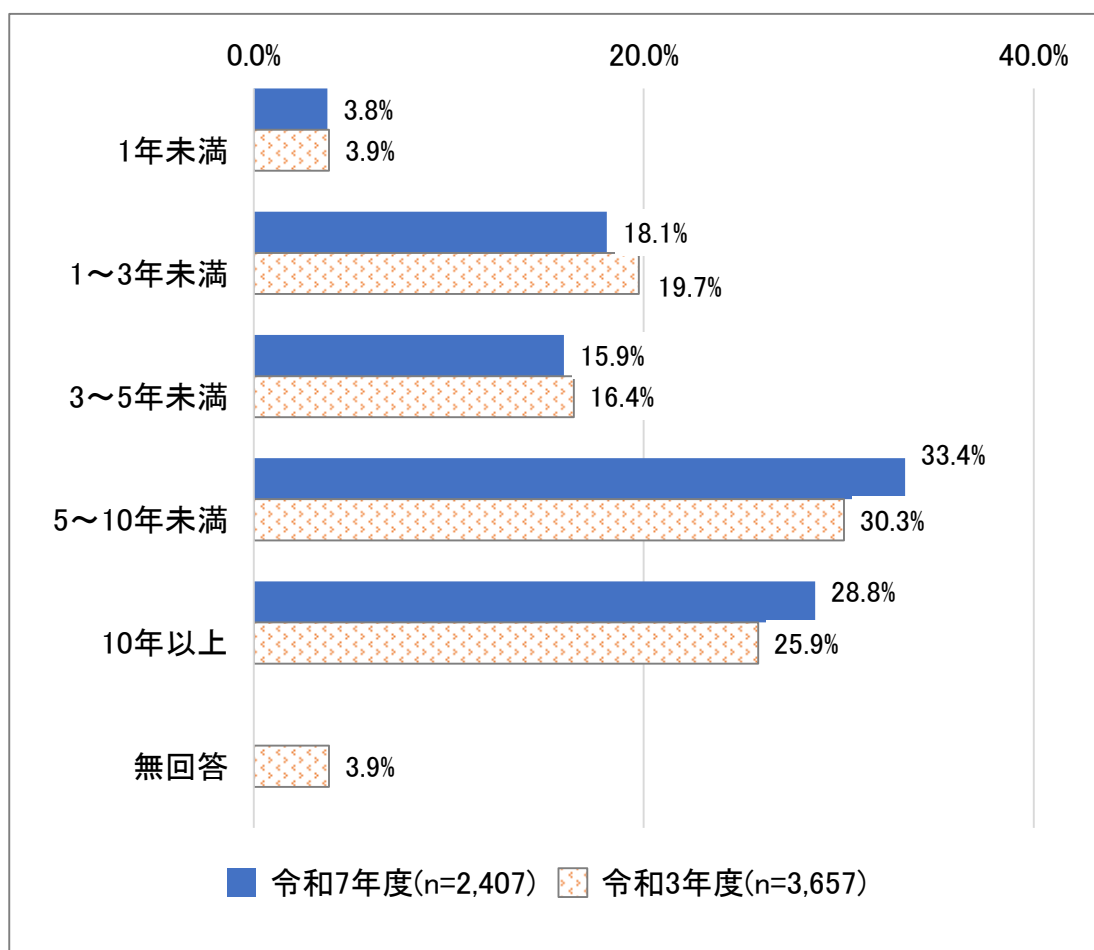
1. 7. ひとり親世帯になってからの期間



図表 10 ひとり親世帯になってからの期間

回答者のひとり親世帯になってからの期間をみると、「5～10年未満」が33.4%と最も高く、次いで、「10年以上」(28.8%)、「1～3年未満」(18.1%)と続いている。

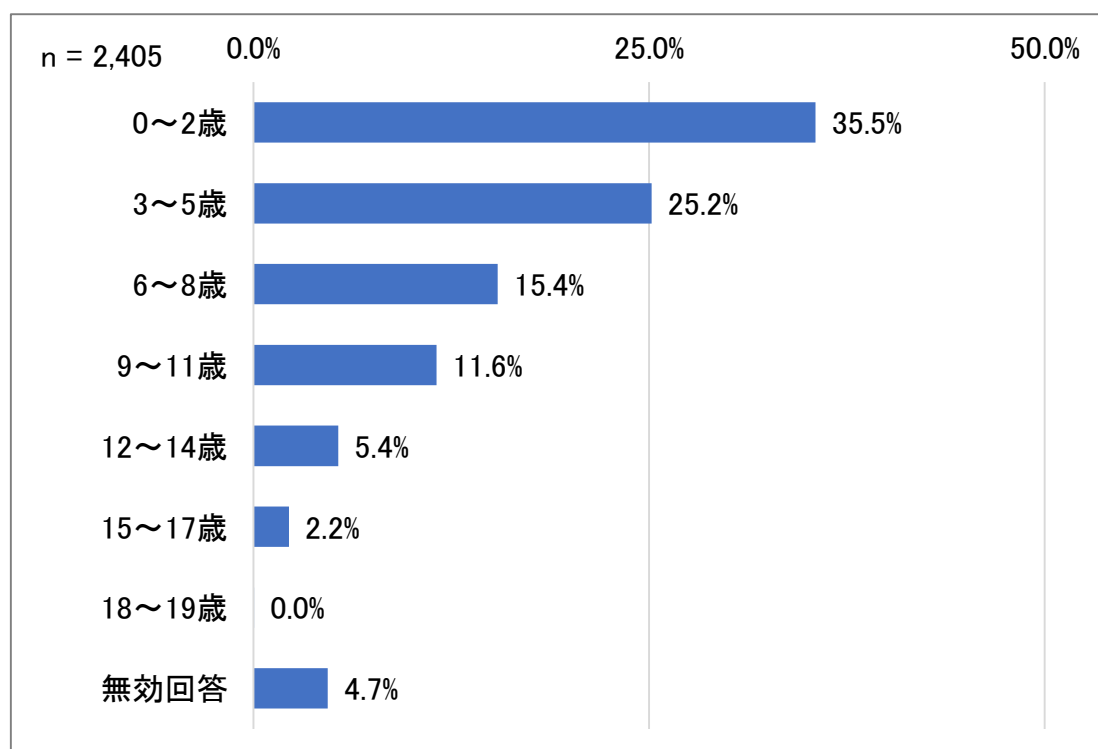
※ひとり親世帯になってからの期間：年齢－ひとり親になった時の年齢で算出



図表 11 ひとり親世帯になってからの期間（前回比較）

ひとり親世帯になってからの期間についての前回比較では、「5～10年未満」では3.1ポイント増加した。

1. 8. ひとり親世帯になった時の末子の年齢



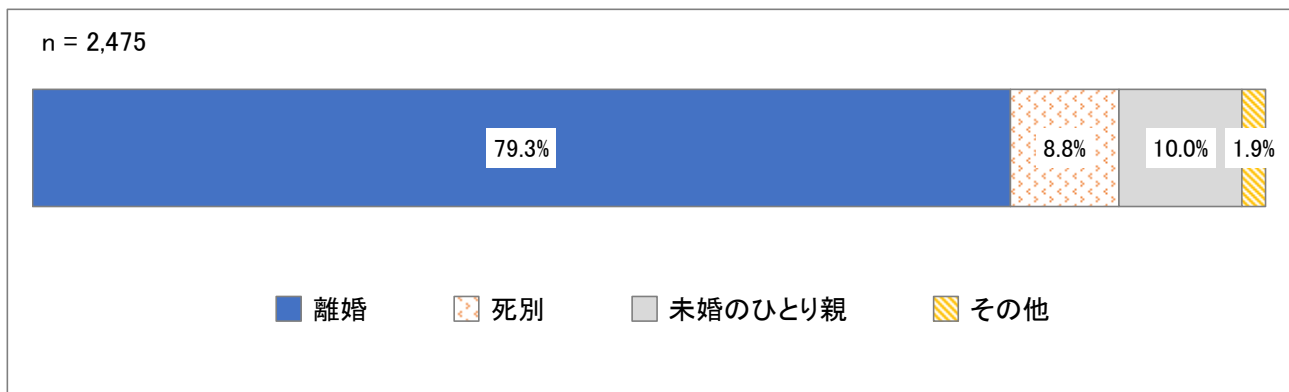
図表 12 ひとり親世帯になった時の末子の年齢

回答者のひとり親世帯になった時の末子の年齢をみると、「0～2歳」が35.5%と最も高く、次いで、「3～5歳」(25.2%)、「6～8歳」(15.4%)と続いている。

※ひとり親世帯になった時の末子の年齢：末子の年齢－ひとり親になってからの期間

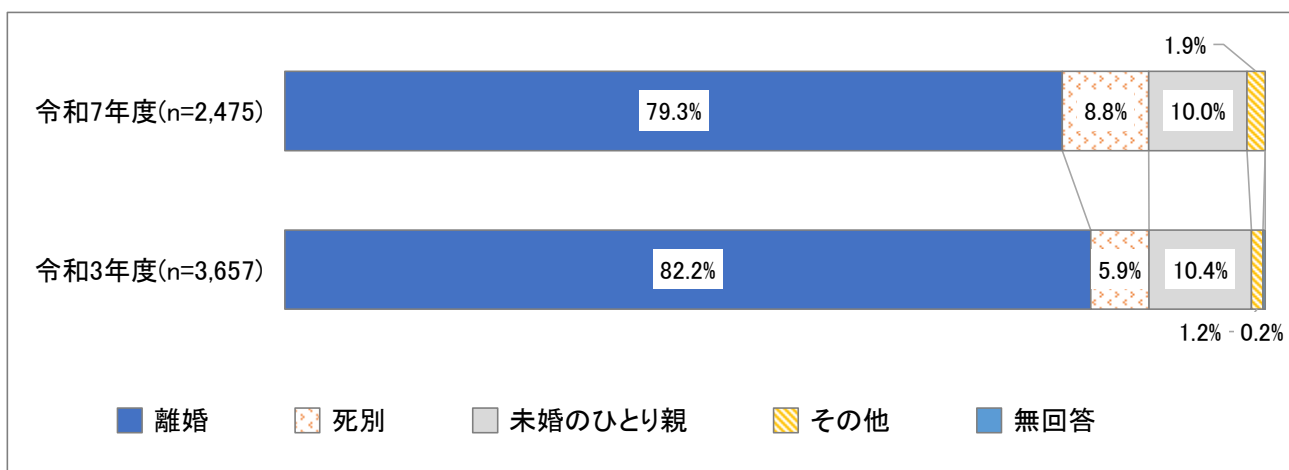
1. 9. ひとり親世帯になった理由

設問5. ひとり親世帯となった理由は次のうちどれですか。(SA)



図表 13 ひとり親世帯になった理由

回答者のひとり親世帯になった理由をみると、「離婚」が79.3%と最も高く、次いで、「未婚のひとり親」(10.0%)、「死別」(8.8%)と続いている。



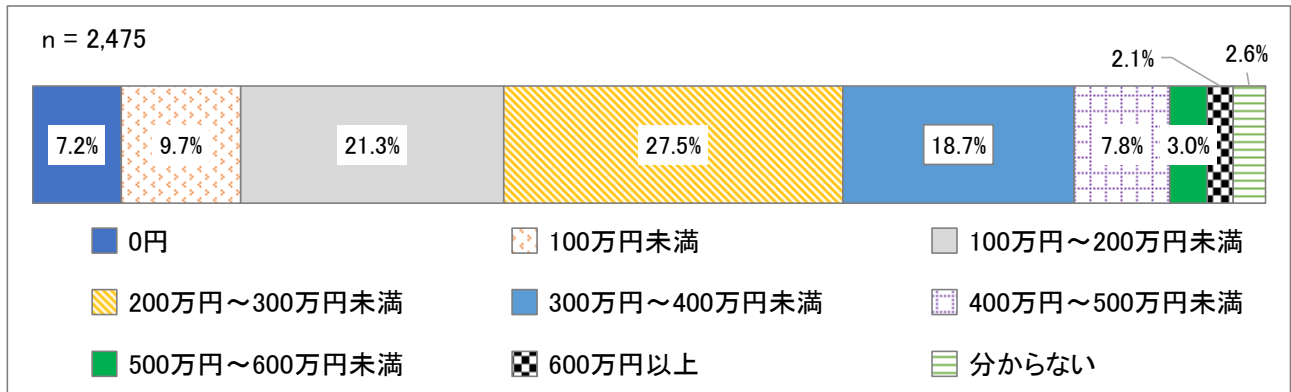
図表 14 ひとり親世帯になった理由 (前回比較)

ひとり親世帯になった理由についての前回比較では、大きな差は見られなかった。

1. 10. 年収

設問 21. あなたの年間の収入（手取りではなく額面）を選択してください。

給与のほか、その他の収入がある場合はそれを含めて選択してください（手当、年金、養育費は除く）（SA）

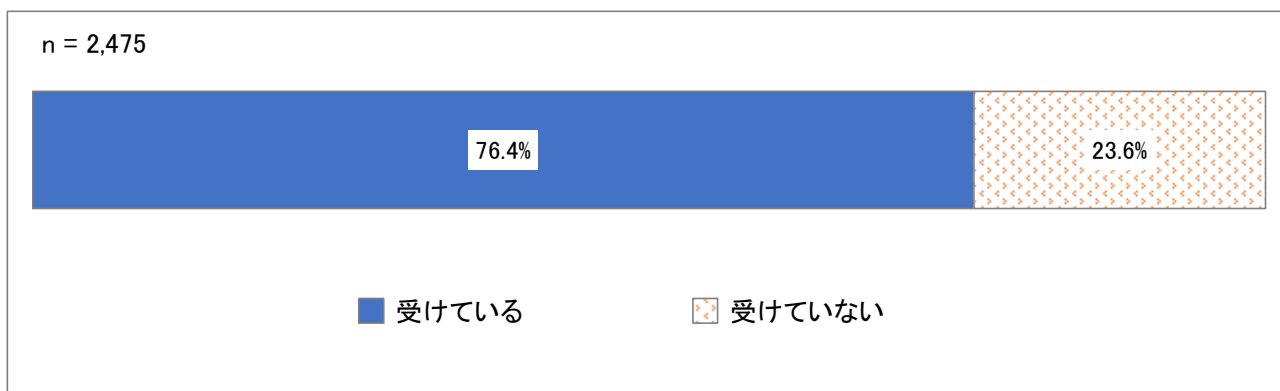


図表 15 年収

回答者の年収の状況をみると、「200 万～300 万未満」が 27.5%と最も高く、次いで、「100 万～200 万未満」（21.3%）、「300 万～400 万未満」（18.7%）と続いている。

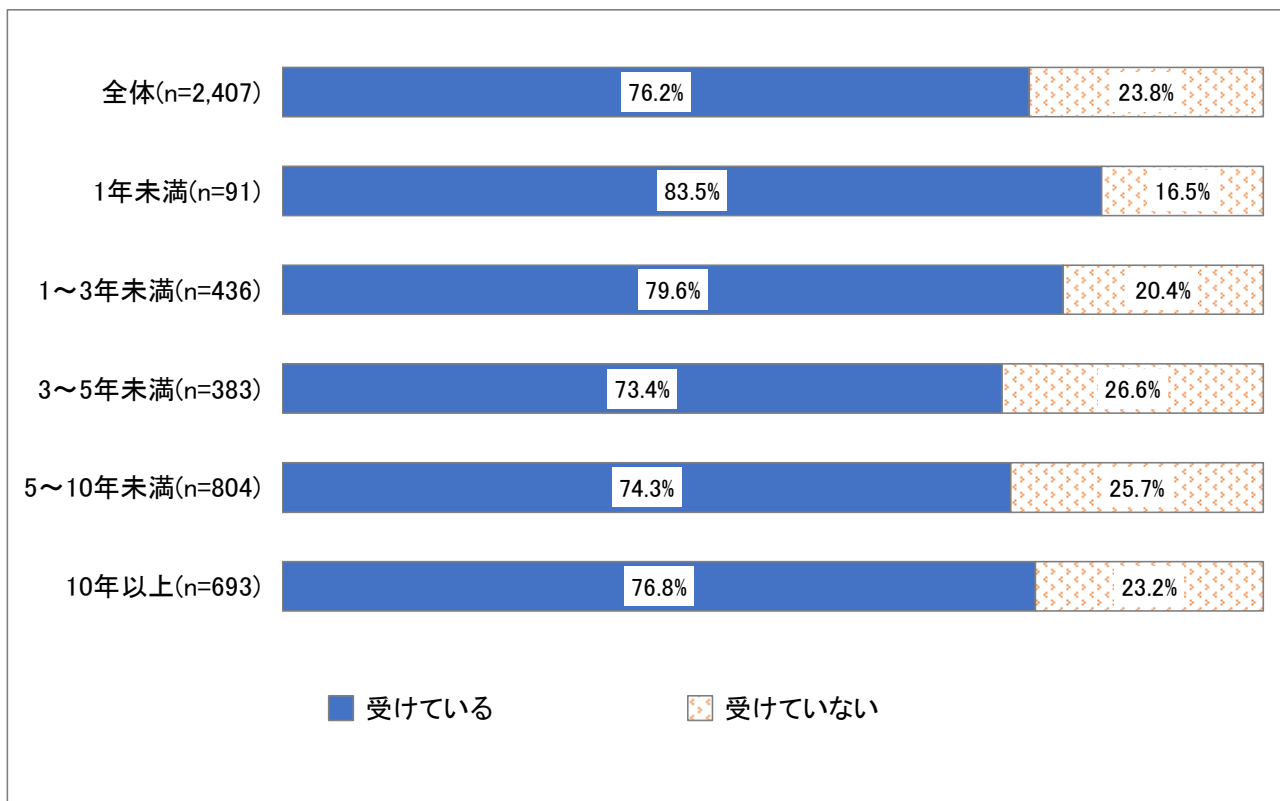
1. 11. 児童扶養手当の受給状況

設問6. あなたのご家庭は現在、児童扶養手当を受けていますか。(SA)



図表 16 児童扶養手当の受給状況

回答者の児童扶養手当の受給状況をみると、「受けている」が76.4%、「受けていない」が23.6%となった。

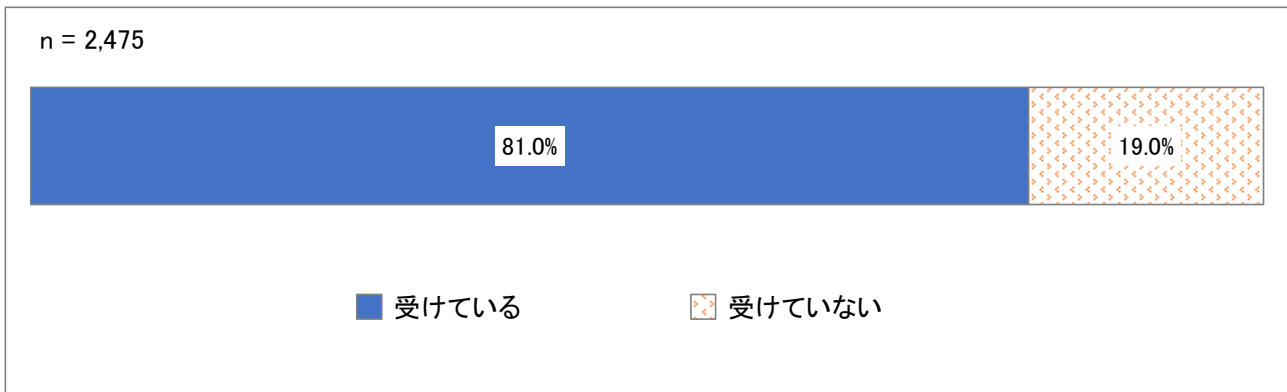


図表 17 児童扶養手当の受給状況（ひとり親世帯になってからの期間）

ひとり親世帯になってからの期間別にみると、「受けている」との回答は、「1年未満」83.5%が最も高く、次いで「1～3年未満」(79.6%)、「10年以上」(76.8%)と続いている。

1. 12. ひとり親家庭等医療費助成の受給状況

設問7. あなたのご家庭は現在、ひとり親家庭等医療費助成を受けていますか。(SA)

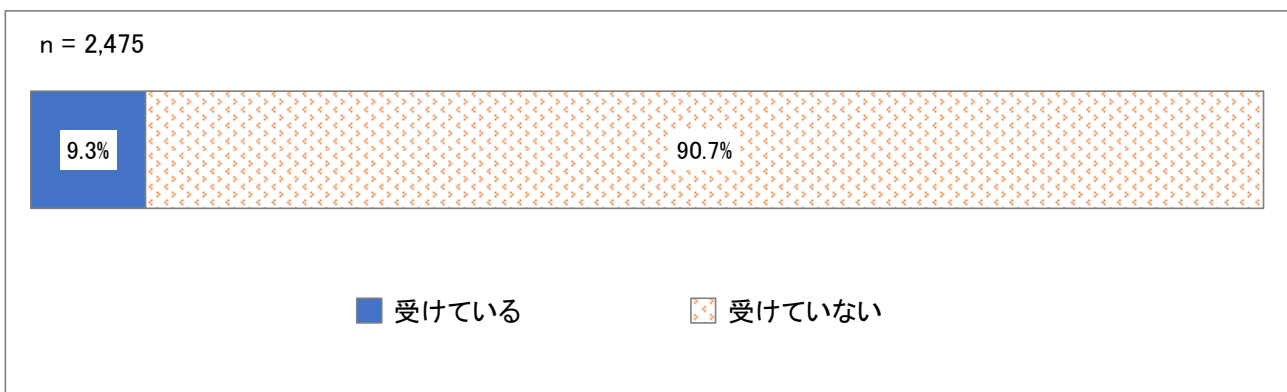


図表 18 ひとり親家庭等医療費助成の受給状況

回答者のひとり親家庭等医療費助成の受給状況をみると、「受けている」が81.0%、「受けていない」が19.0%となった。

1. 13. 生活保護の受給状況

設問8. あなたのご家庭は現在、生活保護を受けていますか。(SA)



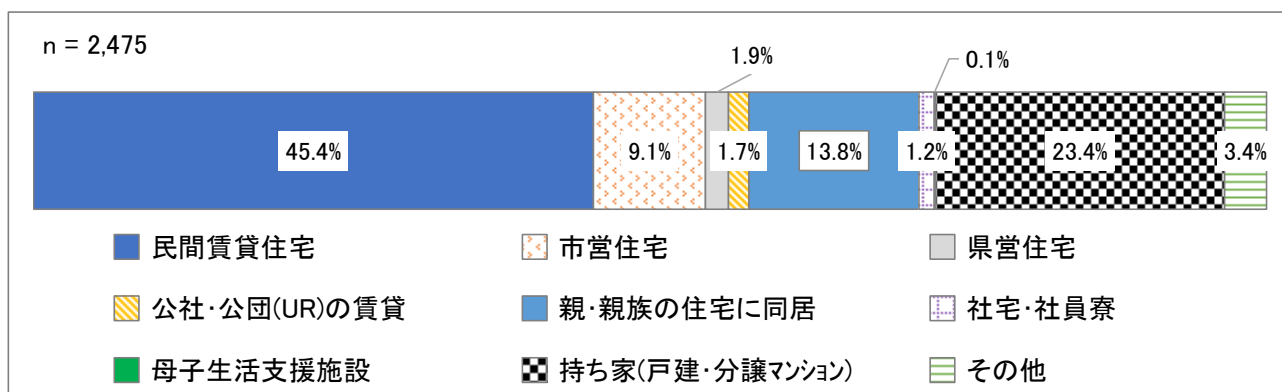
図表 19 生活保護の受給状況

回答者の生活保護の受給状況をみると、「受けている」が9.3%、「受けていない」が90.7%となった。

2. 住居の状況

2. 1. 住居の種類

設問 9. 現在の住居は次のうちどれですか。(SA)

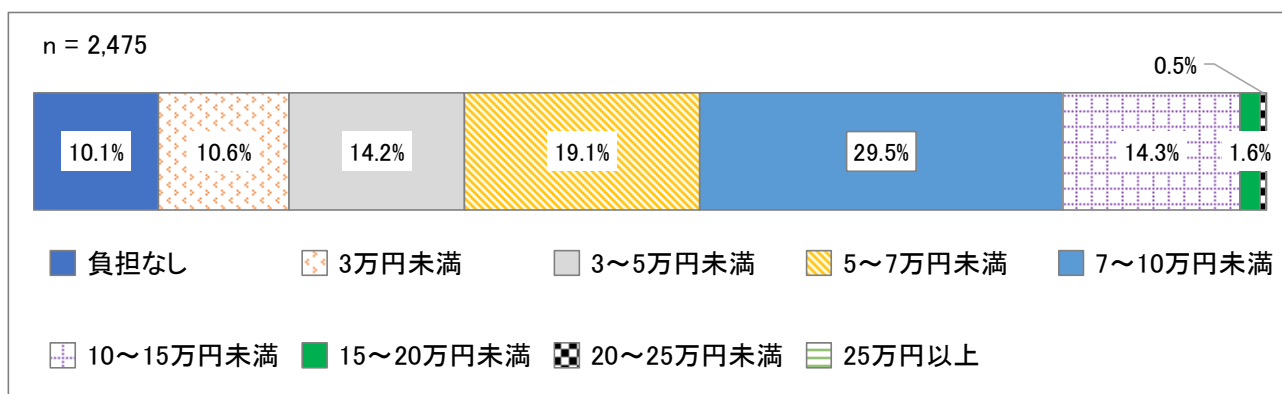


図表 20 住宅の種類

回答者の住居の種類をみると、「民間賃貸住宅」が45.4%と最も高く、次いで、「持ち家（戸建・分譲マンション）」（23.4%）、「親・親族の住宅に同居」（13.8%）と続いている。

2. 2. 住居費

設問 10. 月々の住居費（管理費等含む）について、あてはまるものを選んでください。（ご自身の負担している金額のみ）(SA)



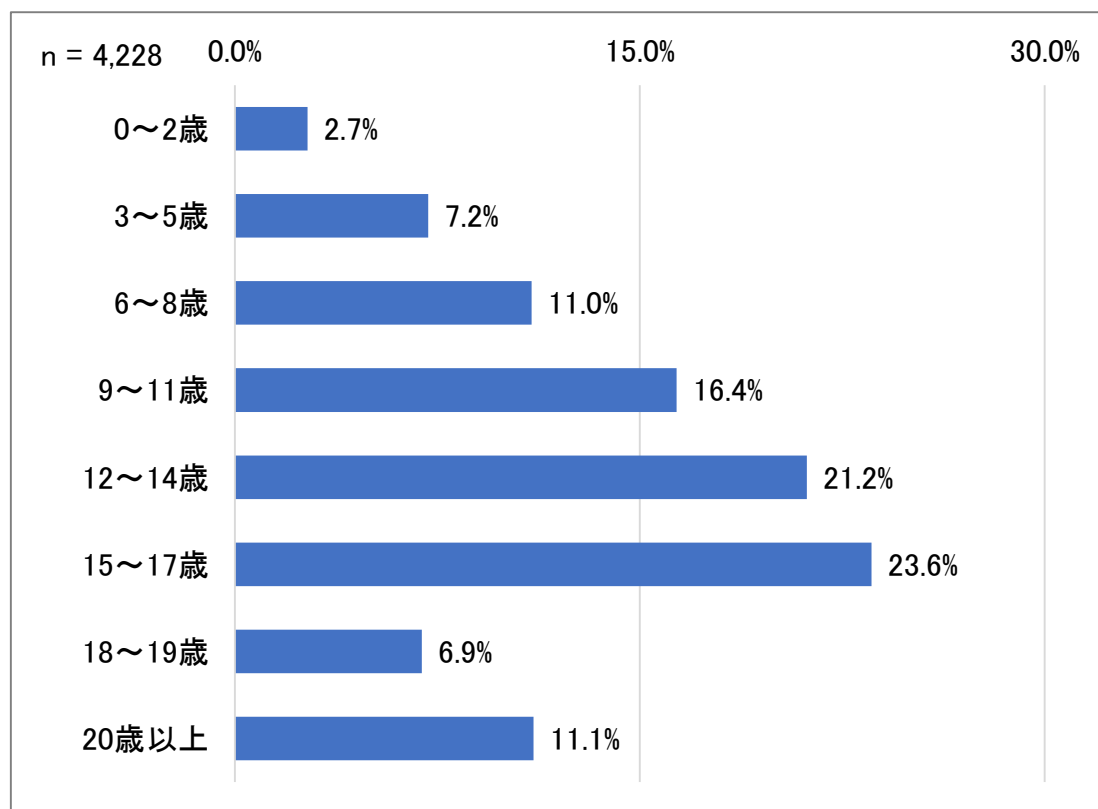
図表 21 住居費

回答者の住居費をみると、「7～10 万未満」が29.5%と最も高く、次いで、「5～7 万未満」（19.1%）、「10～15 万未満」（14.3%）と続いている。

3. 子どもの状況

3. 1. 子どもの年齢

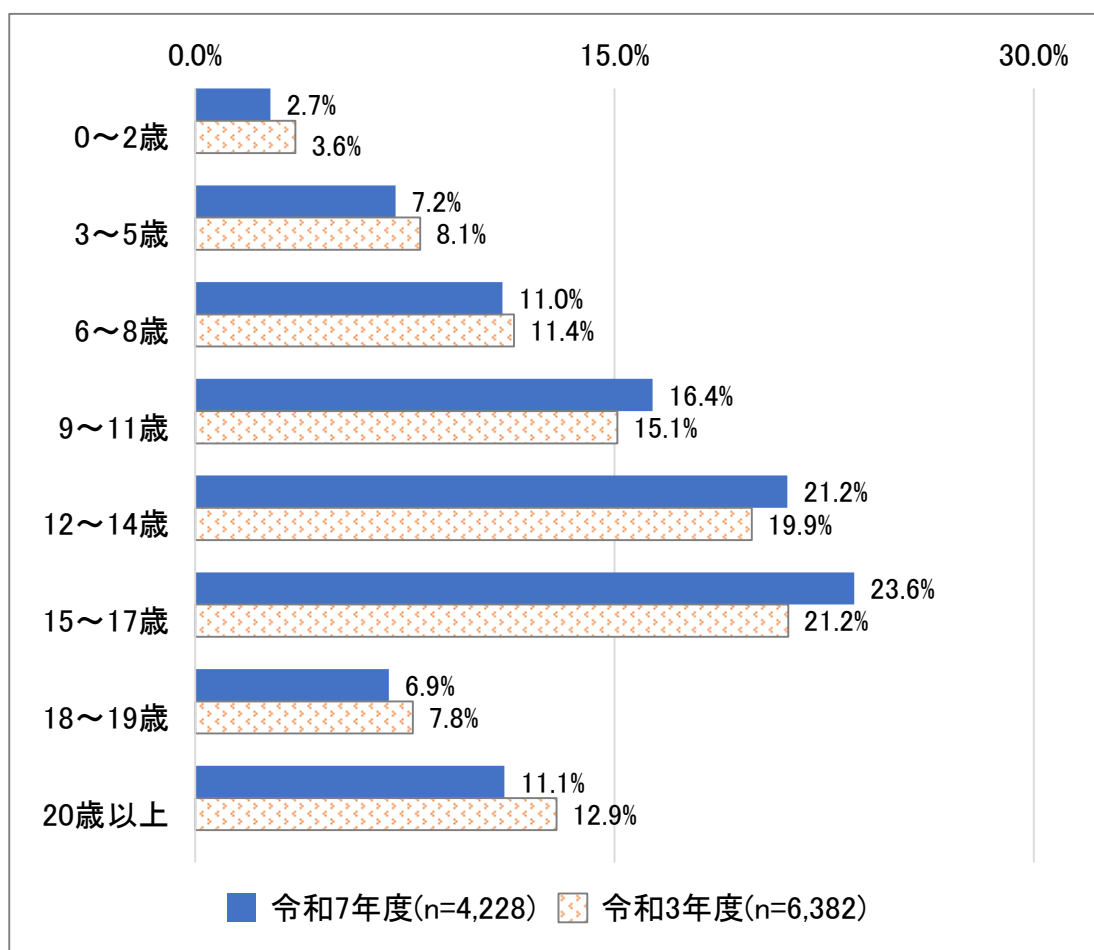
設問 12. お子さんの年齢（令和 7 年 4 月 1 日時点）を、年齢が上の子から順に、それぞれ入力してください。



図表 22 子どもの年齢

回答者の子どもの年齢をみると、「15～17 歳」が 23.6%と最も高く、次いで、「12～14 歳」（21.2%）、「9～11 歳」（16.4%）と続いている。

※n 数：子どもの総数を n 数として割合を算出

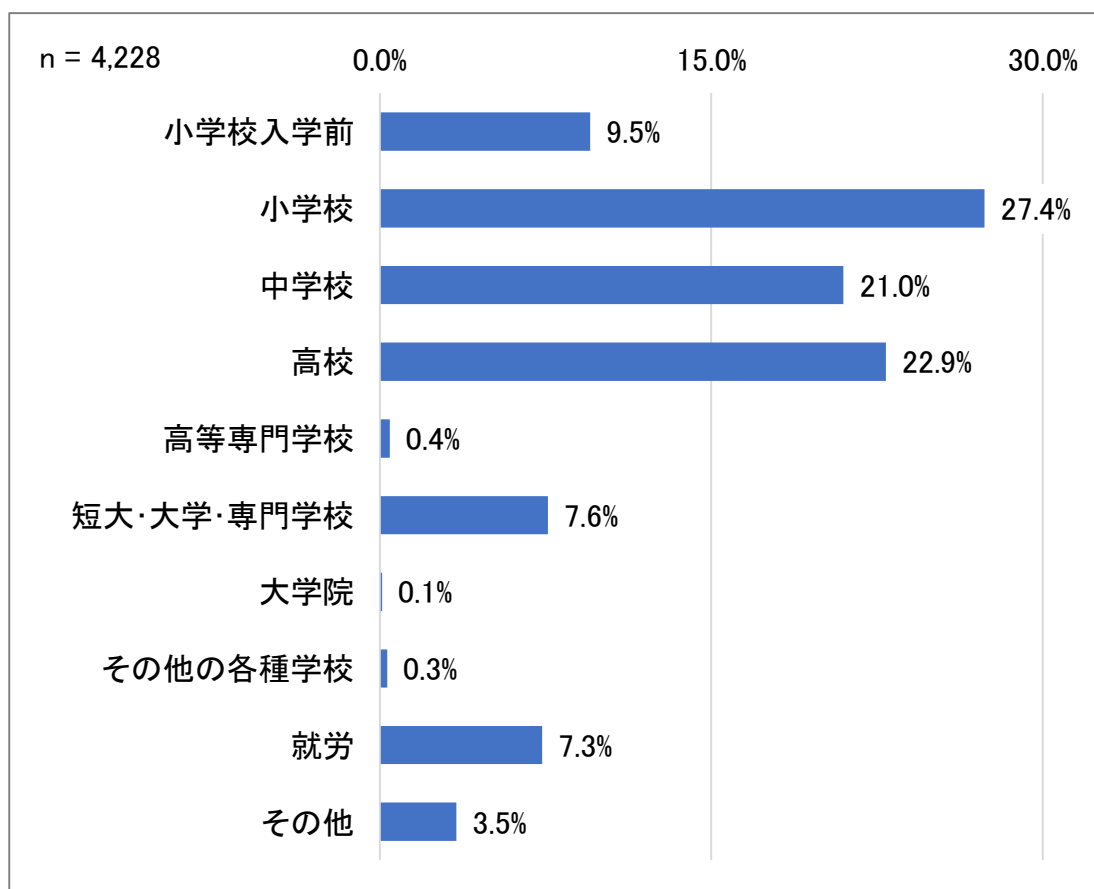


図表 23 子どもの年齢（前回比較）

子どもの年齢についての前回比較では、「9～17 歳」で割合が増加している。

3. 2. 子どもの修学状況

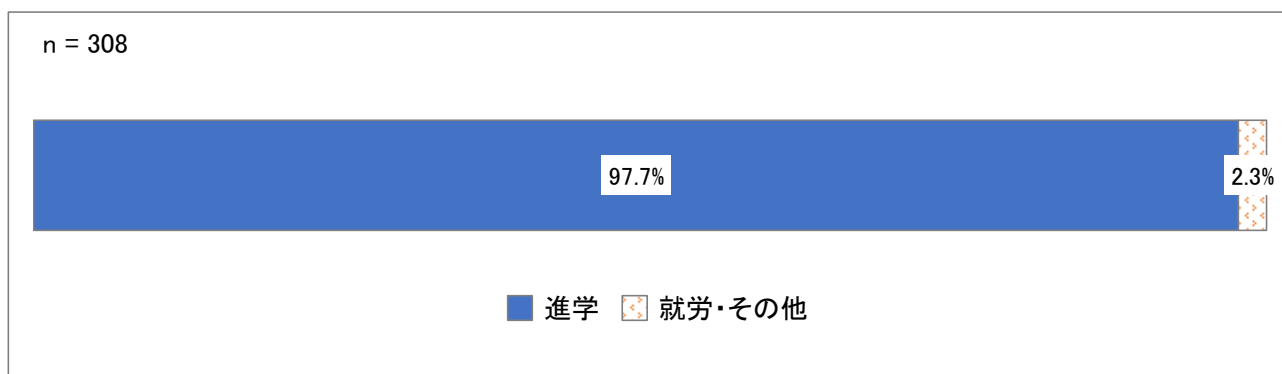
設問 13-1. お子さんの修学（就職）状況と進学希望について伺います。お子さんの修学（就職）状況を、選択してください。（SA）



図表 24 子どもの修学状況

回答者の子どもの修学状況をみると、「小学校」が 27.4%と最も高く、次いで、「高校」（22.9%）、「中学校」（21.0%）が続いている。

3. 3. 中学校卒業後の進学率



図表 25 中学校卒業後の進学率

回答者の中学校卒業後の進学率をみると、「進学」が97.7%、「就労・その他」が2.3%となっている。

※年齢が15歳の子どもを抽出し「修学状況」を集計

進学：「高校」、「高等専門学校」、等に在学している子どもを合わせた割合

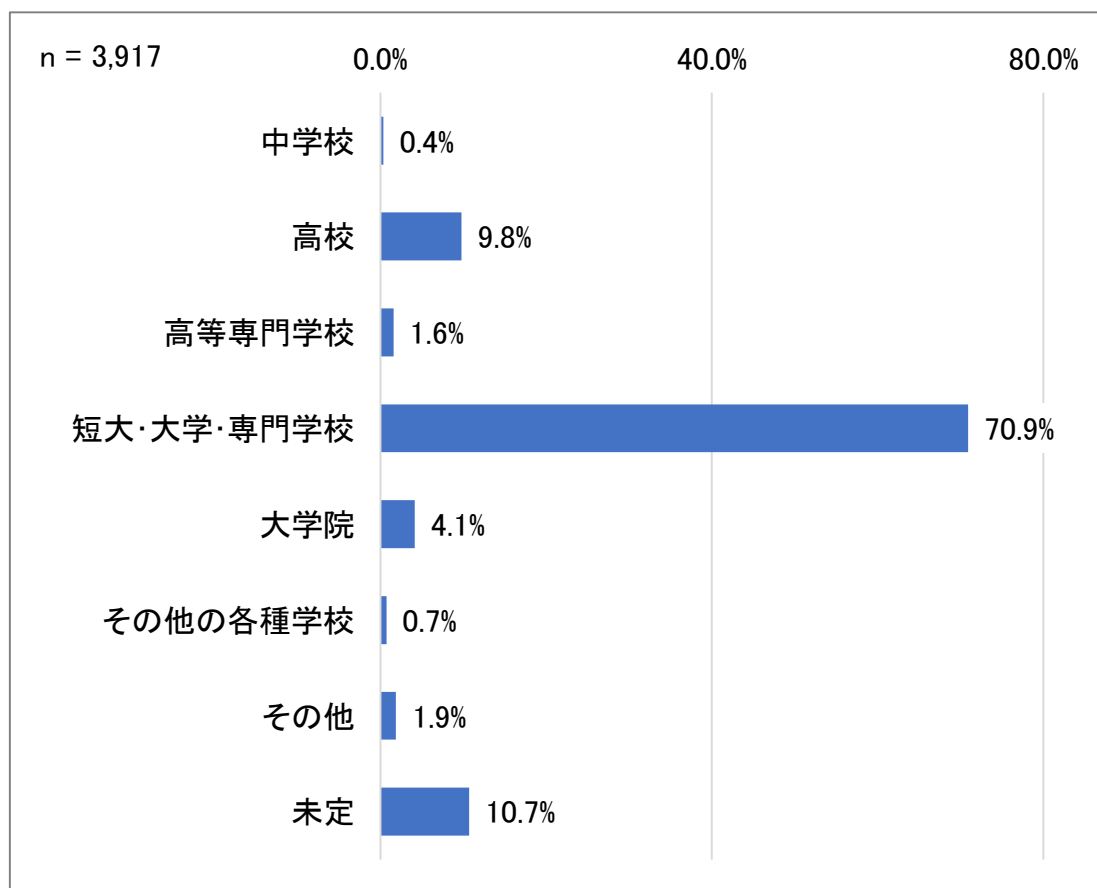
就労・その他：「就労」、「その他」を合わせた割合

3. 4. 子どもに関する最終進学目標

(設問 13-1 で「就労」以外を回答した場合)

設問 13-2. お子さんの修学(就職)状況と進学の希望について伺います。お子さんの進学について、どこまで進学させたいと思いますか。(SA)

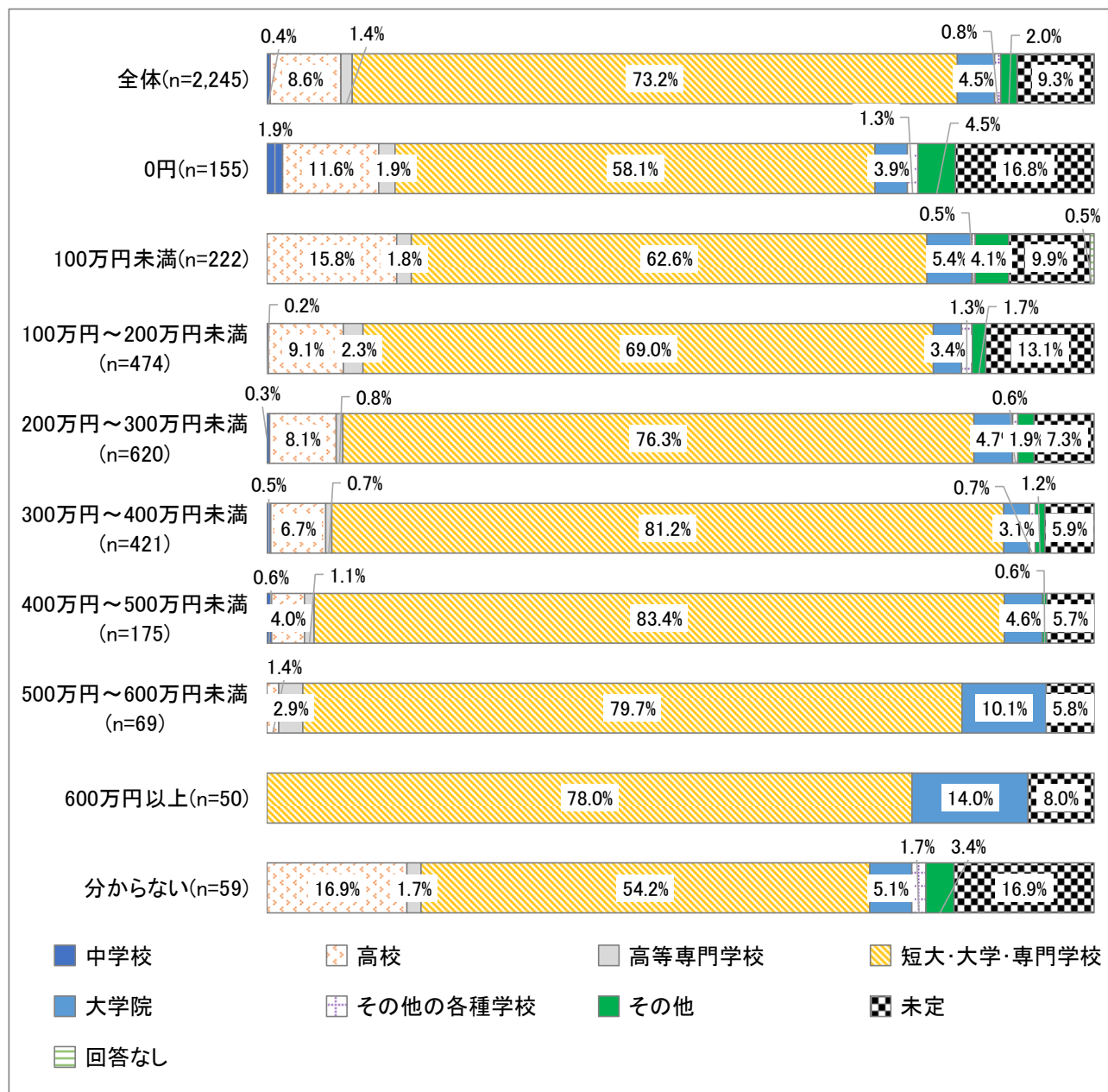
① 最終進学目標



図表 26 最終進学目標

回答者の最終進学目標(子ども別)をみると、「短大・大学・専門学校」が70.9%と最も高く、次いで、「未定」(10.7%)、「高校」(9.8%)と続いている。

② 最終進学目標（年収別）



図表 27 最終進学目標（年収別）

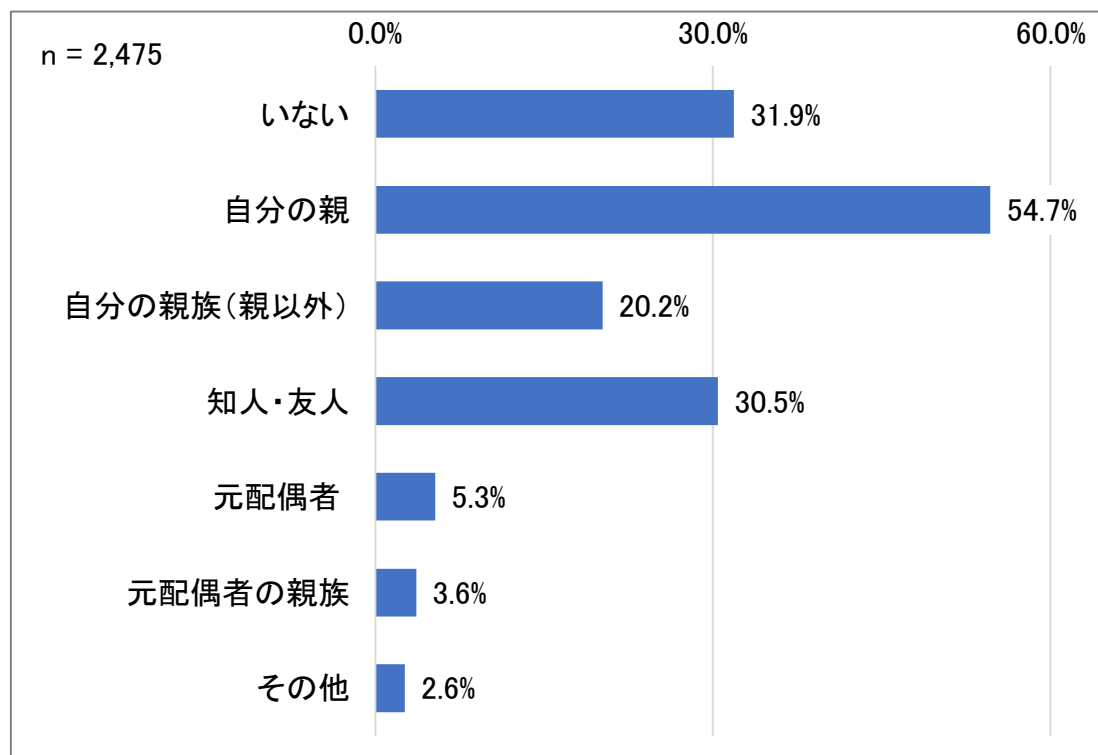
年収別にみると、「200万円～300万円未満」では「短大・大学・専門学校」（76.3%）の割合が最も高く、次いで「高校」（8.1%）、「未定」（7.3%）であった。

※就学中の子どものうち、一番上の子について集計

4. 相談、支援について

4. 1. 身近な支援者

設問 14. あなたの身近に、支援や援助をしてくれる人や、相談相手はいますか。（行政や NPO 等の団体を除く）（MA）



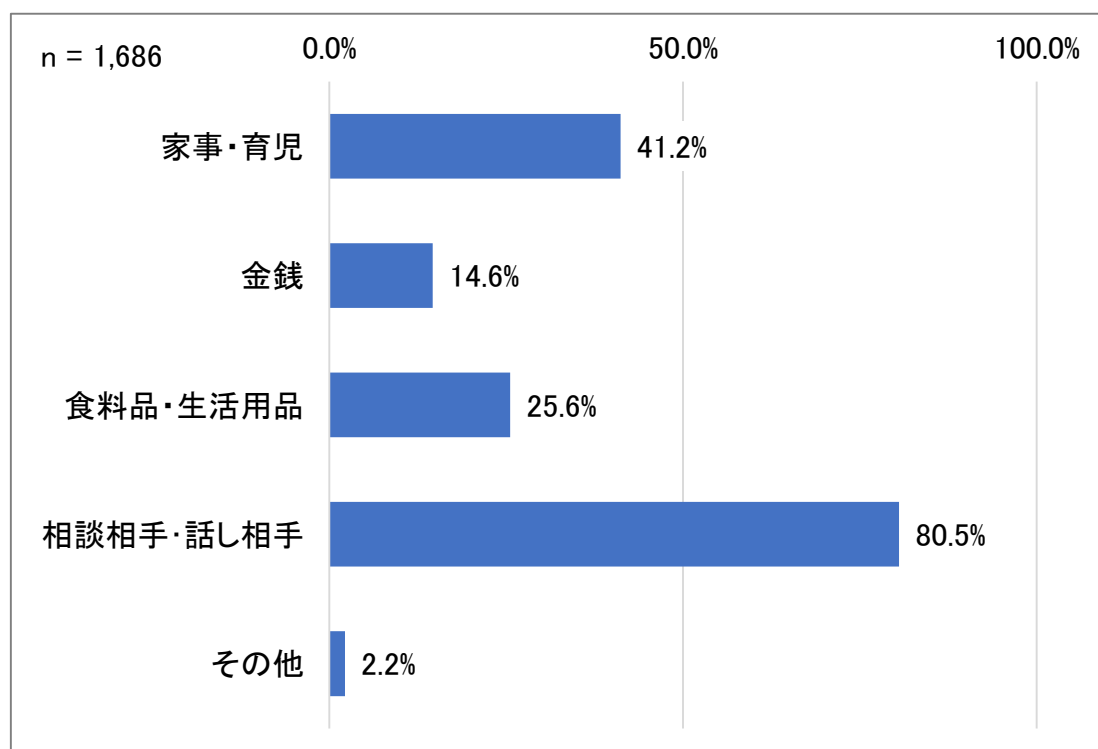
図表 28 身近な支援者

回答者の身近な支援者をみると、「自分の親」が 54.7%と最も高く、次いで、「いない」(31.9%)、「知人・友人」(30.5%)と続いている。

4. 2. 支援の内容

(設問 14 で「いない」以外を選択した場合)

設問 15. 設問 14 で選択した人から受けている支援として、あてはまるものを全て選択してください。(MA)

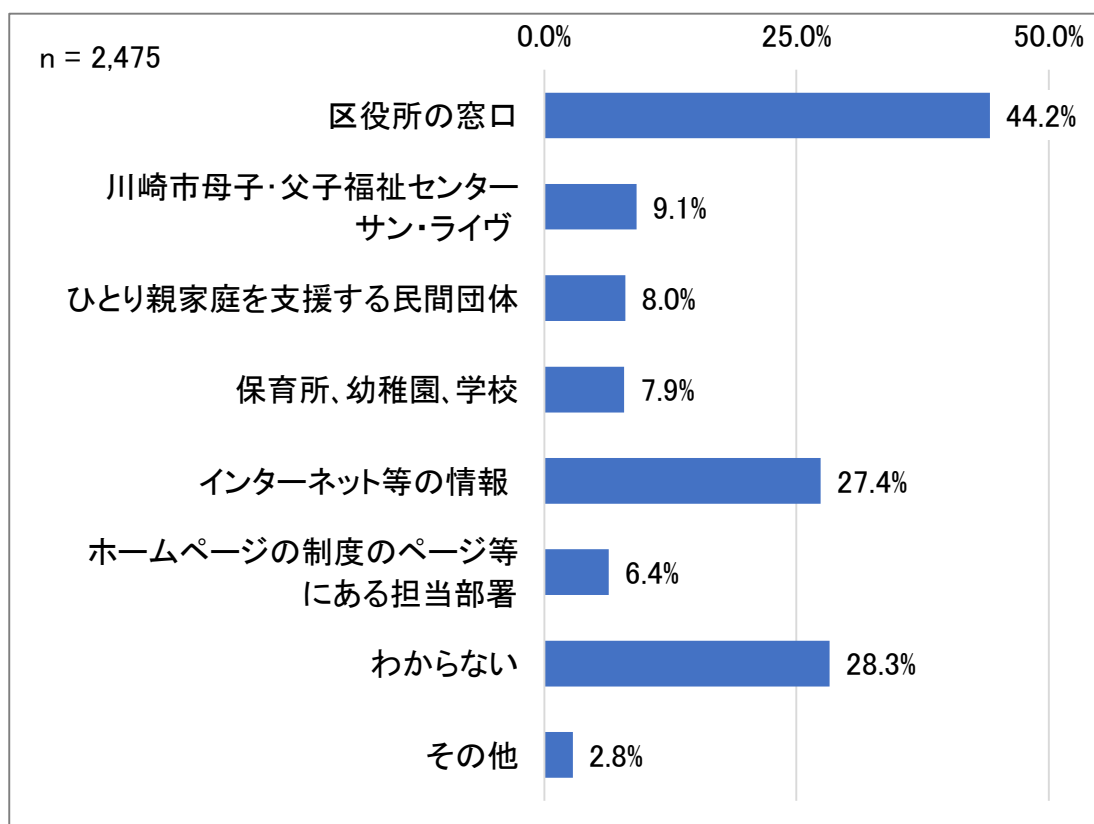


図表 29 支援の内容

回答者の支援の内容をみると、「相談相手・話し相手」が 80.5%と最も高く、次いで、「家事・育児」(41.2%)、「食料品・生活用品」(25.6%)と続いている。

4. 3. 相談先機関

設問 16. 支援を受けたい時、あなたの身近な人以外で最初の相談先として思うところはどれですか。(MA)



図表 30 相談先機関

回答者の相談先機関をみると、「区役所の窓口」が44.2%と最も高く、次いで、「わからない」(28.3%)、「インターネット等の情報」(27.4%)と続いている。

5. 就労の状況

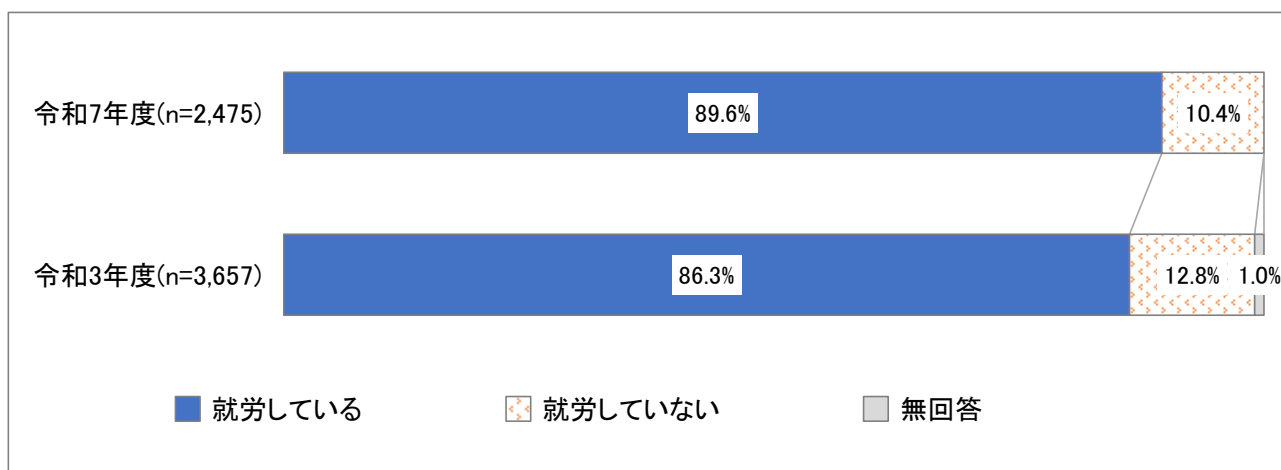
5. 1. 就労の状況

設問 17. あなたは現在、就労していますか。（自営業も含む）（SA）



図表 31 就労の状況

回答者の就労の状況を見ると、「就労している」が89.6%、「就労していない」が10.4%となっている。



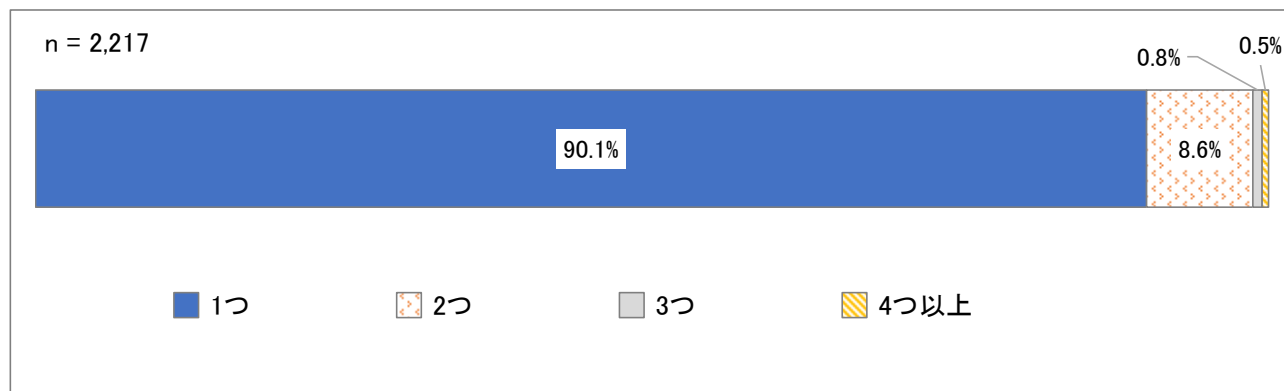
図表 32 就労の状況（前回比較）

就労の状況についての前回比較では、「就労している」では、3.3ポイント増加した。

5. 2. 就労先の数

(設問 17 で「就労している」を選んだ場合)

設問 18. 現在の就労先はいくつありますか。(自営業をされている場合は1つとしてカウントしてください。)
(SA)



図表 33 就労先の数

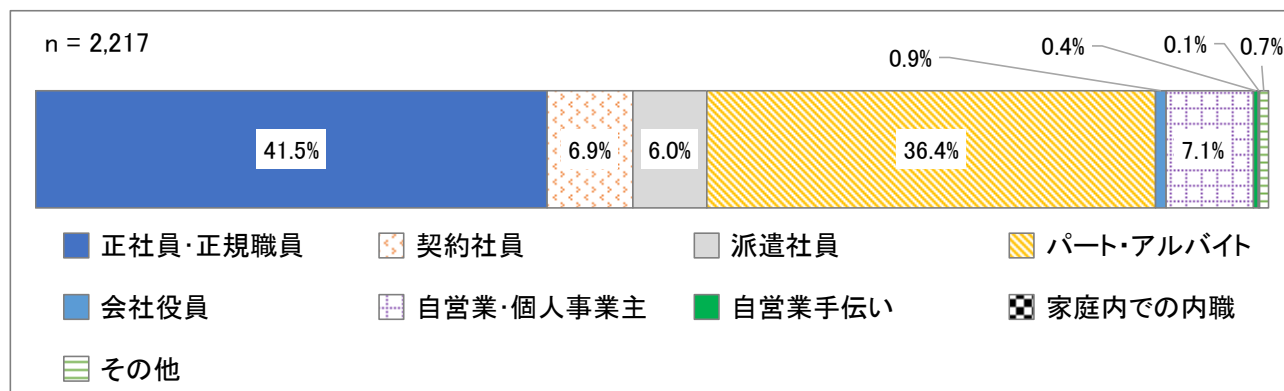
回答者の就労先の数を見ると、「1つ」が90.1%と最も高く、次いで、「2つ」(8.6%)、「3つ」(0.8%)と続いている。

5. 3. 雇用形態

(設問 17 で「就労している」を選んだ場合)

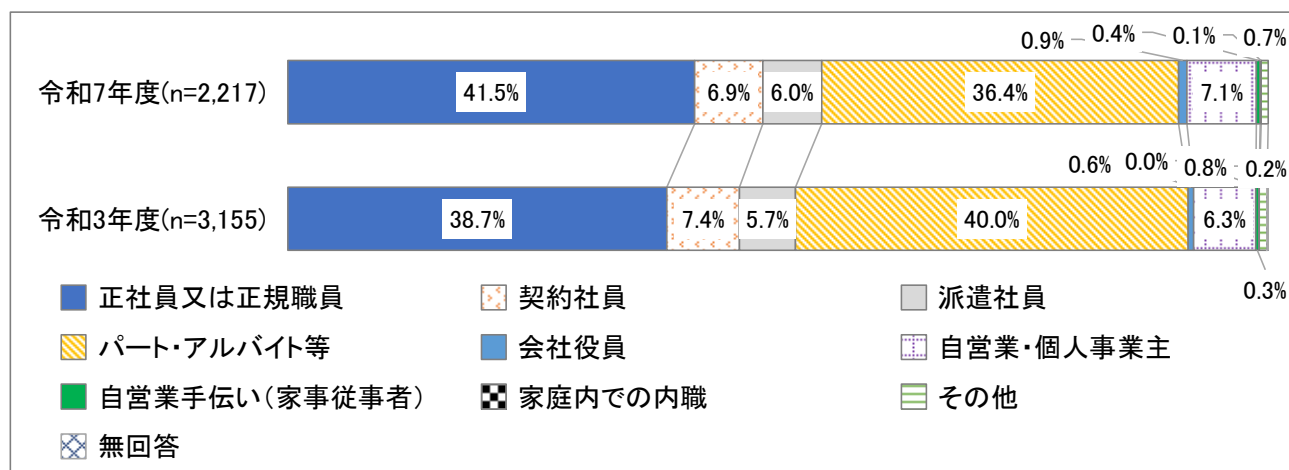
設問 19. 現在の主な就労先の雇用形態を教えてください。(SA)

① 雇用形態



図表 34 雇用形態

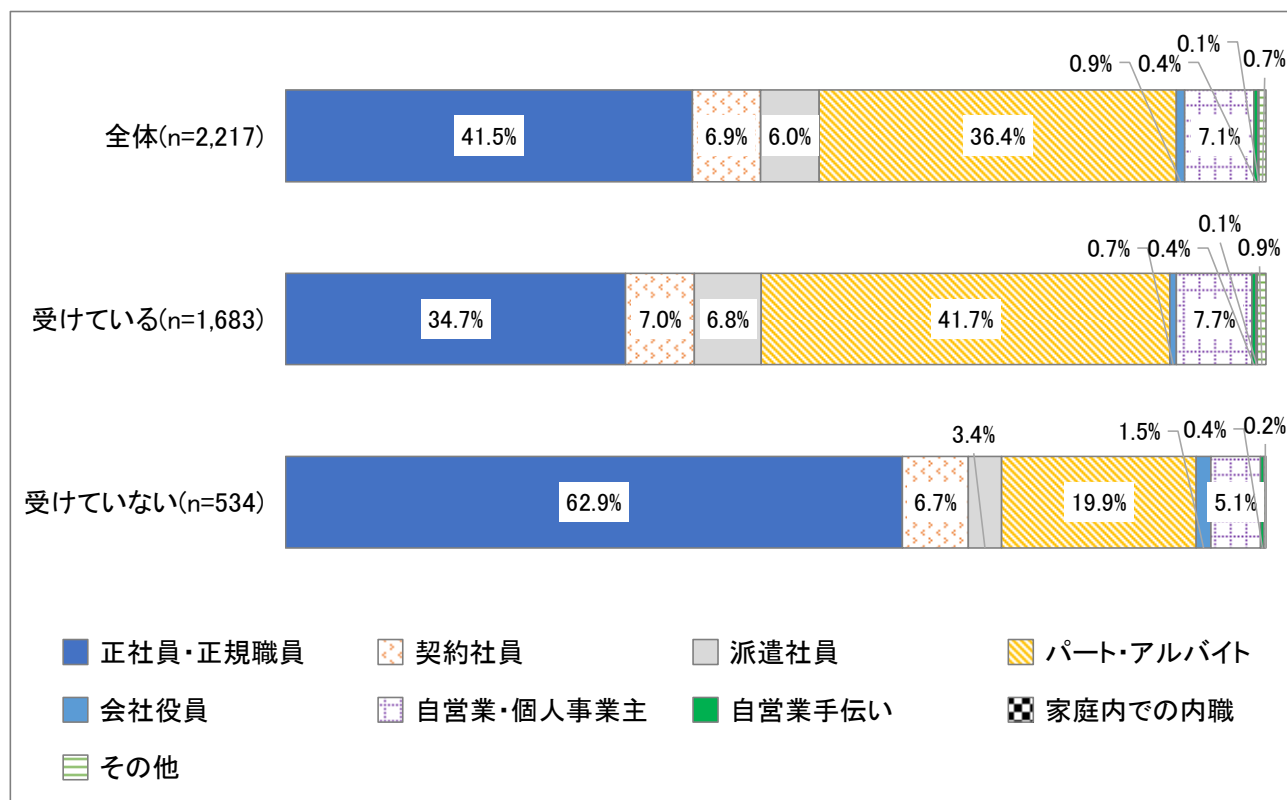
回答者の雇用形態をみると、「正社員・正規職員」が 41.5%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト」(36.4%)、「自営業・個人事業主」(7.1%)と続いている。



図表 35 雇用形態 (前回比較)

雇用形態についての前回比較では、「パート・アルバイト等」では 3.6 ポイント減少した。また「正社員又は正規職員」では 2.8 ポイント増加した。

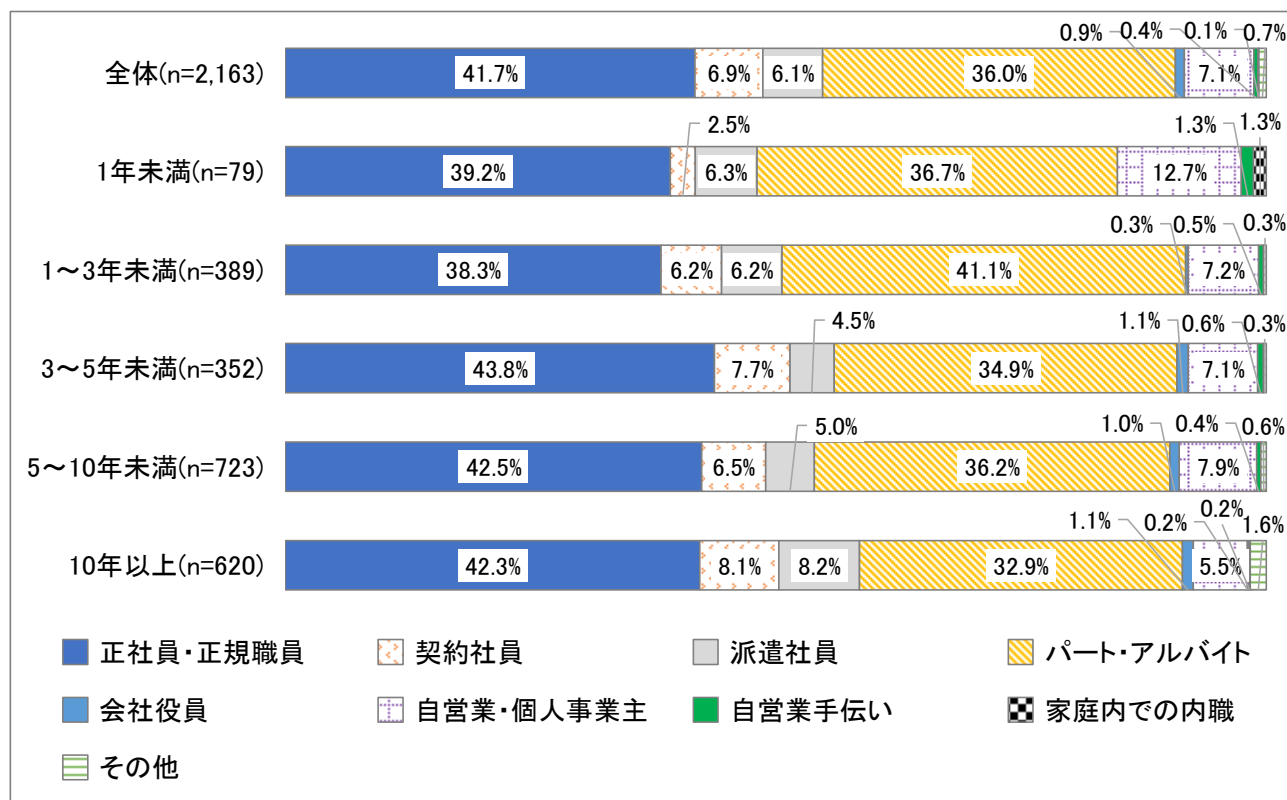
② 雇用形態（児童扶養手当の受給状況別）



図表 36 雇用形態（児童扶養手当の受給状況別）

児童扶養手当の受給状況別にみると、「受けている」では「パート・アルバイト」（41.7%）の割合が最も高く、次いで「正社員・正規職員」（34.7%）、「自営業・個人事業主」（7.7%）であった。「受けていない」では「正社員・正規職員」（62.9%）の割合が最も高く、次いで「パート・アルバイト」（19.9%）、「契約社員」（6.7%）であった。

③ 雇用形態（ひとり親の期間別）



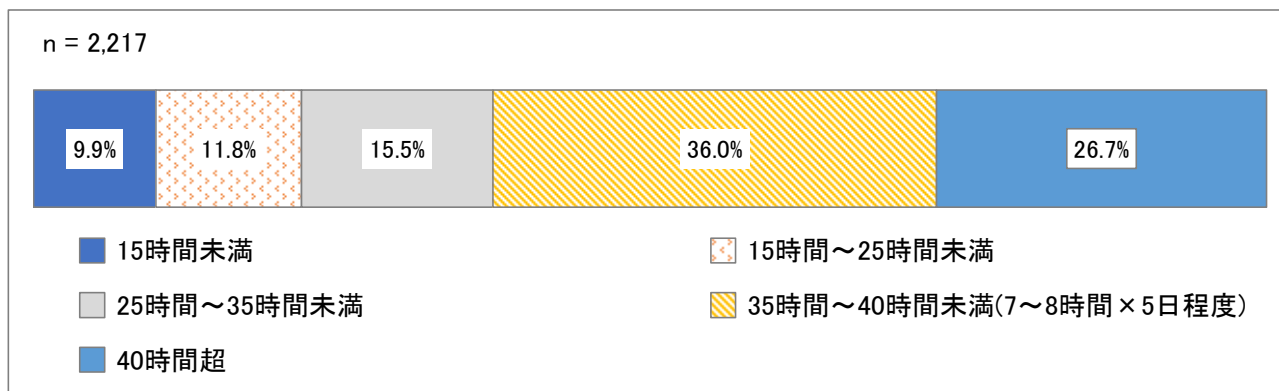
図表 37 雇用形態（ひとり親の期間別）

ひとり親の期間別にみると、「3～5年」では「正社員・正規職員」（43.8%）が最も高いのに対し、「1～3年未満」では「パート・アルバイト」（41.1%）が最も高くなった。

5. 4. 就労時間

(設問 17 で「就労している」を選んだ場合)

設問 20. 1 週間の平均的な就業時間を教えてください。(時間外・残業の時間・休憩時間等を含む)
就労先が複数ある場合は、合計時間で選択してください。(SA)



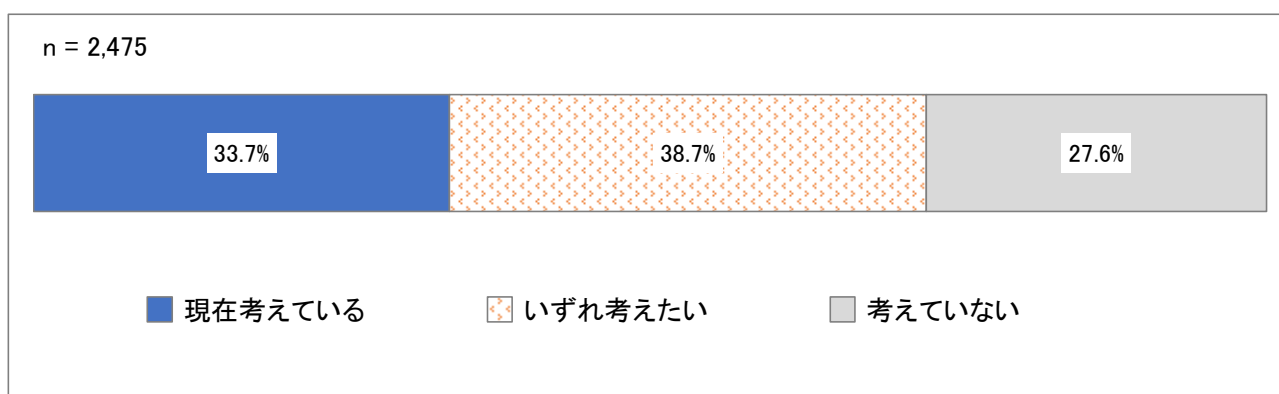
図表 38 就労時間

回答者の就労時間をみると、「35 時間～40 時間未満 (7～8 時間×5 日程度)」36.0%と最も高く、次いで、「40 時間超」(26.7%)、「25 時間～35 時間未満」(15.5%)と続いている。

5. 5. キャリアアップの希望

設問 22. 転職・就職、資格取得などによるキャリアアップや処遇改善を考えていますか。(SA)

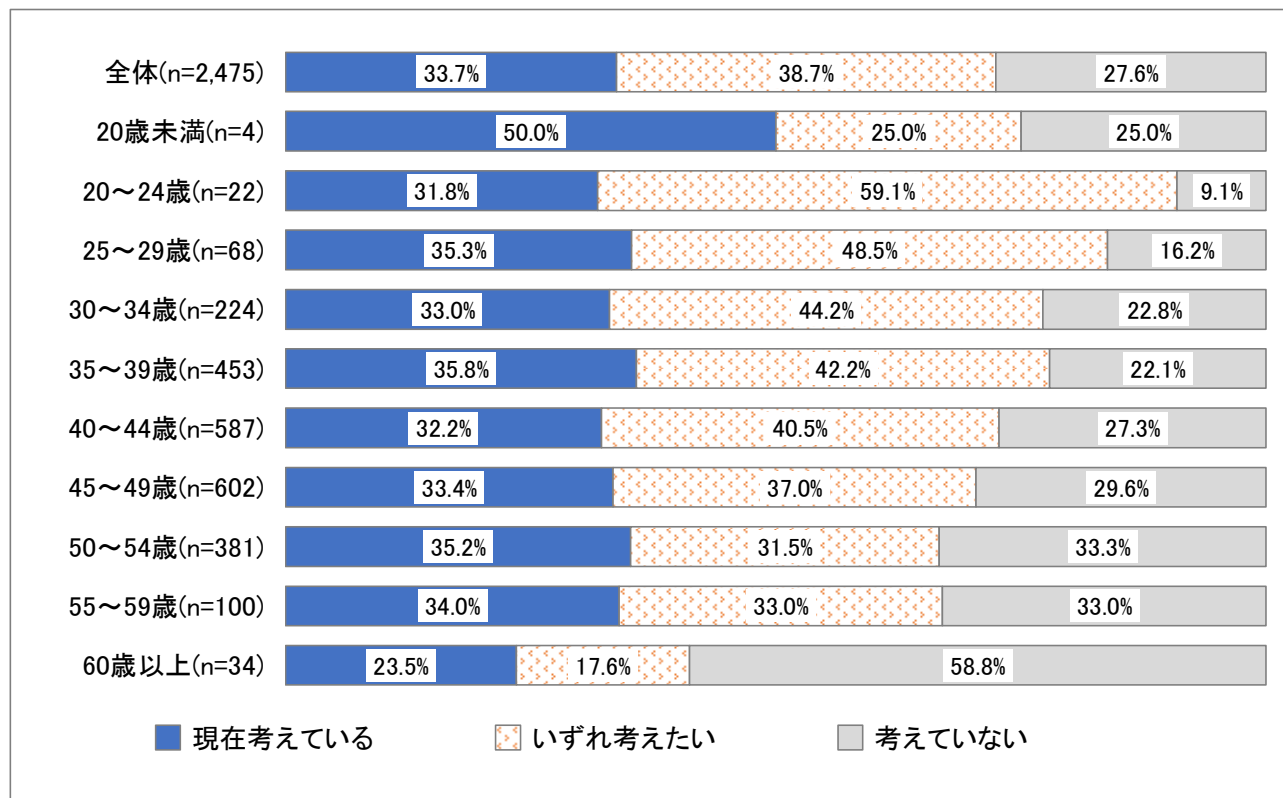
① キャリアアップの希望



図表 39 キャリアアップの希望

回答者のキャリアアップの希望をみると、「いずれ考えたい」が38.7%と最も高く、次いで、「現在考えている」(33.7%)、「考えていない」(27.6%)と続いている。

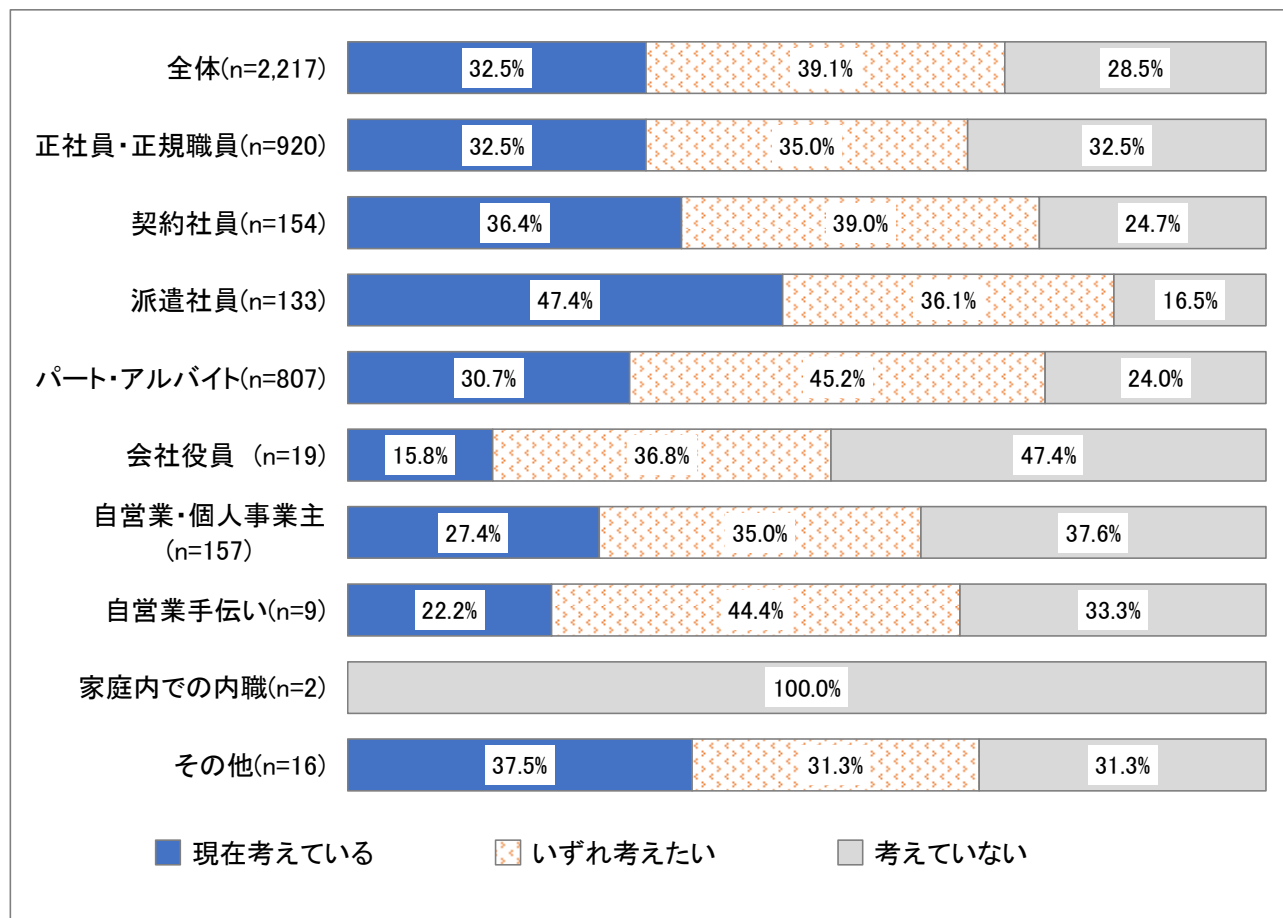
② キャリアアップの希望（年齢別）



図表 40 キャリアアップの希望（年齢別）

年齢別にみると、「39 歳以下」までの若い年代は「現在考えている」、「いずれ考えたい」を合わせた割合が8割程度と高くなっているのに対して、「40 歳以上」の年代では「考えていない」の割合が3割程度と高くなっており、年齢が上がるにつれて「考えていない」の割合が高くなる傾向にある。

③ キャリアアップの希望（雇用形態別）



図表 41 キャリアアップの希望（雇用形態別）

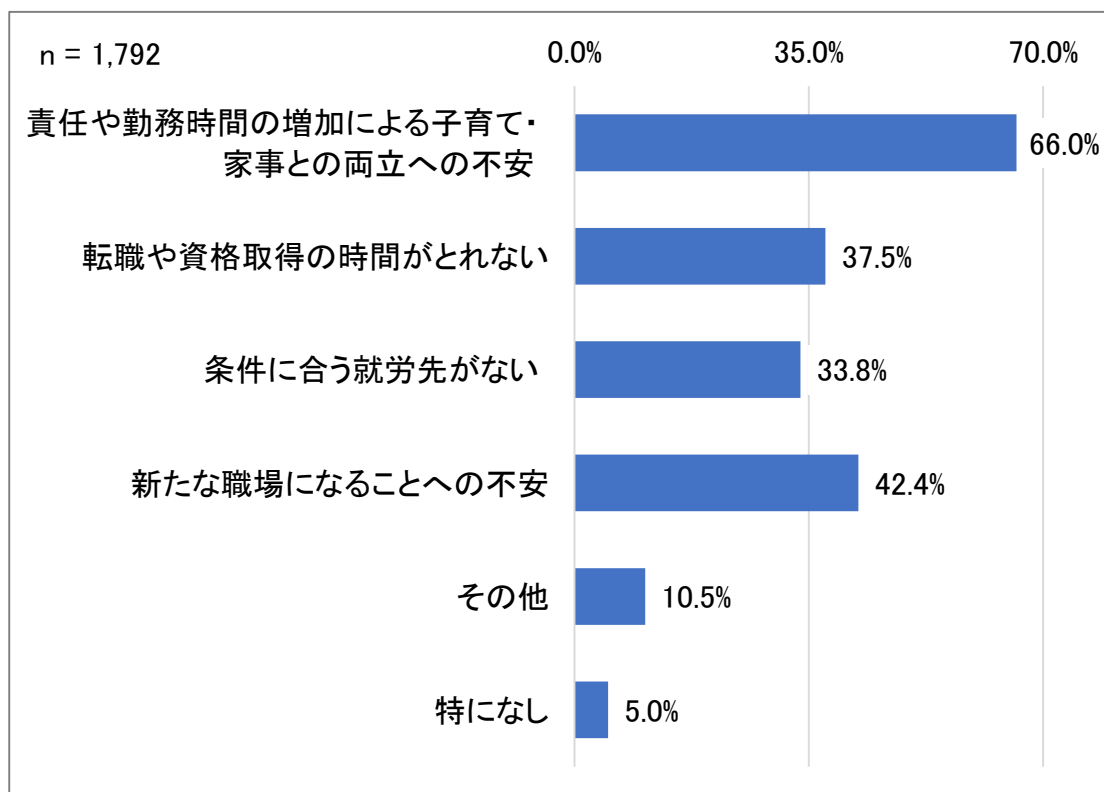
雇用形態別にみると、「契約社員」、「派遣社員」、「パート・アルバイト」では、「現在考えている」、「いずれ考えたい」を合わせた割合が、全体の割合よりも高くなった。

5. 6. キャリアアップの課題

(設問 22 で「現在考えている」「いずれ考えたい」を選んだ場合)

設問 23. キャリアアップ等を考えたときにネックと感ずることはなんですか。 (MA)

① キャリアアップの課題



図表 42 キャリアアップの課題

キャリアアップの課題別をみると、「責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安」が 66.0%と最も高く、次いで「新たな職場になることへの不安」(42.4%)、「転職や資格取得の時間が取れない」(37.5%)と続いている。

② キャリアアップの課題（年齢別）

（上段：件数 下段：割合）

	n	責任や 勤務時間の 増加による 子育て・家事との 両立への不安	転職や 資格取得の 時間がとれない	条件に合う 就労先がない	新たな 職場になること への不安	その他	特になし
全体	1,792 100.0	1,183 66.0	672 37.5	605 33.8	760 42.4	189 10.5	90 5.0
20歳未満	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0
20～24歳	20 100.0	19 95.0	8 40.0	7 35.0	11 55.0	0 0.0	0 0.0
25～29歳	57 100.0	43 75.4	20 35.1	26 45.6	19 33.3	1 1.8	6 10.5
30～34歳	173 100.0	136 78.6	59 34.1	64 37.0	73 42.2	9 5.2	9 5.2
35～39歳	353 100.0	273 77.3	159 45.0	135 38.2	153 43.3	20 5.7	9 2.5
40～44歳	427 100.0	289 67.7	165 38.6	139 32.6	191 44.7	40 9.4	19 4.4
45～49歳	424 100.0	254 59.9	168 39.6	130 30.7	187 44.1	53 12.5	17 4.0
50～54歳	254 100.0	132 52.0	74 29.1	75 29.5	104 40.9	44 17.3	24 9.4
55歳～59歳	67 100.0	29 43.3	17 25.4	23 34.3	20 29.9	16 23.9	4 6.0
60歳以上	14 100.0	6 42.9	2 14.3	6 42.9	1 7.1	5 35.7	2 14.3

図表 43 キャリアアップの課題（年齢別）

年齢別にみると、20代、30代ではいずれも「責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安」が7割を超え、30代から50代前半にかけては「新たな職場になることへの不安」が4割を超える傾向にあった。

③ キャリアアップの課題（雇用形態別）

(上段:件数 下段:割合)							
	n	責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安	転職や資格取得の時間がとれない	条件に合う就労先がない	新たな職場になることへの不安	その他	特になし
全体	1,586 100.0	1,050 66.2	637 40.2	525 33.1	703 44.3	146 9.2	74 4.7
正社員・正規職員	621 100.0	384 61.8	292 47.0	188 30.3	256 41.2	54 8.7	33 5.3
契約社員	116 100.0	75 64.7	47 40.5	48 41.4	60 51.7	11 9.5	5 4.3
派遣社員	111 100.0	72 64.9	43 38.7	36 32.4	49 44.1	10 9.0	7 6.3
パート・アルバイト	613 100.0	447 72.9	210 34.3	217 35.4	296 48.3	58 9.5	18 2.9
会社役員	10 100.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0
自営業・個人事業主	98 100.0	59 60.2	37 37.8	30 30.6	34 34.7	9 9.2	8 8.2
自営業手伝い	6 100.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7
家庭内での内職	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	11 100.0	6 54.5	5 45.5	3 27.3	3 27.3	3 27.3	1 9.1

図表 44 キャリアアップの課題（雇用形態別）

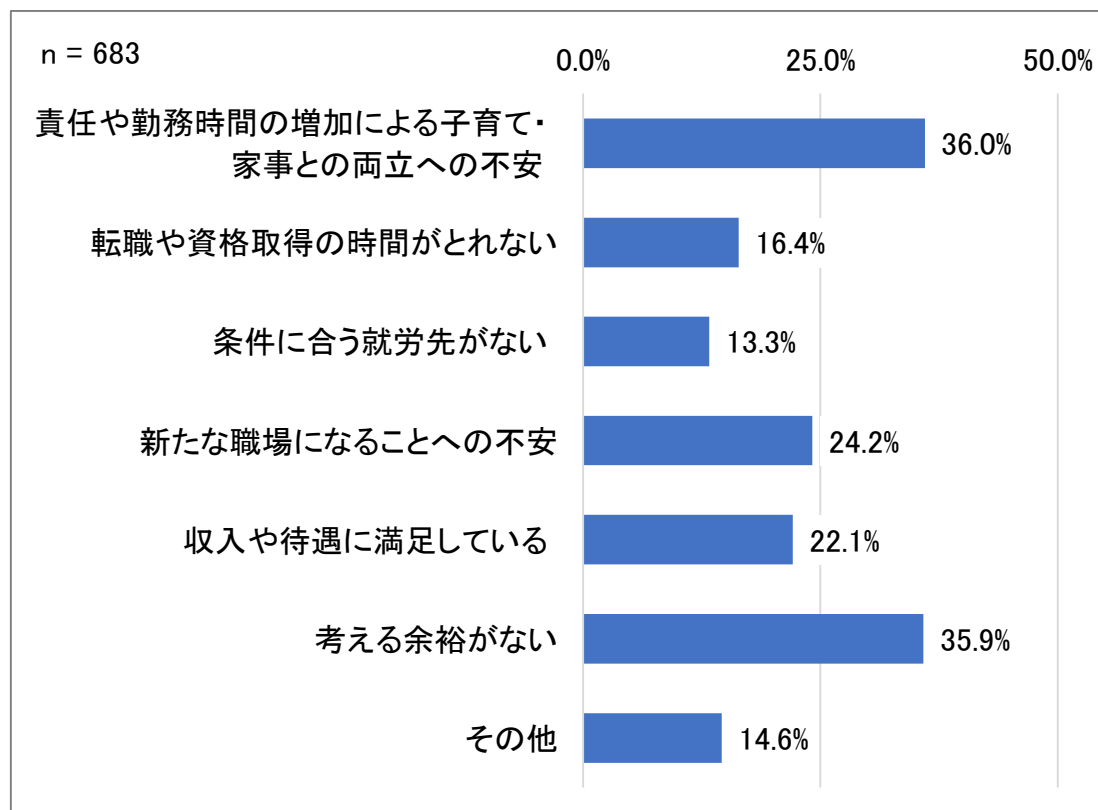
雇用形態別にみると「パート・アルバイト」では「責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安」が72.9%に対して「正社員・正規職員」では61.8%と11.1ポイント低くなった。また、「正社員・正規職員」では、「転職や資格取得の時間が取れない」が47.0%に対して「パート・アルバイト」では34.3%と12.7ポイント低くなった。

5. 7. キャリアアップを考えない理由

(設問 22 で「考えていない」を選んだ場合)

設問 24. キャリアアップ等を考えていない理由はなんですか。 (MA)

① キャリアアップを考えない理由



図表 45 キャリアアップを考えない理由

回答者のキャリアアップを考えない理由をみると、「責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安」36.0%と最も高く、次いで、「考える余裕がない」(35.9%)、「新たな職場になる事への不安」(24.2%)と続いている。

② キャリアアップを考えない理由（年齢別）

（上段：件数 下段：割合）

	n	責任や 勤務時間の 増加による 子育て・家事との 両立への不安	転職や 資格取得の 時間がとれない	条件に合う 就労先がない	新たな 職場になること への不安	収入や待遇に 満足している	考える余裕 がない	その他
全体	683 100.0	246 36.0	112 16.4	91 13.3	165 24.2	151 22.1	245 35.9	100 14.6
20歳未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20～24歳	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
25～29歳	11 100.0	2 18.2	2 18.2	1 9.1	3 27.3	2 18.2	5 45.5	3 27.3
30～34歳	51 100.0	28 54.9	7 13.7	9 17.6	10 19.6	9 17.6	20 39.2	1 2.0
35～39歳	100 100.0	41 41.0	15 15.0	9 9.0	27 27.0	29 29.0	37 37.0	14 14.0
40～44歳	160 100.0	59 36.9	27 16.9	22 13.8	39 24.4	31 19.4	62 38.8	20 12.5
45～49歳	178 100.0	65 36.5	29 16.3	27 15.2	49 27.5	34 19.1	61 34.3	23 12.9
50～54歳	127 100.0	36 28.3	22 17.3	14 11.0	27 21.3	36 28.3	44 34.6	27 21.3
55～59歳	33 100.0	7 21.2	6 18.2	5 15.2	4 12.1	9 27.3	9 27.3	8 24.2
60歳以上	20 100.0	7 35.0	4 20.0	3 15.0	6 30.0	1 5.0	6 30.0	4 20.0

図表 46 キャリアアップを考えない理由（年齢別）

年齢別にみると、「30代」では「責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安」が4割以上とほかの年代に比べ、割合が高くなっている。また、「考える余裕がない」は年代が上がるにつれて割合が低くなる傾向にある。

③ キャリアアップを考えない理由（雇用形態別）

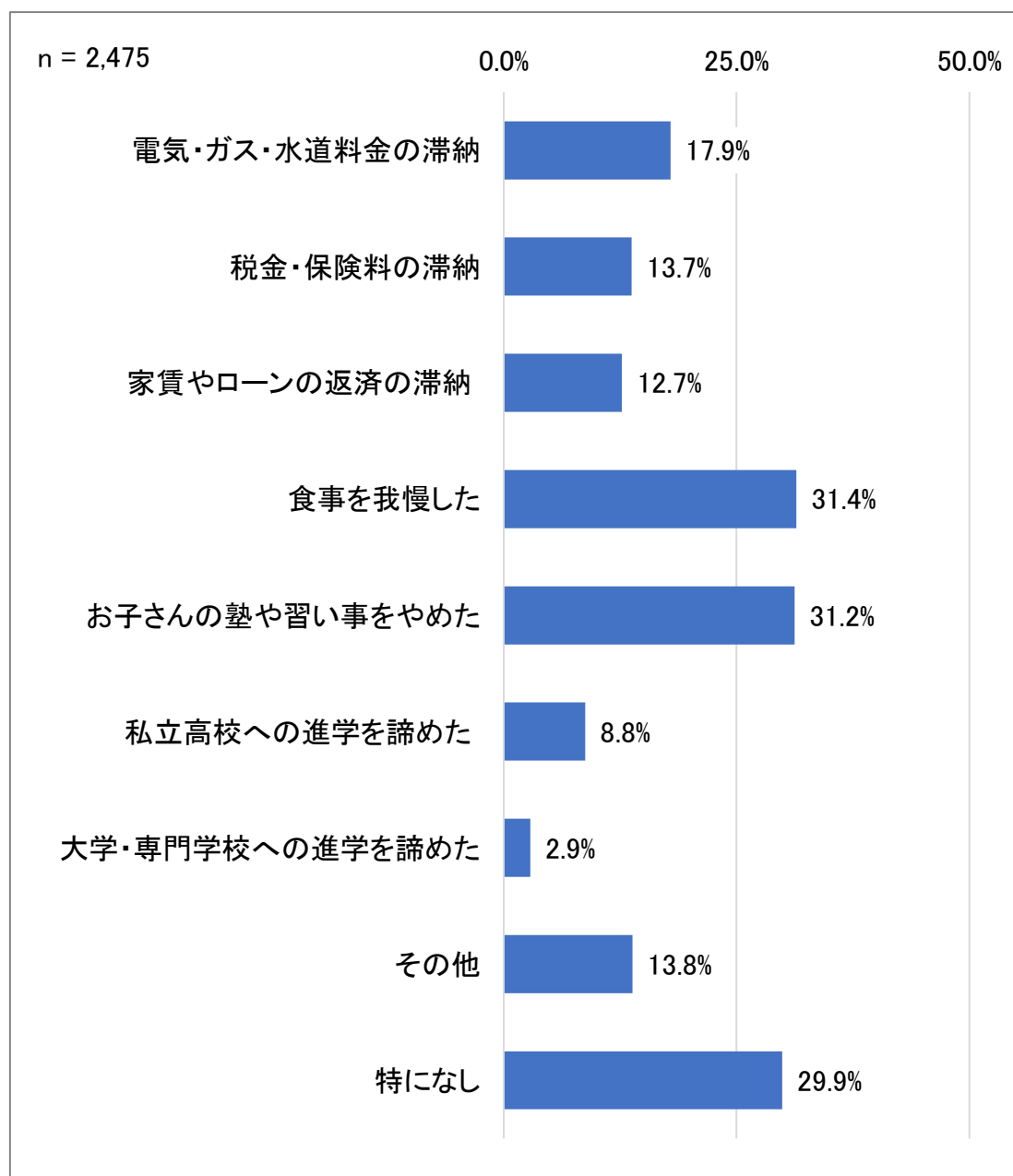
(上段: 件数 下段: 割合)								
	n	責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安	転職や資格取得の時間がとれない	条件に合う就労先がない	新たな職場になることへの不安	収入や待遇に満足している	考える余裕がない	その他
全体	631 100.0	233 36.9	110 17.4	83 13.2	163 25.8	149 23.6	222 35.2	75 11.9
正社員・正規職員	299 100.0	105 35.1	56 18.7	39 13.0	75 25.1	83 27.8	106 35.5	32 10.7
契約社員	38 100.0	16 42.1	9 23.7	7 18.4	13 34.2	9 23.7	13 34.2	6 15.8
派遣社員	22 100.0	10 45.5	3 13.6	5 22.7	3 13.6	4 18.2	8 36.4	2 9.1
パート・アルバイト	194 100.0	81 41.8	31 16.0	22 11.3	65 33.5	36 18.6	69 35.6	22 11.3
会社役員	9 100.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 44.4	3 33.3	2 22.2
自営業・個人事業主	59 100.0	20 33.9	10 16.9	8 13.6	5 8.5	11 18.6	19 32.2	9 15.3
自営業手伝い	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3
家庭内での内職	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
その他	5 100.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0

図表 47 キャリアアップを考えない理由（雇用形態別）

雇用形態別にみると、「パート・アルバイト」では「収入や待遇に満足している」が18.6%に対し、「正社員・正規職員」では27.8%と9.2ポイント高かった。

5. 8. 経済的な困りごと

設問 25. 過去1年間で、日常生活をするうえで経済的な（お金による）困りごとがありましたか。あてはまるものすべて選択してください。（MA）



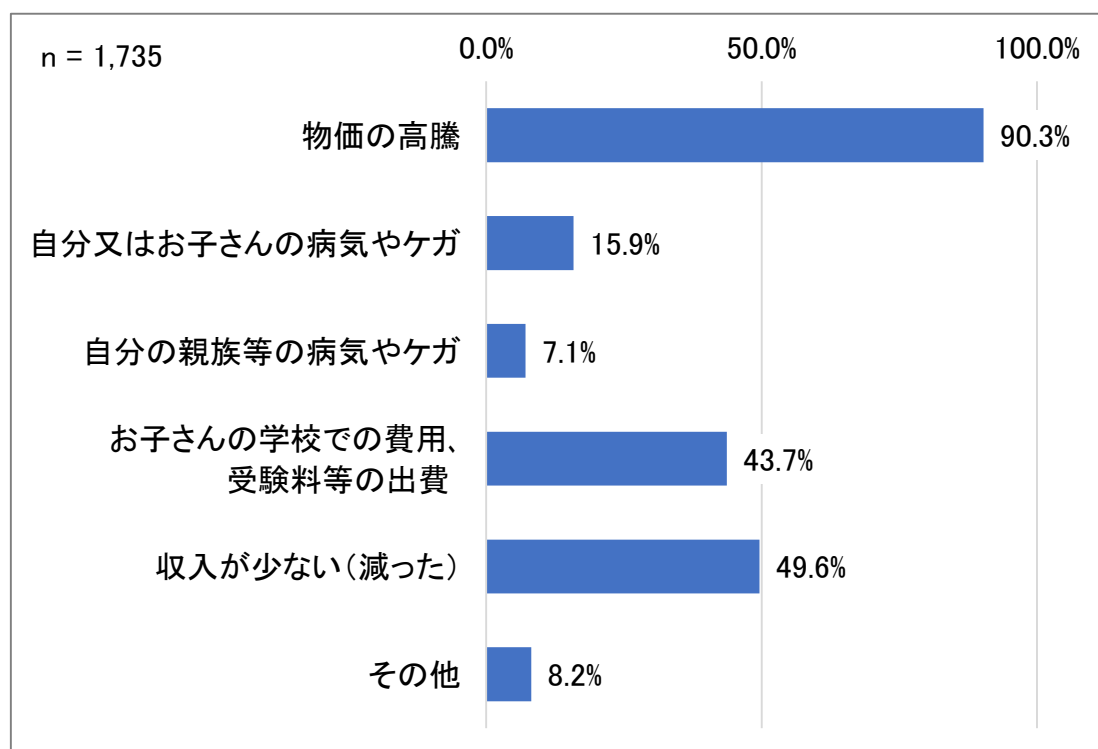
図表 48 経済的な困りごと

回答者の経済的な困りごとをみると、「食事を我慢した」が31.4%と最も高く、次いで、「お子さんの塾や習い事をやめた」(31.2%)、「特になし」(29.9%)と続いている。

5. 9. 困りごとの原因

(設問 25 で「特になし」以外を選んだ場合)

設問 26. お金による困りごととなった原因として思い当たることを選択してください。(MA)



図表 49 困りごとの原因

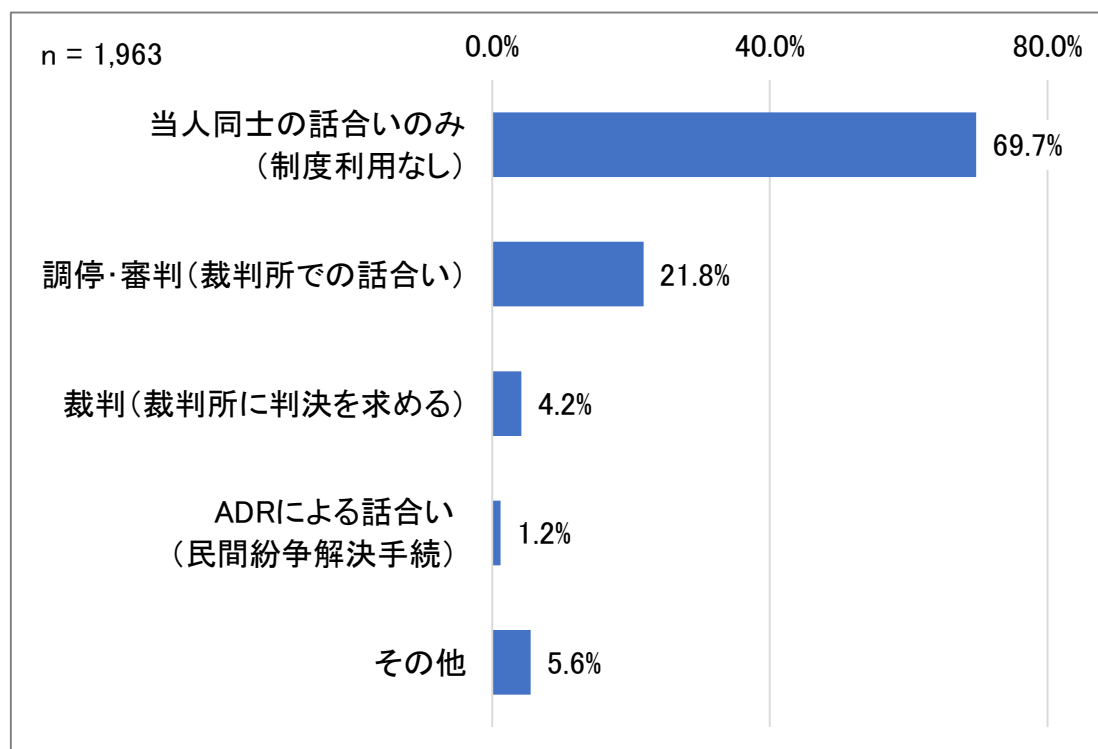
回答者の困りごとの原因をみると、「物価の高騰」が 90.3%と最も高く、次いで、「収入が少ない(減った)」(49.6%)、「お子さんの学校での費用、受験料等での出費」(43.7%)と続いている。

6. 離婚の際の取り決めについて

6. 1. 第三者を交えた協議

(設問5で「離婚」を選んだ場合)

設問 27. 離婚の際に、第三者を交えた交渉や審判を行いましたか。行った場合は利用した制度を選択してください。(MA)



図表 50 第三者を交えた協議

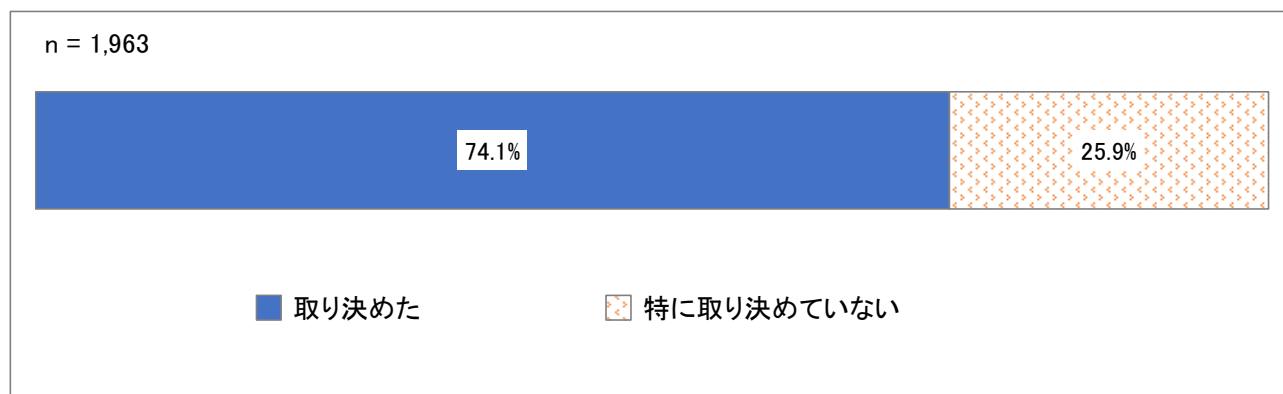
回答者の第三者を交えた協議をみると、「当人同士の話し合いのみ（制度利用なし）」が69.7%と最も高く、次いで、「調停・審判（裁判所での話し合い）」(21.8%)、「その他」(5.6%)、「裁判（裁判所に判決を求める）」(4.2%)と続いている。

6. 2. 子どもの養育に関する取り決め

(設問5で「離婚」を選んだ場合)

設問28. 離婚の際、次の①～③の内容について、取り決めの方法としてあてはまるものを選択してください。
(SA)

① 養育費

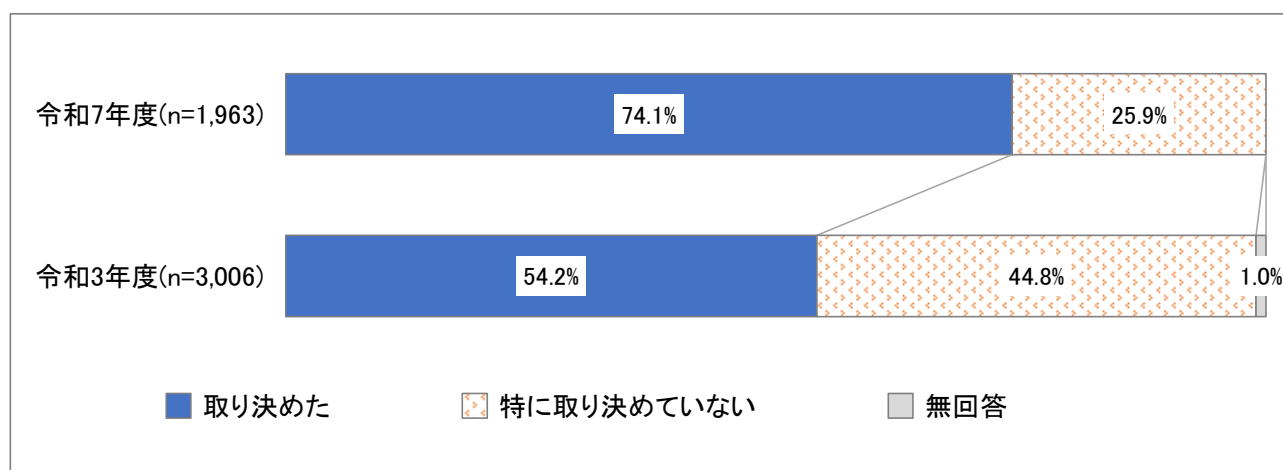


図表 51 養育費

回答者の子どもの養育費に関する取り決めにみると、「取り決めた」が74.1%、「特に取り決めていない」が25.9%となった。

※「取り決めた」(74.1%)については、設問28の「公正証書」「調定調書」「裁判所の審判所や判決書等」「ADRによる合意書」「私的な文書・念書」「口頭のみ」「その他」を回答した方の割合となります。

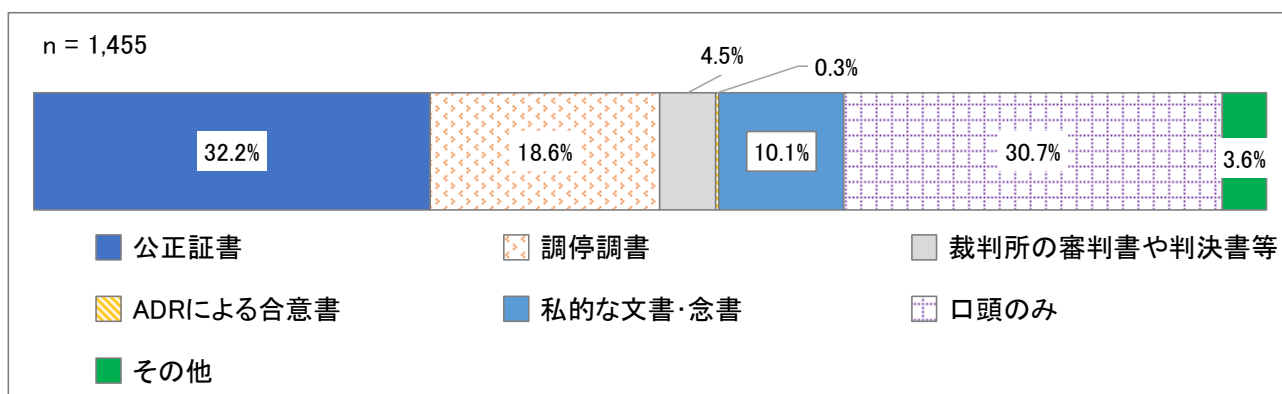
・前回比較



図表 52 養育費 (前回比較)

子どもの養育費に関する取り決めについての前回比較では、「取り決めた」では、19.9ポイント増加した。

・ 取り決め方法

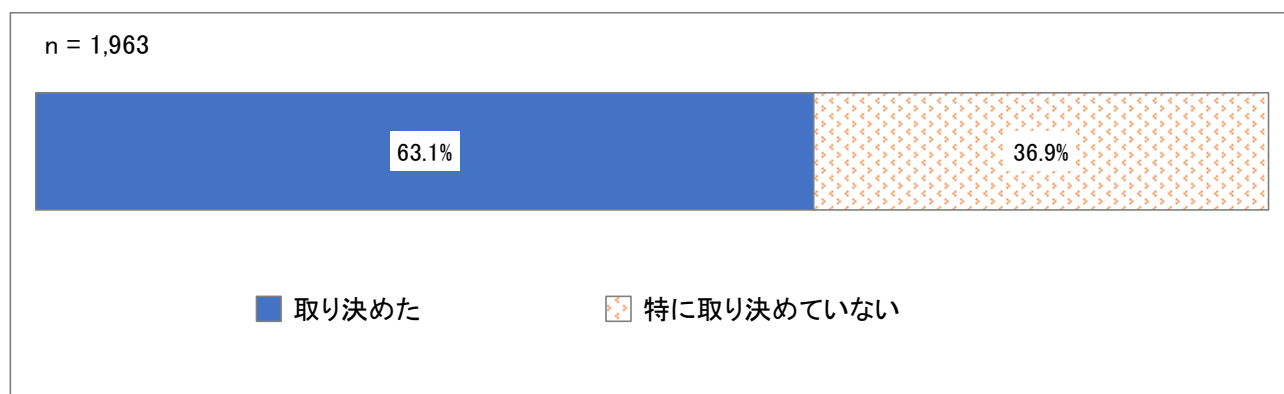


図表 53 養育費（取り決め方法）

回答者の養育費の取り決めの方法をみると、「公正証書」が 32.2%と最も高く、次いで、「口頭のみ」(30.7%)、「調停調書」(18.6%)と続いている。

※図表 51 において「取り決めた」とした回答の内訳です。

② 親子交流（面会交流）

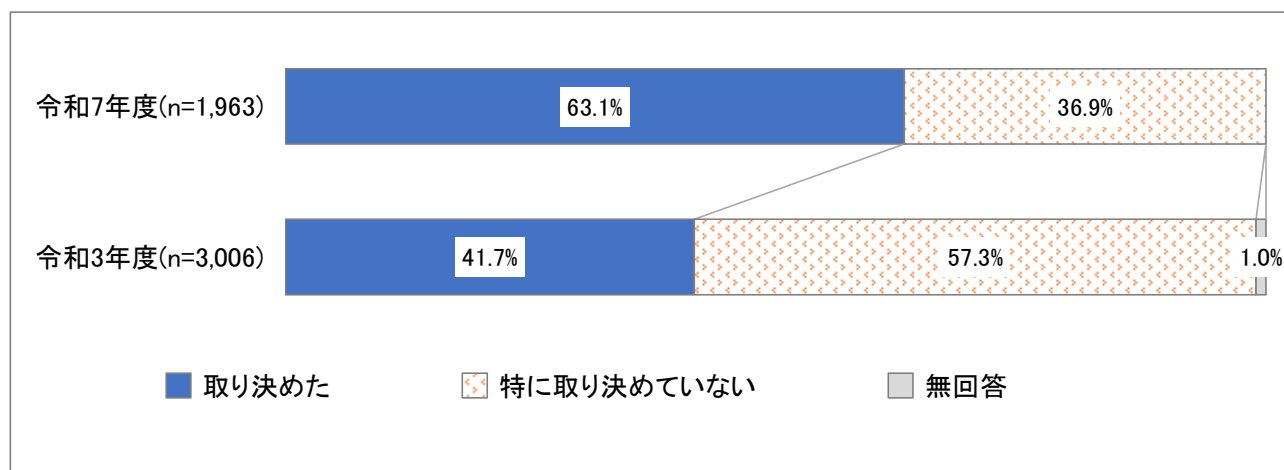


図表 54 親子交流（面会交流）

回答者の親子交流（面会交流）に関する取り決めにみると、「取り決めた」が63.1%、「特に取り決めていない」が36.9%となった。

※「取り決めた」（63.1%）については、設問28の「公正証書」「調定調書」「裁判所の審判所や判決書等」「ADRによる合意書」「私的な文書・念書」「口頭のみ」「その他」を回答した方の割合となります。

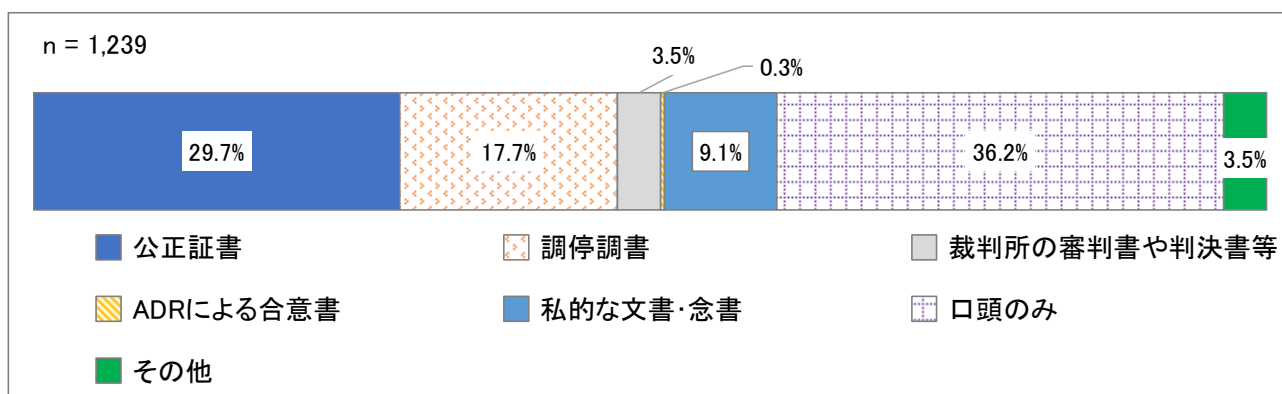
・前回比較



図表 55 親子交流（面会交流）（前回比較）

親子交流（面会交流）に関する取り決めにについての前回比較では、「取り決めた」では、21.4ポイント増加した。

・ 取り決め方法

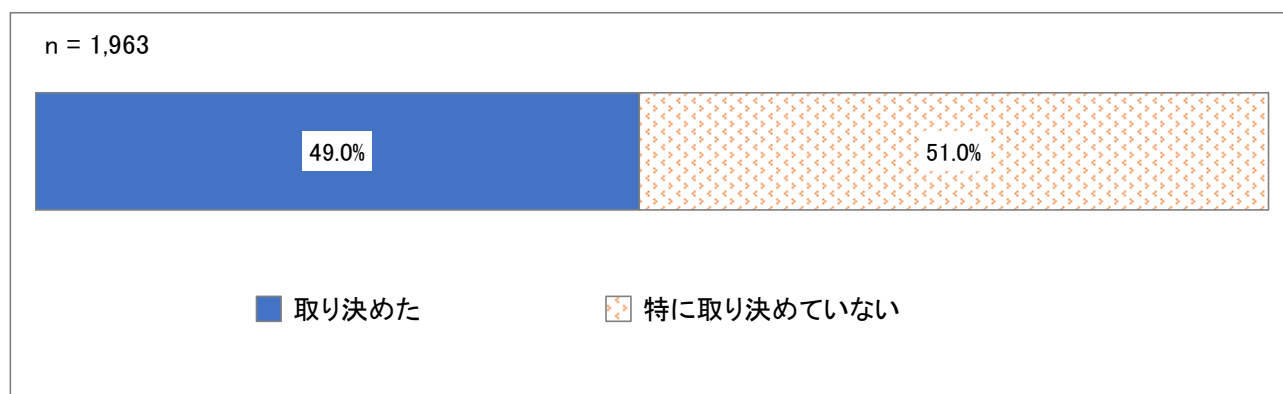


図表 56 親子交流（面会交流）（取り決め方法）

回答者の親子交流（面会交流）の取り決めの方法をみると、「口頭のみ」が36.2%と最も高く、次いで、「公正証書」（29.7%）、「調停調書」（17.7%）と続いている。

※図表 54 において「取り決めた」とした回答の内訳です。

③ 共同親権

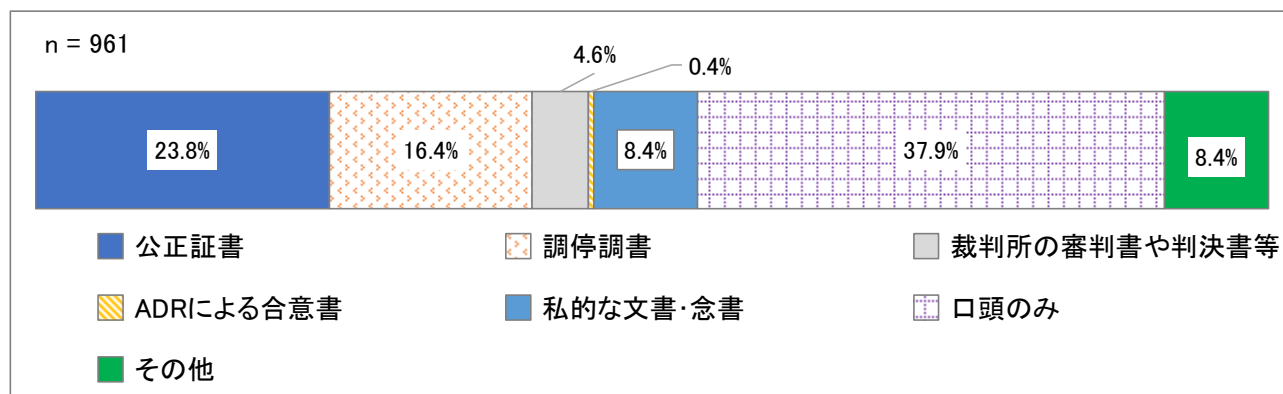


図表 57 共同親権

回答者の共同親権に関する取り決めにみると、「取り決めた」が49.0%、「特に取り決めていない」が51.0%となった。

※「取り決めた」(49.0%)については、設問28の「公正証書」「調停調書」「裁判所の審判所や判決書等」「ADRによる合意書」「私的な文書・念書」「口頭のみ」「その他」を回答した方の割合となります。

・取り決め方法



図表 58 共同親権（取り決め方法）

回答者の共同親権の取り決めの方法をみると、「口頭のみ」が37.9%と最も高く、次いで、「公正証書」(23.8%)、「調停調書」(16.4%)と続いている。

※図表57において「取り決めた」とした回答の内訳です。

※なお、本設問における「共同親権」については、養育費や親子交流以外で、父母が離婚後も共同して子どもの養育を行うことについての取決めの有無を確認する趣旨の設問でしたが、設問内容からこの趣旨が読み取れない可能性があり、今後施行が予定されている改正民法の「共同親権」と混同する可能性があることから、本設問の結果については参考といたします。

(設問5で「離婚」を選んだ場合)

設問29. 設問28の内容以外で、お子さんの養育にかかる条件で取り決めた内容があれば教えてください。

④ その他

(件数)									
	n	養育費と 面会 の条件 について	未払い・ 支払い なし について	学費 について	支払い 期限 について	住宅費 について	医療費・ 保険費 について	親権 について	その他
全体	247	85	40	39	23	12	7	5	20

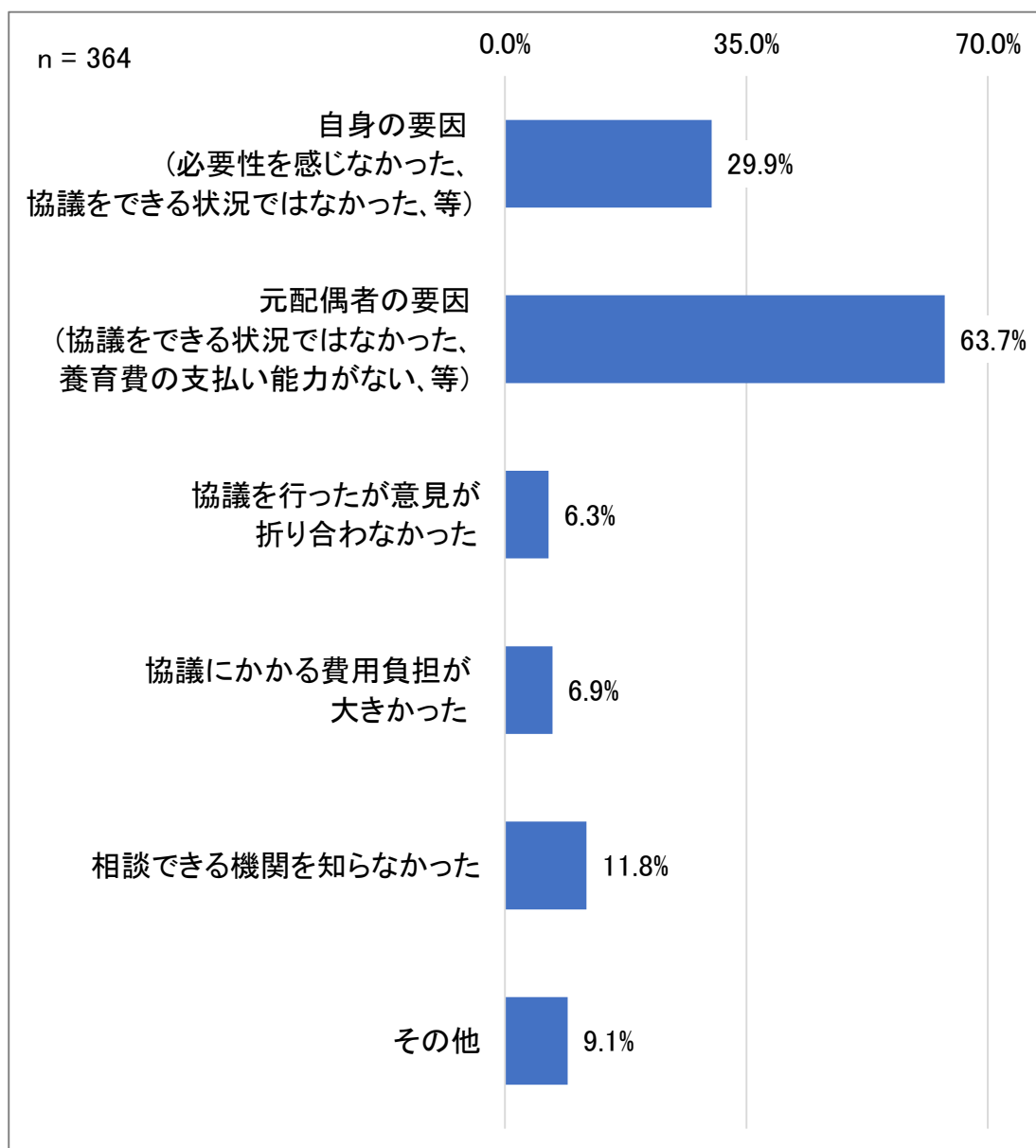
図表 59 その他

「その他」の自由回答記述には、「養育費と面会の条件について」(85件)、「未払い・支払いなしについて」(40件)、「学費について」(39件)、「支払い期限について」(23件)、「住宅費について」(12件)、「医療費・保険費について」(7件)、「親権について」(5件)、「その他」(20件)が挙げられている。

6. 3. 子どもの養育条件を取り決めなかった理由

(設問 28 の①～③全てで「特に取り決めていない」を選んだ場合)

設問 30. 設問 28 の内容の取決めを行っていない理由としてあてはまるものをすべて選択してください。(MA)



図表 60 取り決めなかった理由

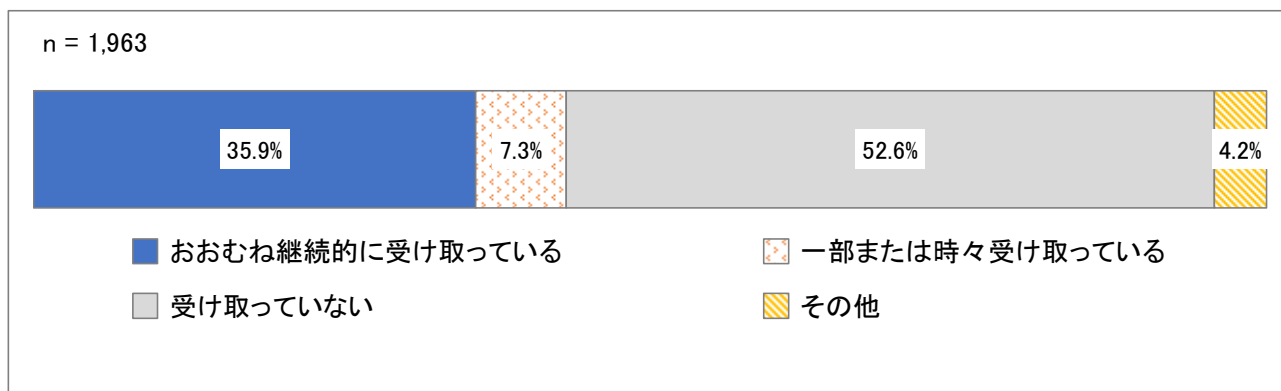
回答者の取り決めなかった理由をみると、「元配偶者の要因（協議をできる状況ではなかった、養育費の支払い能力がない、等）」が 63.7%と最も高く、次いで、「自身の要因（必要性を感じなかった、協議をできる状況ではなかった、等）」(29.9%)、「相談できる機関を知らなかった」(11.8%)と続いている。

6. 4. 養育費の受け取り状況

(設問5で「離婚」を選んだ場合)

設問31. 養育費の受け取りの状況を教えてください。(SA)

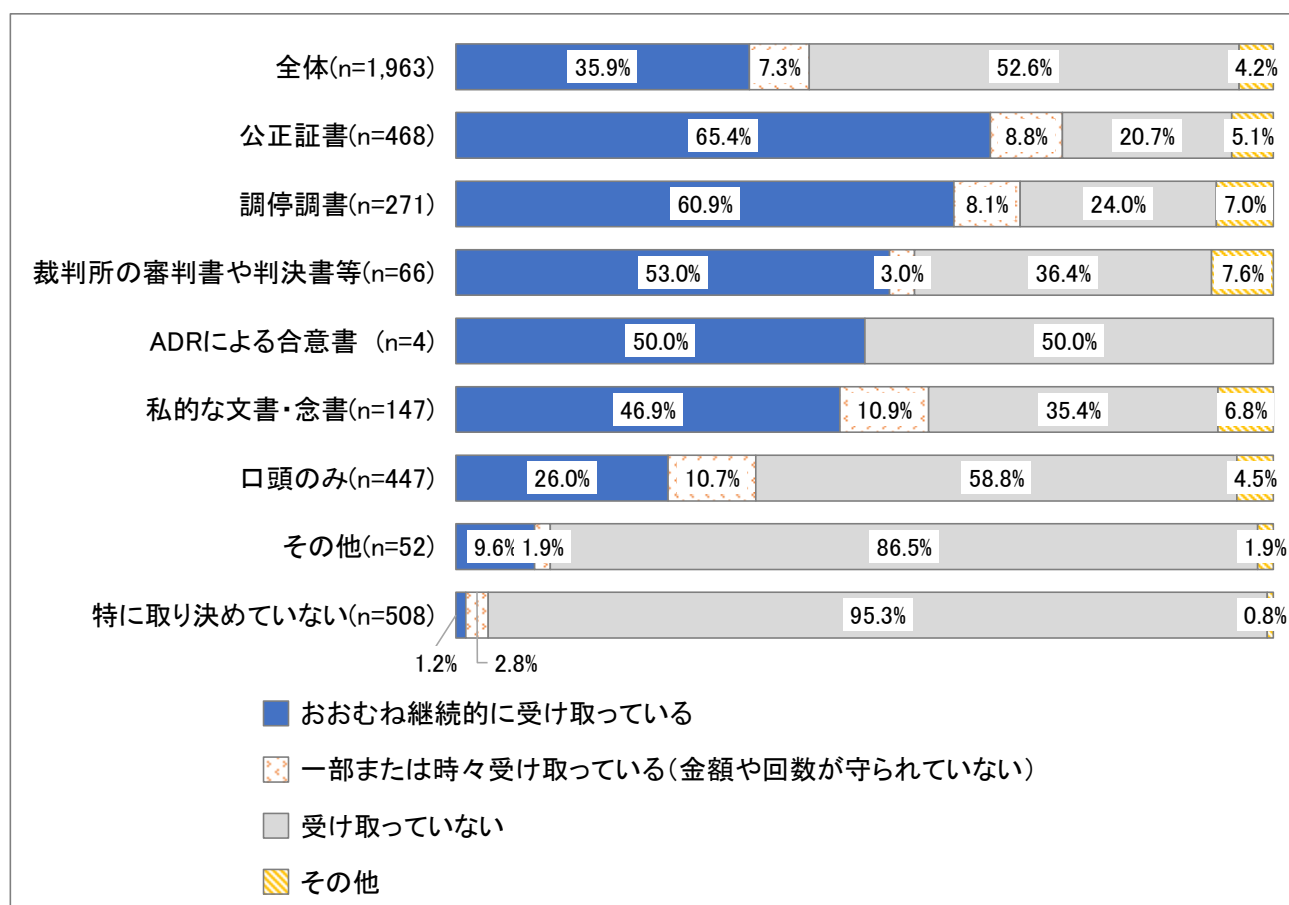
① 養育費の受け取り状況



図表 61 養育費の受け取り状況

回答者の養育費の受け取り状況をみると、「受け取っていない」が52.6%と最も高く、次いで、「おおむね継続的に受け取っている」(35.9%)、「一部または時々受け取っている」(7.3%)と続いている。

② 取り決め方法別

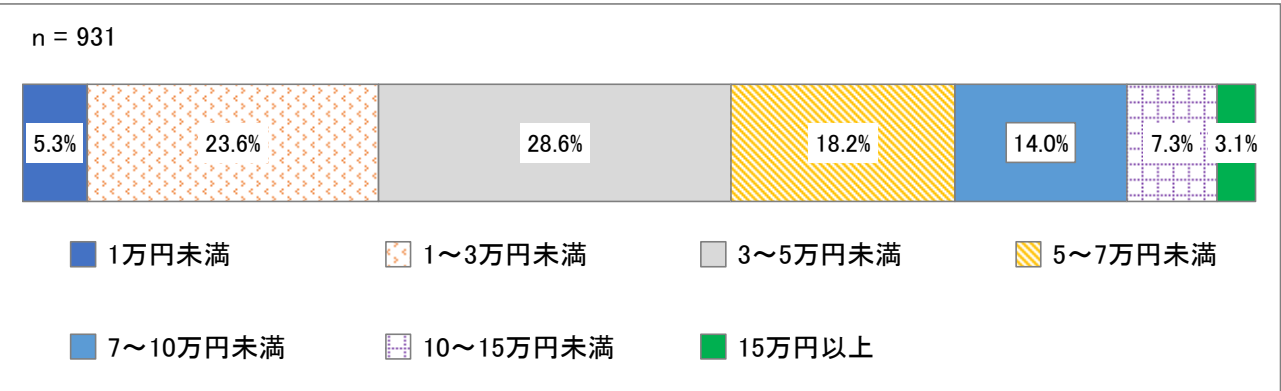


図表 62 養育費の受け取り状況 (取り決め方法別)

取り決め方法別にみると、「公正証書」では「おおむね継続的に受け取っている」(65.4%)の割合が最も高いのに対して、「口頭のみ」では「受け取っていない」(58.8%)の割合が最も高くなった。

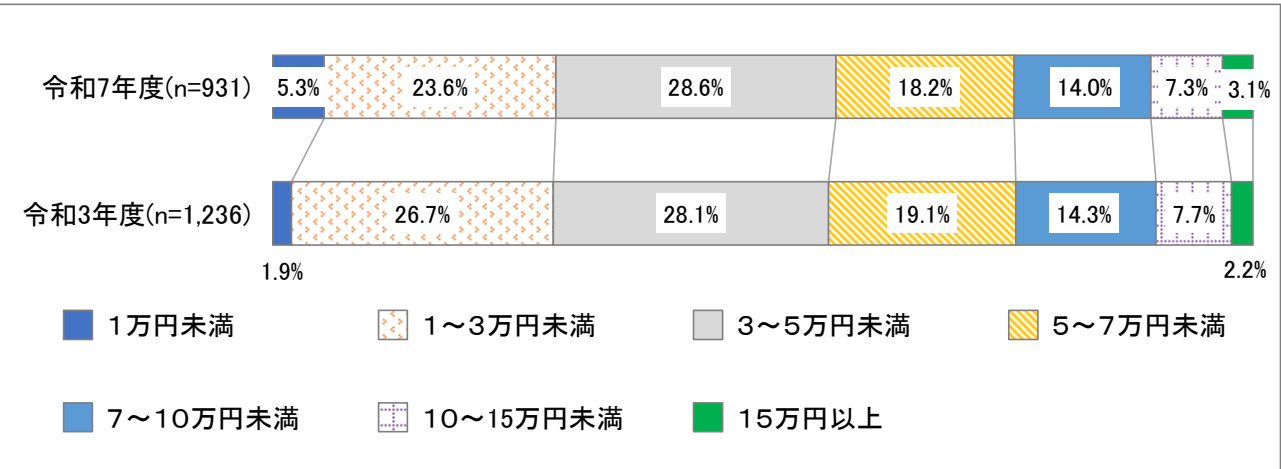
6. 5. 養育費の金額

(設問 31 で「受け取っていない」以外を選んだ場合)
 設問 32. 養育費の平均的な金額 (月額) を教えてください。(SA)



図表 63 養育費の金額

回答者の養育費の金額をみると、「3～5万円未満」が28.6%と最も高く、次いで、「1～3万円未満」(23.6%)、「5～7万円未満」(18.2%)と続いている。



図表 64 養育費の金額 (前回比較)

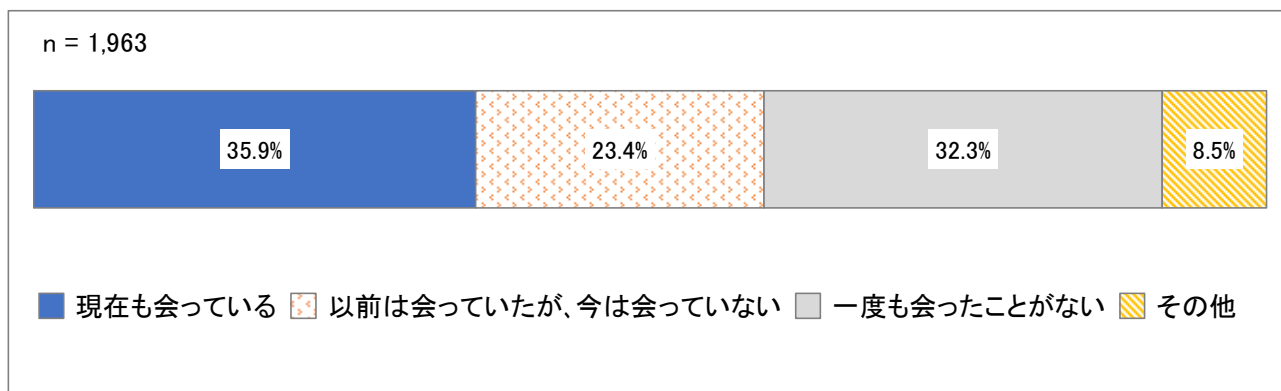
養育費の金額についての前回比較では、「1～3万未満」では、3.1ポイント減少した。

6. 6. 親子交流（面会交流）の実施状況

（設問5で「離婚」を選んだ場合）

設問33. 親子交流（面会交流）の実施状況を教えてください。（SA）

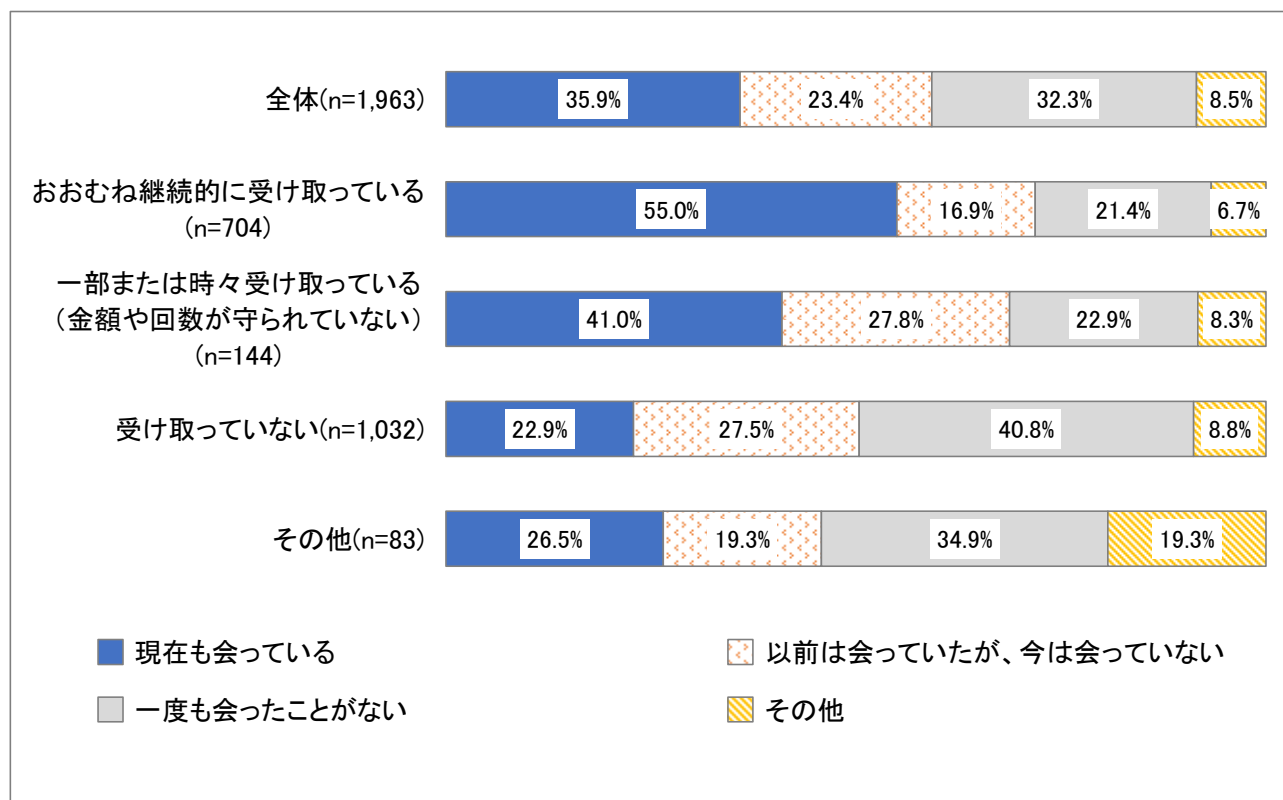
① 親子交流（面会交流）の実施状況



図表 65 親子交流（面会交流）の実施状況

回答者の親子交流（面会交流）の実施状況をみると、「現在もあっている」が35.9%と最も高く、次いで、「一度もあつたことがない」（32.3%）、「以前は会っていたが、今は会っていない」（23.4%）と続いている。

② 養育費の支払い状況別



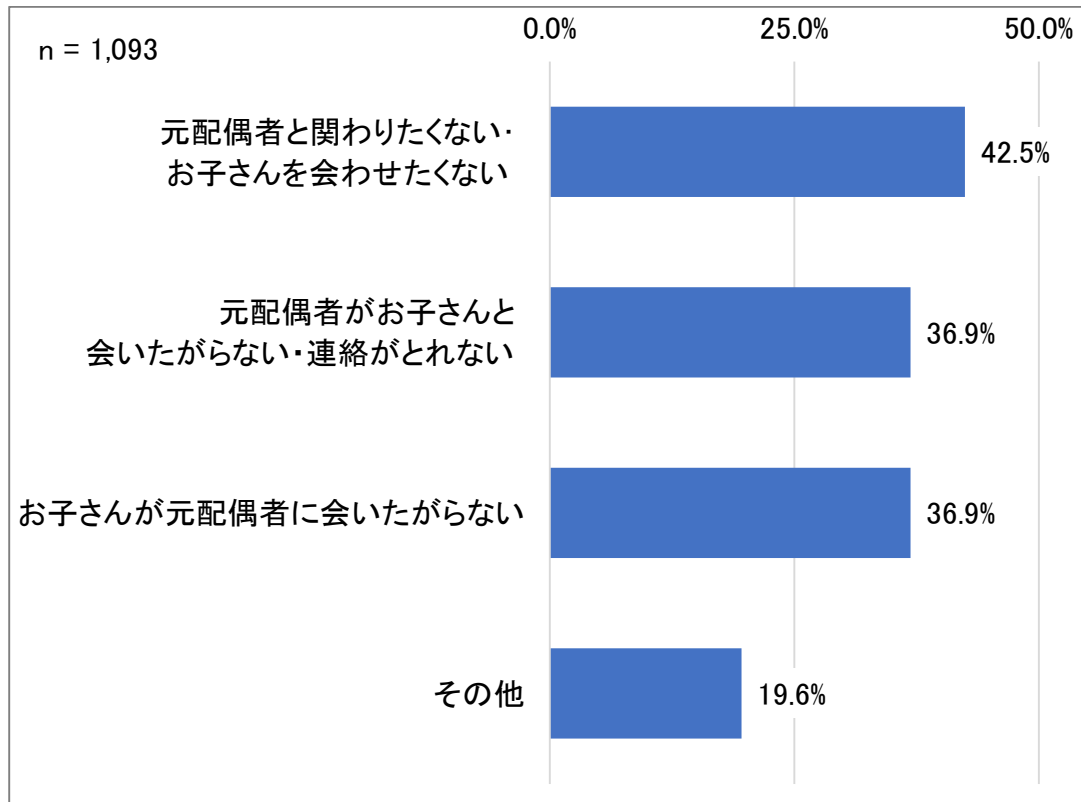
図表 66 親子交流（面会交流）の実施状況（養育費の支払い状況別）

養育費の支払い状況別にみると、「おおむね継続的に受け取っている」では「現在も会っている」（55.0％）の割合が最も高く、次いで「一度も会ったことがない」（21.4％）、「以前は会っていたが、今は会っていない」（16.9％）であった。一方で、「受け取っていない」では「一度も会ったことがない」（40.8％）の割合が最も高く、次いで「以前は会っていたが、今は会っていない」（27.5％）、「現在も会っている」（22.9％）となった。

6. 7. 親子交流（面会交流）を行わない理由

（設問 33 で「以前は会っていたが、今は会っていない」「一度も会ったことがない」を選んだ場合）

設問 34. 親子交流（面会交流）を行わない（行うことができない）理由として思うことがあれば教えてください。（MA）



図表 67 親子交流（面会交流）を行わない理由

回答者の親子交流（面会交流）を行わない理由をみると、「元配偶者と関わりたくない・お子さんを会わせたくない」が 42.5%と最も高く、次いで、「元配偶者がお子さんと会いたがらない・連絡が取れない」と「お子さんが元配偶者に会いたがらない」が 36.9%、「その他」（19.6%）と続いている。

(件数)									
	n	所在不明・連絡が取れないため	遠方のため	再婚したため	養育費が未払いのため	DV・モラハラ・虐待があったため	多忙のため	死別したため	その他
全体	214	38	34	18	15	15	13	10	71

図表 68 その他

「その他」の自由回答記述には、「所在不明・連絡が取れないため」（38 件）、「遠方のため」（34 件）、「再婚したため」（18 件）、「養育費が未払いのため」（15 件）、「DV・モラハラ・虐待があったため」（15 件）、「多忙のため」

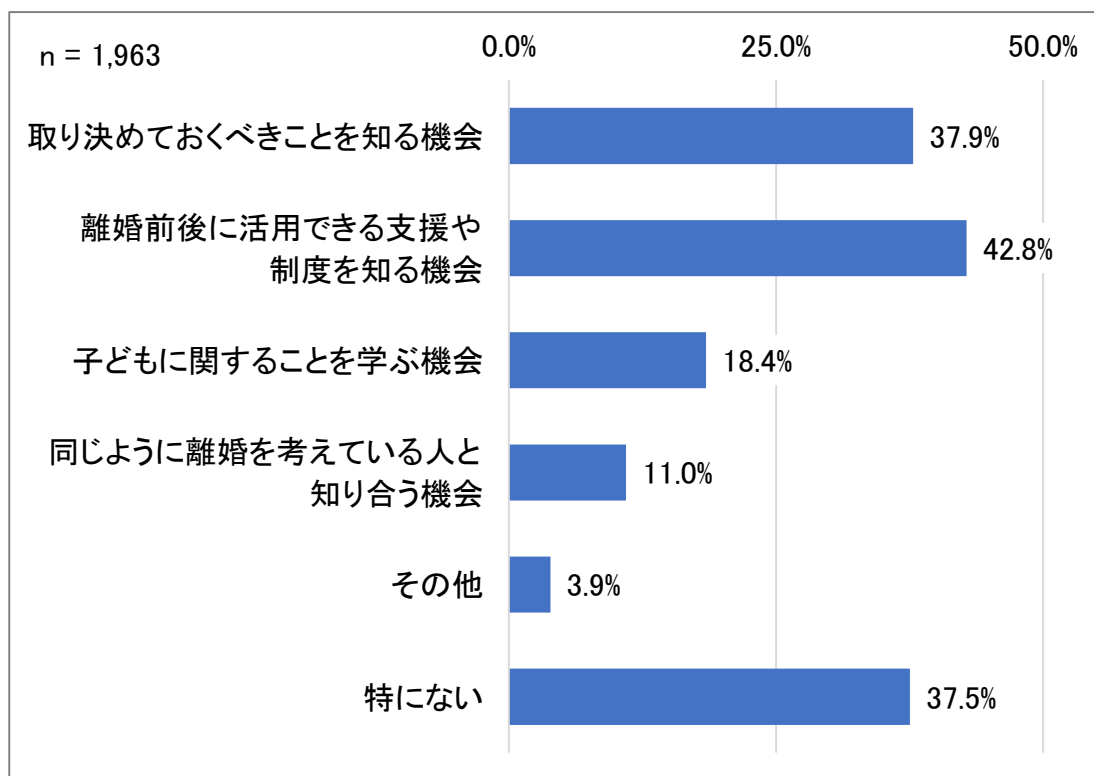
(13 件)、「死別したため」(10 件)、「その他」(71 件)が挙げられている。

6. 8. 離婚前に「あればよかった」と思う機会

(設問5で「離婚」を選んだ場合)

設問35. 離婚をする前に「あればよかった」と思う機会があれば教えてください。(MA)

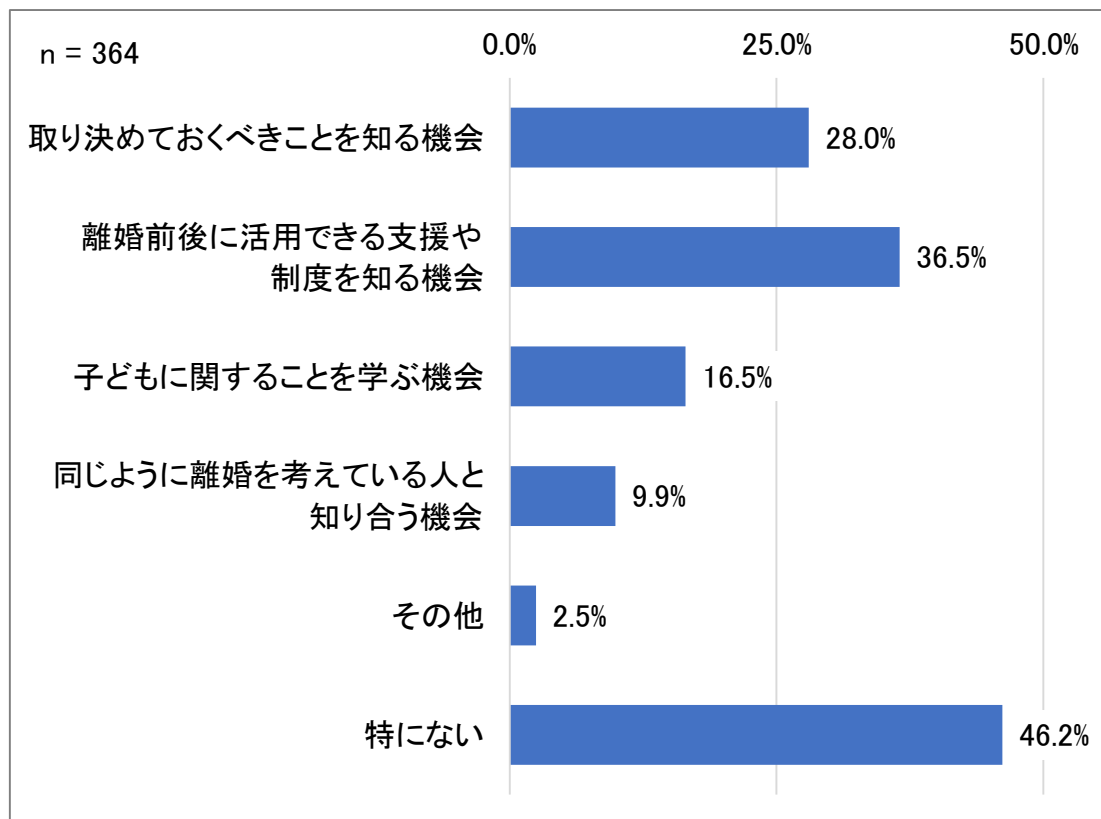
① 離婚前に「あればよかった」と思う機会



図表 69 離婚前に「あればよかった」と思う機会

回答者の離婚前に「あればよかった」と思う機会があるかをみると、「離婚前後に活用できる支援や制度を知る機会」が42.8%と最も高く、次いで、「取り決めておくべきことを知る機会」(37.9%)、「特にない」(37.5%)と続いている。

② 取り決めなかった人について



図表 70 取り決めなかった人について

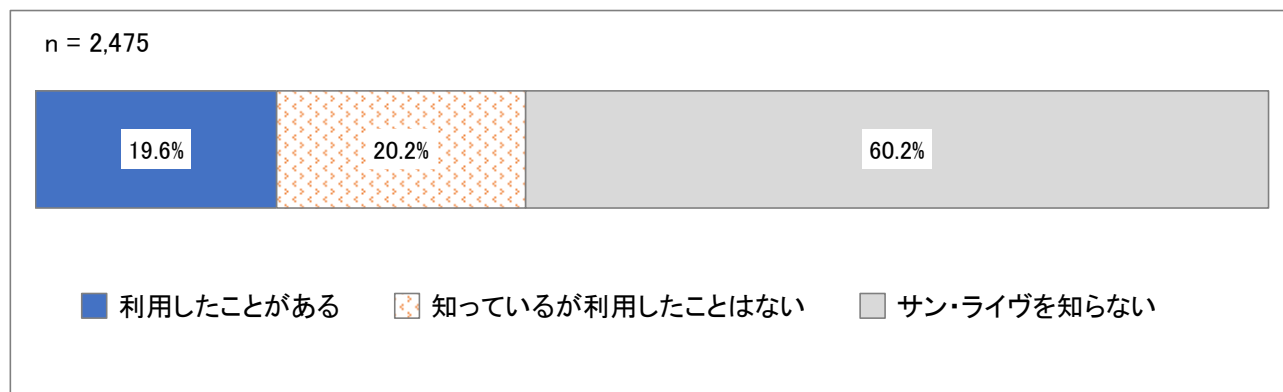
回答者の取り決めなかった人についてみると、「特にない」が46.2%と最も高く、次いで、「離婚前後に活用できる支援や制度を知る機会」(36.5%)、「取り決めておくべきことを知る機会」(28.0%)が続いている。

7. 川崎市の施策について

7. 1. 母子・父子福祉センターサン・ライヴ

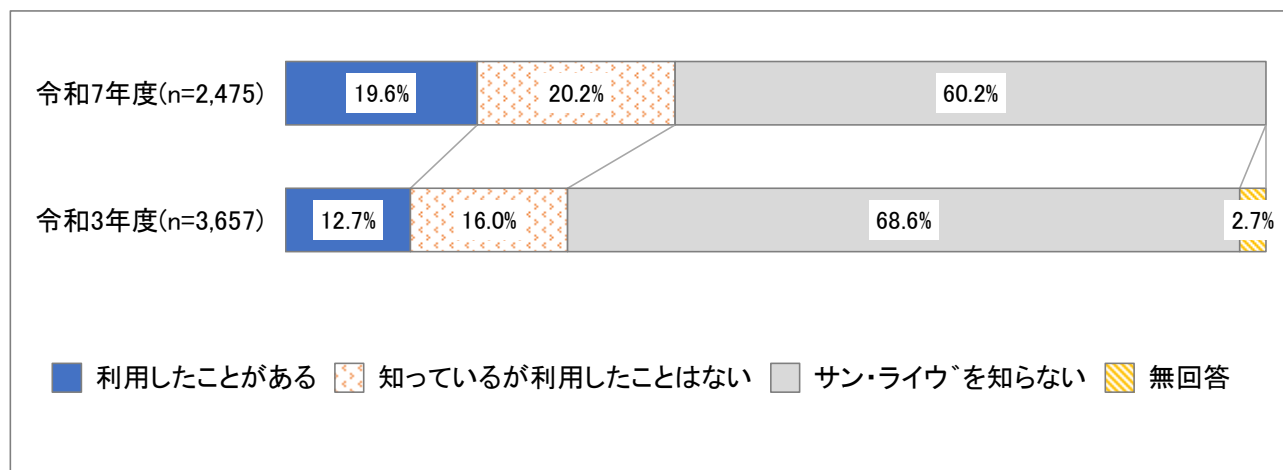
設問 36. 「川崎市母子・父子福祉センターサン・ライヴ」を利用したことがありますか。(SA)

① 認知・利用の状況



図表 71 認知・利用の状況

回答者の認知・利用の状況をみると、「サン・ライヴを知らない」が60.2%と最も高く、次いで、「知っているが利用したことはない」(20.2%)、「利用したことがある」(19.6%)と続いている。



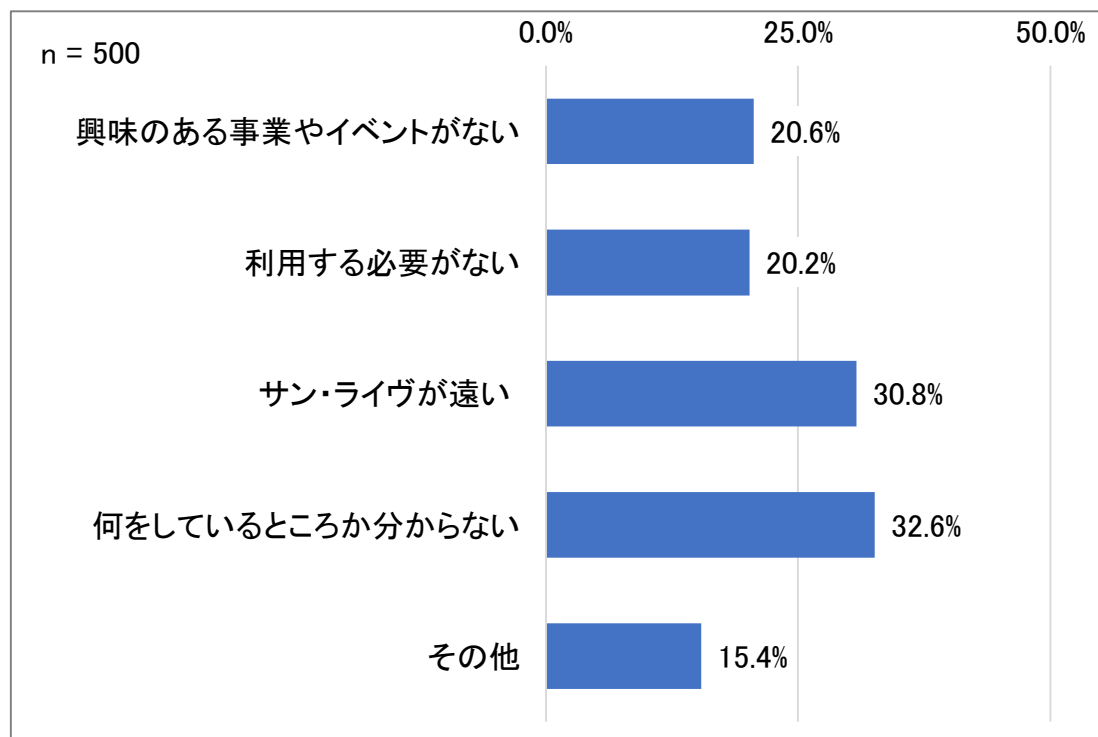
図表 72 認知・利用の状況（前回比較）

認知・利用の状況についての前回比較では、「利用したことがある」では、6.9ポイント増加した。また、「サン・ライヴを知らない」については8.4ポイント減少した。

② 利用していない理由

(設問 36 で「知っているが利用したことはない」を選んだ場合)

設問 37. 「川崎市母子・父子福祉センターサン・ライヴ」を利用していない理由を教えてください。(MA)

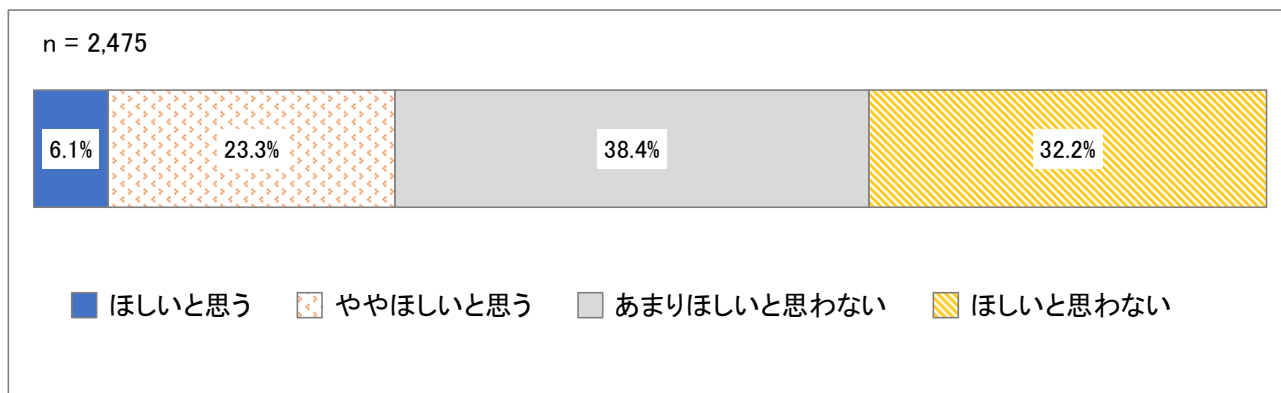


図表 73 利用していない理由

回答者の利用していない理由をみると、「何をしているところか分からない」が32.6%と最も高く、次いで、「サン・ライヴが遠い」(30.8%)、「興味のある事業やイベントがない」(20.6%)と続いている。

7. 2. ひとり親家庭同士の交流の希望

設問 38. ひとり親家庭同士で交流する機会がほしいと思いますか。(SA)

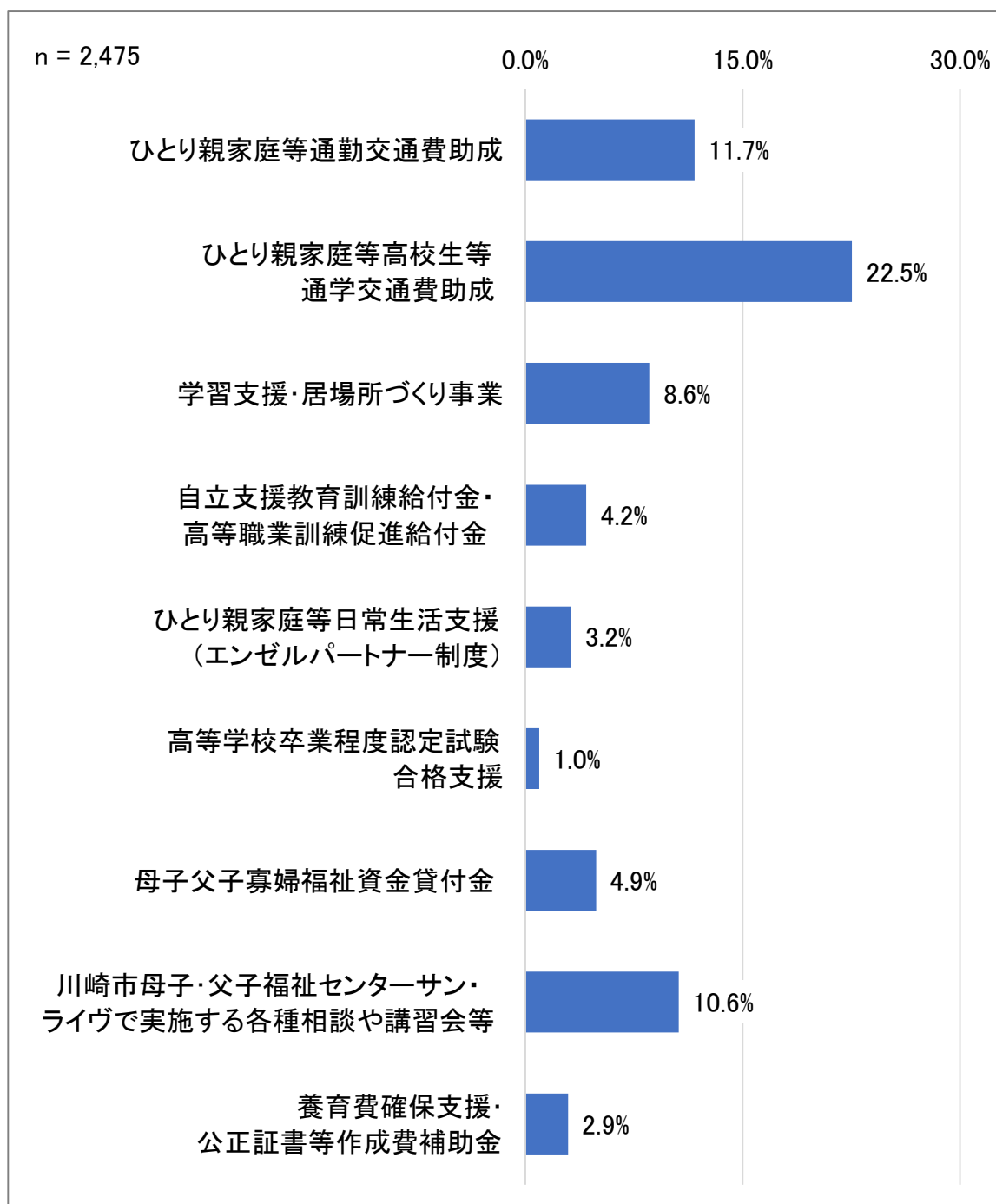


図表 74 ひとり親家庭同士の交流の希望

回答者のひとり親家庭同士の交流の希望をみると、「あまりほしいと思わない」が38.4%と最も高く、次いで、「ほしいと思わない」(32.2%)、「ややほしいと思う」(23.3%)と続いている。

7. 3. 支援施策の利用状況

設問 39. 川崎市のひとり親家庭の支援施策について、あなたが利用したことがあるものを全て選択してください。(MA)



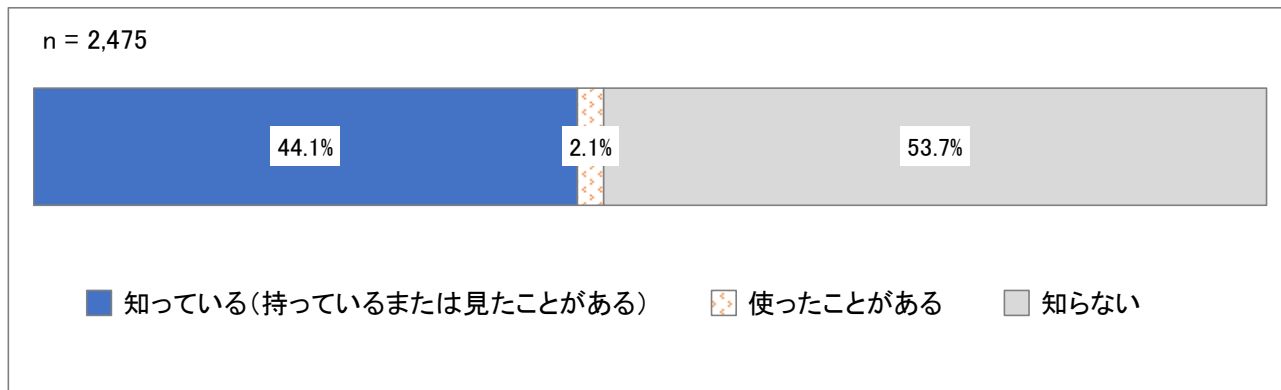
図表 75 支援施策の利用状況

回答者の支援施策の利用状況をみると、「ひとり親家庭高校生等通学交通費助成」が 22.5%と最も高く、次いで、「ひとり親家庭通勤交通費助成」(11.7%)、「川崎市母子・父子福祉センターサン・ライヴで実施する各種相談や講習会等」(10.6%)と続いている。

7. 4. ひとり親家庭サポートガイドブック

設問 40. 川崎市のひとり親家庭サポートガイドブック「まなざし」(Web版を含む)を知っていますか。(SA)

① 認知・利用の状況



図表 76 認知・利用の状況

回答者の認知・利用の状況を見ると、「知らない」が53.7%と最も高く、次いで、「知っている(持っているまたは見たことがある)」(44.1%)、「使ったことがある」(2.1%)と続いている。

② 自由意見

(設問 40 で「知っている」「使ったことがある」を選んだ場合)

設問 41. ひとり親家庭サポートガイドブック「まなざし」の感想、印象や御意見があれば教えてください。

[n=213、記入率約 18.6%]

※件数は記載内容の分類毎に重複してカウント

(1) 内容に関すること

分類	記載内容の一例	件数
内容への良い評価や感謝など	・いろいろな支援があり、安心する。 ・助けられた。 ・詳細に記載されていて、わかりやすい。 ・幅広い分野について記載されている。 ・交通費助成を利用できた。 ・資格取得やセミナーの情報が役立った。	82
内容の複雑さに関する こと	・所得や収入など言葉が難しい。 ・前年度からの変更点などがあれば分かりやすくまとめてほしい。 ・たくさん情報がありすぎて該当するものを探すのが難しい。 ・外国人の方々にも英語をはじめ、多言語のひとり親家庭サポートガイドブックがあったらすごく助かる。	35
配布場所に関する こと	・配布場所がわかりにくい。 ・新しい物が欲しいが区役所のどこにあるか分からない。	2
その他	・分かりやすいが、申請が大変。 ・どこに連絡すればいいかわからない。 ・使える情報がなかった。	9

(2) 利用や手続等に関する こと

分類	記載内容の一例	件数
所得制限に関する こと	・ほぼ全部の支援が所得制限で使えないので、あまり自分の役には立っていない。 ・児童扶養手当を受けていないと受けられるものが少ない。入院時など一時的に困った時のサポートもあるといい。	5
手続きに関する こと	・平日にいけない。 ・貸付など手続きが大変で、踏み出せない。	6
使用可否に関する こと	・住宅リフォームの貸付で利用しようとしたが、居住に困るほどの壊れ方でないと使えないとなった。	3
制度有無に関する こと	・該当するものがない	8

(3) 窓口利用に関する こと

分類	記載内容の一例	件数
手続きに関する こと	・制度を使う所を 1 カ所にまとめる、手続きを簡素化する等をしてほしい。 ・窓口や施設に直接申請に行かないといけないものがあり、仕事を休む等スケジュールの調整が必要で負担がかかる。 ・窓口で自分が当てはまる、利用できる制度を教えてくれるとありがたい。 ・サービスに該当するものがあつたら自動的にそのサービスを享受できるか、ご案内があるといい。	4

その他	・サン・ライヴの担当者さんがとても親身で本当に助かった。 ・以前、記載されている制度について電話したが感じが悪く、もう使わないと思った。	3
-----	---	---

(4) 媒体に関すること

分類	記載内容の一例	件数
電子媒体に関すること	・離婚を考えている段階では冊子は受け取りづらく、もっと WEB があることを広めてほしい。 ・電子版になったのでいつでもすぐ検索して調べられて便利になった。フルタイム勤務で部屋の片付けもままならないためここに置いたのかわからなくなることが多いので電子版は助かる。	4
紙媒体に関すること	・冊子のサイズがもう少しコンパクトだといいなと思う。 ・インターネット検索をする余裕が無い、またはインターネットを見てしまうと色々見てしまい時間がとられるので、できるだけ使いたくないので冊子はありがたい。 ・ネット検索もするが冊子になっていると情報がひとまとまりになっていて見やすいのと、手書きでメモも出来るので紙ベースのものを継続してくれると嬉しい。	7
郵送に関すること	・毎年更新されるのであれば、郵送または PDF で全ページを公開してほしい。 ・毎年郵送してくださるとありがたい。web 版は書き込んだり手帳に挟んだりなどしにくいから。	3

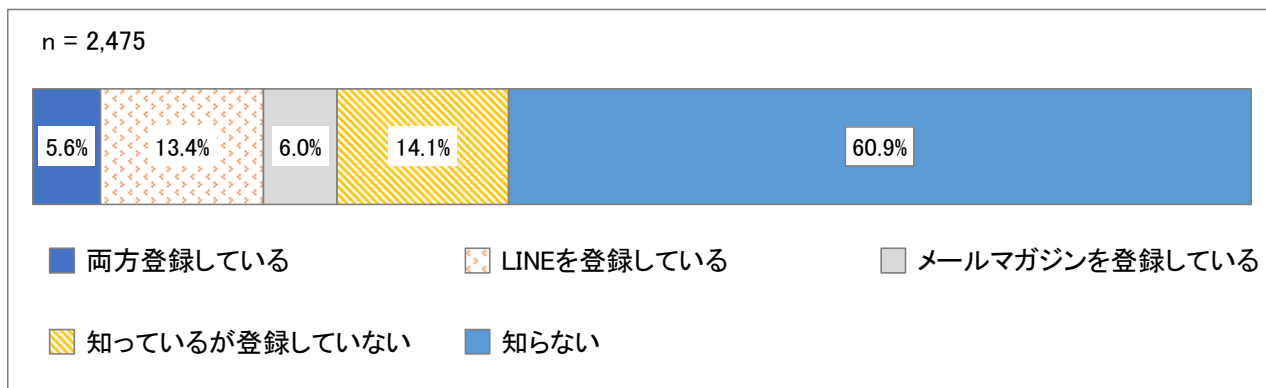
(5) その他

分類	記載内容の一例	件数
良い評価や感謝など	・経済的 DV 被害のために離婚に踏み切ろうとしていた時、寄り添っていただけた支援があるとわかり、心強かった。 ・不安な時に心を落ち着かせることができる。	6
まなざしの認知度に関すること	・ガイドブックを区の職員さんが教えて下さるまで知りませんでした。働いているひとり親家庭ですと、知る機会が少ないので同じ様な方が多いと思う。 ・ネットで色々を探しているときに、このハンドブックがあることを知った。離婚する前から知っていたら良かった。せめて離婚手続きした時に案内してくれたら良かった。もらいに行った時も、担当窓口の方に聞いたときもハンドブックの存在を知らなくて逆にどんなハンドブックか聞かれた。調べる余裕がない人は知らないと思う。	6
その他	・本人に適した支援を教えてくれる読み合わせの機会があると、うれしい。 ・知らないことが沢山ある。もっと周知してほしいこともある。 ・情報としては入ってきても実行できる機会がないので、一度目を通して終わり。	30

7. 5. LINE、メールマガジン

設問 42. 川崎市のひとり親家庭 LINE またはメールマガジンを登録していますか。(SA)

① 認知・利用の状況



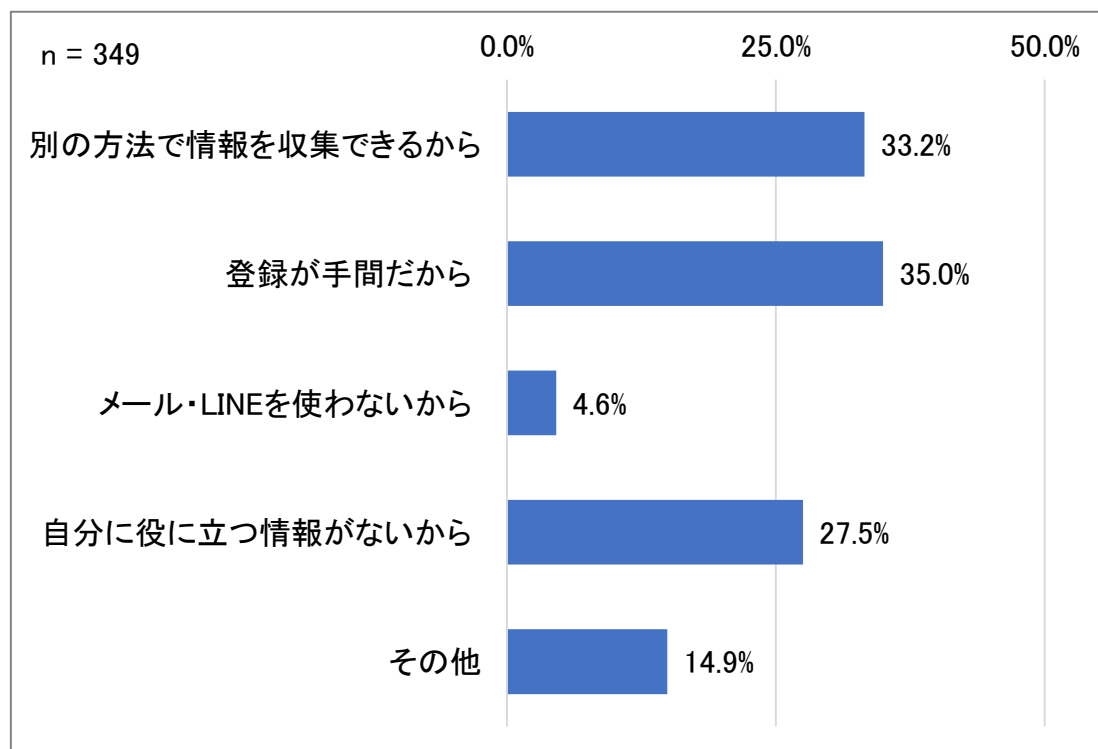
図表 77 LINE、メールマガジン

回答者のLINE、メールマガジンの認知・利用の状況を見ると、「知らない」が60.9%と最も高く、次いで、「知っているが登録していない」(14.1%)、「LINEに登録している」(13.4%)と続いている。

② 利用していない理由

(設問 42 で「知っているが登録していない」を選んだ場合)

設問 43. 川崎市のひとり親家庭 LINE またはメールマガジン登録していない理由を教えてください。(MA)

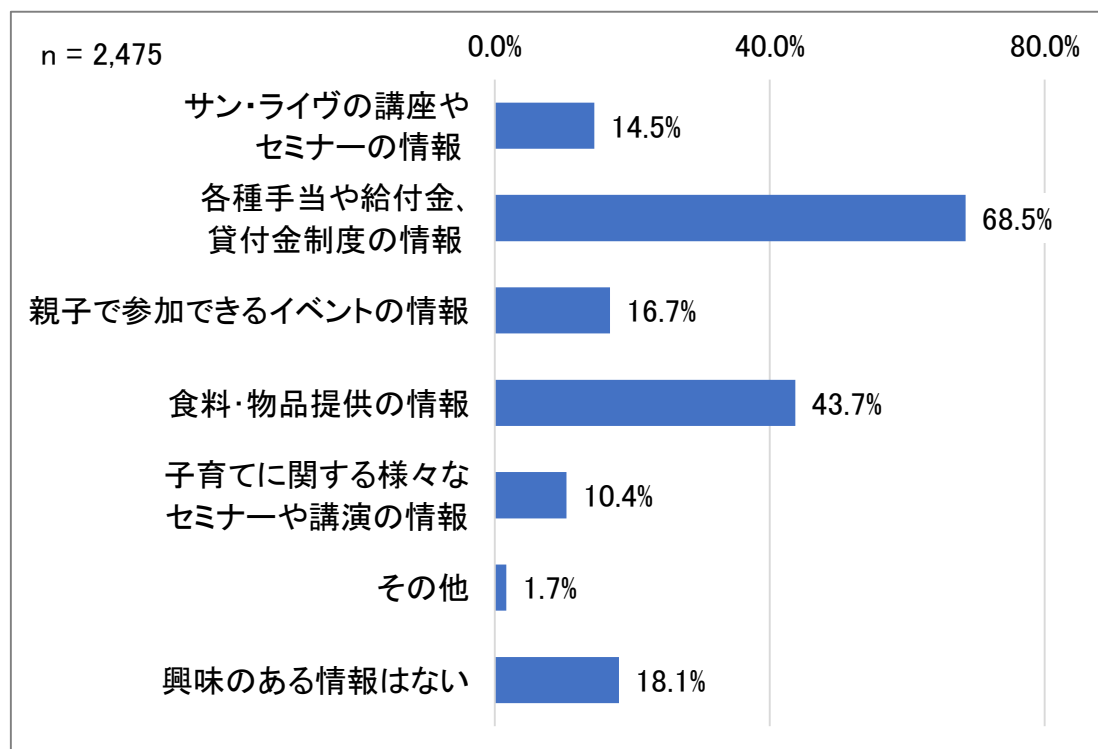


図表 78 利用していない理由

回答者の利用していない理由をみると、「登録が手間だから」が 35.0%と最も高く、次いで、「別の方法で情報を収集できるから」(33.2%)、「自分に役に立つ情報がないから」(27.5%)と続いている。

7. 6. 市の配信情報のうち興味のある情報

設問 44. 川崎市のひとり親家庭 LINE またはメールマガジンで配信される情報のうち、どのような情報に興味がありますか。(MA)



図表 79 興味のある情報

回答者の興味のある情報をみると、「各種手当や給付金、貸付金制度の情報」が 68.5%と最も高く、次いで、「食料・物品提供の情報」(43.7%)、「興味のある情報はない」(18.1%)と続いている。

7. 7. 配信情報の意見

設問 45. 川崎市のひとり親家庭 LINE またはメールマガジンで配信してほしい情報はありますか。
または、どんな情報を配信していると、登録しようと思いますか。

[n=325、記入率約 13.1%]

※件数は記載内容の分類毎に重複してカウント

(1) 経済に関すること

分類	記載内容の一例	件数
支援情報に関すること	・法テラスを利用しても弁護士費用は高額なので、もっと低額にするか、弁護士を利用しなくても裁判に対応できるようにするための対策講座。 ・学資等の支援金、給付金情報。	48
割引情報に関すること	・アドベンチャー施設等のクーポン。 ・生活が少しでも良くなるお得情報。	12
その他	・ひとり親家庭のお金の将来設計。 ・節約術。	7

(2) 相談や手続きに関すること

分類	記載内容の一例	件数
情報提供に関すること	・いつ何をどこですればいいのか、支援の簡単な内容と、必要なもの、手続き期限の一覧。そしてそこから詳細に飛べるリンク。 ・英語版のメールマガジン。 ・こどものステージに応じた支援の情報がほしい。	34
窓口に関すること	・DV 保護や相談窓口。 ・ひとり親の相談所。	8
手続きに関すること	・支援金、各種手続きリマインド。 ・公共料金や日常生活にかかるお金の減免制度の案内や申請方法、現況届やひとり親支援を受ける、継続するために必要な書類の書き方の例やわかりやすい説明。 ・給付金や各種手続き時期に詳細や期日など。	8
その他	・精神的虐待からの健全な精神へ回復にむけての無料の精神講座。 ・元夫からの精神的虐待からの回復のための無料のサポート。	2

(3) 子育てに関すること

分類	記載内容の一例	件数
子育て情報に関すること	・ひとり親にありがちなトラブル、その回避方法。 小さい子どものいるひとり親だけでなく、大きくなってきた子どもがいるひとり親向けにも役立ちそうな話題について。 ・出かけた先に、荷物を一時的に預けられる場所や、少しでも座れるところなど、ひとり親でなくても、大人ひとりで子どもと出かけた際に「ちょっと辛い」場合に頼れる情報。	5
交流に関すること	・ひとり親同士で交流できる場がほしい。 ・母子会など交流情報。	5
習い事に関すること	・ひとり親でも通わせやすい金額の習い事。 ・塾や体験活動などのお知らせ。	3
預け先に関すること	・安心、安全なベビーシッターや一時預かりの情報。 ・子どもを預け、レスパイトが取れる施設の紹介。 ・保育園以外で週末など預けられる施設の情報。	4

就学・学習支援に関すること	・子どもの進学についてのサポート。 ・母子の教育支援にまつわる事柄。 ・大学進学までを考えているので、民間団体や公的な奨学金や就学援助の情報が欲しい。	13
その他	・子育てのセミナー情報。 ・子どもの年齢など入力していれば、自動で必要な情報を受け取れるシステム。 ・母親の息子の成長への対応。(反抗期、ヒゲがはえてきた時の髭剃り方法など)	5

(4) 就業や仕事に関すること

分類	記載内容の一例	件数
求人に関すること	・学歴などなくても働ける求人。 ・内職等。	14
就業支援に関すること	・スキルアップ講座。 ・持っている活躍できる資格、安い料金で土日に学べる資格関連の教室。 ・出張ハローワーク。 ・転職の情報。	8

(5) 施設・イベントに関すること

分類	記載内容の一例	件数
施設情報に関すること	・あまりお金をかけずに子どもと遊べる施設やイベント情報。 ・公園やお金のかからない休日の楽しい過ごし方や場所。	6
イベント情報に関すること	・ひとり親のみで行うイベント。 ・家庭状況に関わらず、子どもが参加できるようなイベントがあるとよい。 「ひとり親」であることを前面に出したイベントは、他の参加者やスタッフの方などに私達親子が「ひとり親なのか」と悟られることを考えると正直参加しづらい。家庭状況に関わらず参加できる子ども向けイベントの招待などあるといいと思う。	14

(6) 住居に関すること

分類	記載内容の一例	件数
住居情報に関すること	・家賃が抑えられる物件。 ・公団の申し込みの開始。 ・子どもと二人でも住める賃貸情報。	8

(7) 障害に関すること

分類	記載内容の一例	件数
支援情報に関すること	・ひとり親で精神障害がある子どもがいる家庭のサポートや支援。 ・ひとり親家庭で子どもに障害がある場合に受けられる福祉サービス、制度、民間サポートなどの情報。	4
相談や窓口に関すること	・発達支援についての情報、気軽に相談できる窓口等。 ・発達障害やグレーゾーンの子どもの相談や病院等。	2
その他	・ひとり親かつ、子どもが障害者となると本当につながりがなかなかできない。またひとり親同士でも理解し合えないものがある。ひとり親かつ障害者の親などのカテゴライズがあるとまだひとり親同士でも繋がりが作りやすいのかもしれない。	4

(8) 食品や日用品に関すること

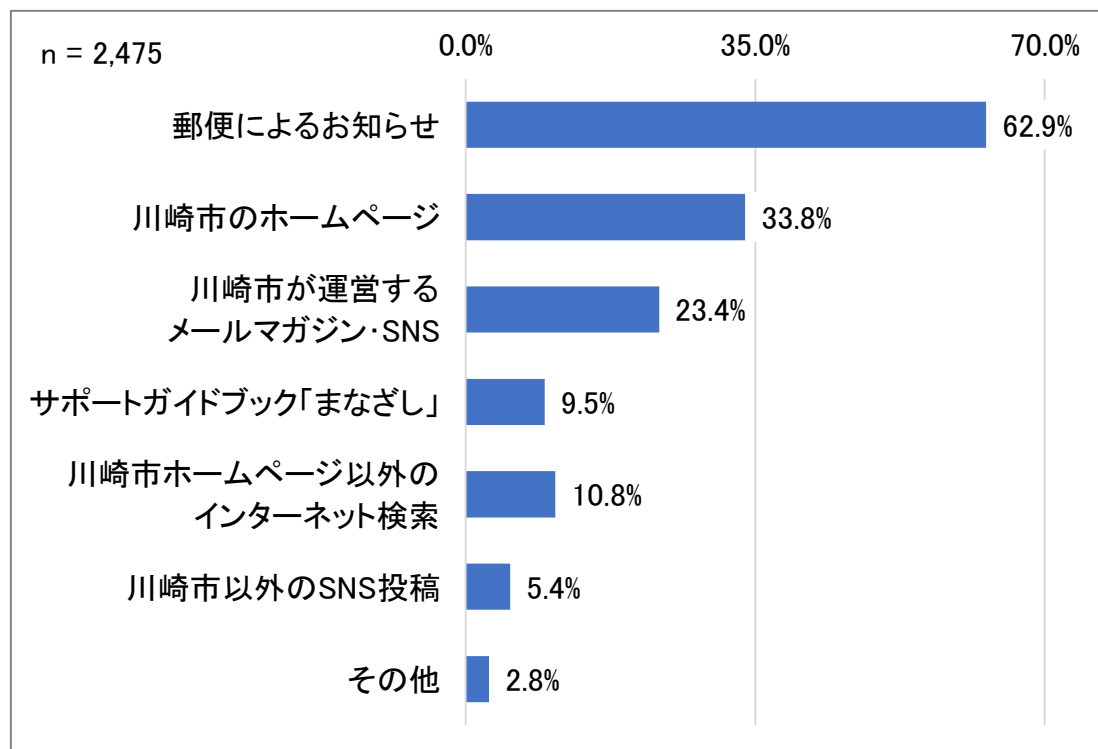
分類	記載内容の一例	件数
配給に関すること	・お米の配給などがあれば。 ・グッドごはんのような、食品をいただける機会を教えてほしい。	15
支援に関すること	・こども食堂など、生活に必要なことで利用できる情報。 ・食料支援の情報。	10

(9) その他

分類	記載内容の一例	件数
その他	・生活に直結する情報。 ・体験談や、気持ちの共有。 ・急激な食料品の物価上昇で、特にお米が高く買えない。食べ盛りの子ども2人いるが、地域に子ども食堂の場所が少ない。 ・自分の地域の不審者情報。	109

7. 8. 情報を得る方法

設問 46. ひとり親家庭が利用できる支援や制度について、どのような方法で情報を得たいですか。(MA)



図表 80 情報を得る方法

回答者が希望する情報の取得方法をみると、「郵便によるお知らせ」が62.9%と最も高く、次いで、「川崎市のホームページ」(33.8%)、「川崎市が運営するメールマガジン・SNS」(23.4%)と続いている。

7. 9. 川崎市の施策に関する意見

設問 47. その他、市の施策に対するご意見やご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

〔n=484、記入率約 19.5%〕

※件数は記載内容の分類毎に重複してカウント

(1) 経済的な状況に関すること

分類	記載内容の一例	件数
医療に関すること	・自分の健康診断（主にがん健診）の補助や、子どものインフルエンザワクチン接種の補助があると大変助かる。 ・ひとり親家庭に限らず、川崎市民への医療費助成を高校生まで拡大してほしい。	12
教育費に関すること	・給食費の無償化を希望。 ・私学高等学校の学費支援の拡充。	71
養育費に関すること	・養育費を払わない方も沢山いるようで、国で改定していてももらいたいが、すぐに変わることはないと思うので(残念ながら)せめて児童手当や児童扶養手当の金額を上げて欲しい。 ・養育費の回収を無料で行って欲しい。請求するためにはかなりのお金がかかり、回収できる可能性も分からず、困窮してしまう。	6
住宅費に関すること	・住宅補助が出ると良いと思う。 ・母子家庭の住居助成金があれば嬉しい。	8
児童扶養手当制度に関すること	・児童扶養手当の収入制限を撤廃してほしい。 ・子供達と触れ合う時間を削り頑張って働いて収入を増やすと助成が受けられなくなる現状のため、収入は下がっても働かずに子供達との時間を確保して助成を受けたほうが良いのかとも思っています。児童扶養手当と医療助成くらいは、頑張ってキャリアを形成しているひとり親にも平等に補助していただけると生きやすい社会になるのではと思います。	41
生活費に関すること	・バス券を復活してもらいたい。 ・家賃補助や光熱費の補助がほしい。	53
その他	・母子家庭でも市県民税が普通の人と同額なのは本当に生活がこまる。 ・ひとり親の立場で高等職業訓練として看護の学校に行っていたが、交通費が出ないのはきつい。 ・医療費支援などの期間を延ばしてほしい。貸付金ではなく助成金を増やしてほしい。	26

(2) 健康等の不安に関すること

分類	記載内容の一例	件数
子どもの健康に関すること	・障害を持つ子どもがいる場合の特例に助けられた。20 歳になり子どもは障害者年金に移行するが、障害の程度が重いので親が就職できず、子どもの年金だけで母子生活している。最後の砦で生活保護を受ける選択はとても心が痛み、実行をためらっている。 ・子どもも自閉症スペクトラム症のグレーなので療育にも通っている。子どもにはできる限りの事はしてあげたい、苦労しない人生にしてあげたい。	4
親自身の健康や障害に関すること	・持病と障害があるため働きたくても働けない現状を知って欲しい。「親の世帯年収が越えているから児童扶養手当を停止する。」と言われても、その分親からの援助があるわけではない。児童扶養手当でな	6

	んとか学費や年金、食費などのやりくりをしていたので、とても困っている。 ・長期入院、休職のときに、子どもを預ける場所や相談するところがわからなくて、悩んだ。1人の親の人はすべて1人でしている人も多く、働きすぎて、精神的に追い込まれている人も多いと思う。なので、期限がすぎているひとは、電話などしてあげるといいと思う。区役所にいくのも、苦労する人もいると思う。	
--	---	--

(3) 子育てに関すること

分類	記載内容の一例	件数
子どもの預け先に関する こと	・子どもを泊まりで預けられるサービス希望。 ・休憩する時間、家事をする時間を取りたいので、半日でもいいので、子どもを預かってくれる施設がほしい。	7
親同士の交流に関する こと	・ひとり親の知り合いがないので交流する機会がほしい。 ・ひとり親同士の交流はしてみたいが時間が取れない。親子の体調不良で欠勤もあるため仕事は休みたくないし、休みの日は家の事や子どもとの時間で興味があっても無理だと思った。	3
子育て支援に関する こと	・メディアでよく見る学習支援やこども食堂などが身近に無いので増やして欲しい。 ・支援制度の拡充としては子どもが高校卒業後も学生の間は何らかのサポートや支援等を受けられると助かる。	18
障害児支援に関する こと	・発達障害による不登校等の支援というか、欠席扱いにしないで自宅で学習していたら登校でも欠席でなく、自宅学習として別の枠を作ってほしい。 ・発達障害児のサポートを受けているが、時間がかかりすぎる等思い通りにことが運ばないことが多い。	4
習い事に関する こと	・塾代の補助も検討してほしい。 ・塾に行ったり習い事をさせたりするのは経済的に厳しいけれども、子供には周りの友人達と同等の学力を備えてもらいたいし、様々な活動をして経験を積んでももらいたい、というジレンマは常にあります。	7
その他	・小学校のわくわくのお迎え時間の融通がきかない。 ・手話教室などが福祉センターなどにあるみたいで、小学生は夏休みなどに体験のような企画があるが、なかなか、中学生対象は無いのが残念。なので、夏休みなどにあったら嬉しい。 また、サン・ライブで簿記の講座などやっているが、ひとり親家庭でも親だけが対象なので、子どもも通えればありがたいなと思った。	2

(4) 相談や手続きに関すること

分類	記載内容の一例	件数
窓口の対応や対応内容 に関する こと	・いつも感じが悪いので極力区役所のかたとは関わりたくない。 ・子どもに関する手続きの一覧表があると助かる。 ・サン・ライブ以外でエンゼルパートナー相談できるようにしてほしい。	50
制度に関する こと	・エンゼルパートナーほど安くなくていいので長期で使える家事支援サービス希望。残業して帰ってきたらもうへとへとで家事がとてもじゃないけど最低限しかできない。 ・一人親は地域の学校や町会などの活動の役員になったりするのが難しい。一人で子どもを家に置いて行けないから。市などで、子どもが高学年になってからなど決まりが出来たら助かる。 ・高校授業料無償化などの計画や申請方法の早めの情報提供。	60

その他	・ホームページには、相当調べないと出てこない。もっとわかりやすく載せるべきだと思う。 ・書類の記載方法や提出物がわかりづらい。サイトもわかりづらく、結局電話することになるので改善してほしい。	19
-----	--	----

(5) 就業に関すること

分類	記載内容の一例	件数
就業場所や時間に関すること	・ひとり親に持病があっても安心して働ける場所があったら嬉しい。 ・在宅ワークや単発短時間の仕事を、市役所の方と会社でたくさん作って欲しい。	8
就業支援に関すること	・正社員で働いていて決して高い年収とは言えないが、ひとり親サポートで使える制度がどれもレベルが低すぎるものばかり。低所得ではなくても、日本の平均年収であっても片親なので世帯年収としては両親家庭と比べると苦しいと思うので、高年収以外のひとり親家庭が使えるサポートをもっと導入してほしい。 ・転職活動のサポート。	2

(6) 住居に関すること

分類	記載内容の一例	件数
市営住宅に関すること	・ひとり親に限らずどの家庭も住居費の負担が大きい、なかなか手頃で良い物件が無い。市営住宅に住める基準を下げる、もしくは準市営住宅的なものがあると助かる。 ・義務教育が終了したから市営住宅の賃料が高くなるのお知らせがきた。養育費もなく高校生になり今まで以上に食費や生活費、塾、交際費、部活、外食などでお金がかかるのでまずその制度をどうにかしてほしい。	8
その他	・賃貸を探し、家主の方の審査にて断られた。ひとり親であること、給料が低いことが理由とのこと。家賃もかなり高騰しており、今後どうしたら良いのかと思う。市営住宅も近場にあまりない。UR もかなり高い。市や県によっても助成等にかなり差を感じる。 ・ひとり親に対する住居手当や住居確保の支援があればとても助かるが、川崎市には、住居に関しての支援が全くなって困る。	4

(7) その他

分類	記載内容の一例	件数
ホームページに関する こと	・市や教育委員会のホームページがわかりにくい。見やすく探しやすいホームページならば郵便によるお知らせでなくてもよい。市民が声をあげられる場を Web や SNS 上に作ってほしい。 ・住宅も市営県営を探そうにもサイトがわかりにくく、支援を受けようにもサイト自体が見づらい。役所に聞きに行けば時間がかかる。ネット社会の意味がない。	4
アンケートに対するご 意見	・思い出したくない事もあるので、個人的にはこういったアンケートは好ましく思わない。 ・支援を受けていない場合は、このようなアンケートなども送ってこないで欲しい。 ・通知、お知らせも助かるが、文書の文面が長いと、目を通す事が億劫になってしまう時がある。	3
制度への良い評価や感 謝など	・LINE での情報いつもありがとうございます。迅速にわかりやすいので、いつも助かっている。 ・学習支援に通っているが、大変助かっている。 ・親の医療費負担がないのはとても助かっている。	32
その他	・市の「花と緑と～」のイベントを見ていて、花も心が安らぎとてもいいと思うが、樹木を増やすと長い目で見て人と地球に優しいと思う。沿岸部に近づくにつれ緑が少ないので日陰が欲しい。 ・サポートガイドブック「まなざし」は、最初にいただいた時は嬉しかったが、毎年更新していただいて、印刷代とか勿体無くないのかなと思っている。リアルタイムで情報をいただけるメールや SNS、1 年に 1 回の郵便で十分だと感じている。先日も、児童扶養手当の増額のメールが届いてちゃんと考えてくれていると川崎市を好きになりました。	42

令和7年度川崎市ひとり親家庭に関するアンケート調査項目

資料

※「その他（）」は自由記述とする。

番号	質問	回答方法	選択肢
1	お住まいの区はどちらですか。	単一 選択	1. 川崎市 2. 幸区 3. 中原区 4. 高津区 5. 宮前区 6. 多摩区 7. 麻生区 8. 川崎市外
2	現在の世帯の状況は次のうちどれですか。	単一 選択	1. 母子世帯（親族等との同居を含む） 2. 父子世帯（親族等との同居を含む） 3. その他（）
3	あなたの年齢（令和7年4月1日時点）を入力してください。	入力	年齢 歳
4	ひとり親になったときの年齢を入力してください。	入力	年齢 歳
5	ひとり親世帯となった理由は次のうちどれですか。	単一 選択	1. 離婚 2. 死別 3. 未婚のひとり親 4. その他
6	あなたのご家庭は現在、児童扶養手当を受けていますか。	単一 選択	1. 受けている 2. 受けていない
7	あなたのご家庭は現在、ひとり親家庭等医療費助成を受けていますか。	単一 選択	1. 受けている 2. 受けていない
8	あなたのご家庭は現在、生活保護を受けていますか。	単一 選択	1. 受けている 2. 受けていない
9	現在の住居は次のうちどれですか。	単一 選択	1. 民間賃貸住宅 2. 市営住宅 3. 県営住宅 4. 公社・公団（UR）の賃貸 5. 親・親族の住宅に同居 6. 社宅・社員寮 7. 母子生活支援施設 8. 持ち家（戸建・分譲マンション） 9. その他（）
10	月々の住居費（管理費等含む）について、あてはまるものを選んでください。（ご自身の負担している金額のみ）	単一 選択	1. 負担なし 2. 3万円未満 3. 3～5万円未満 4. 5～7万円未満 5. 7～10万円未満 6. 10～15万円未満 7. 15～20万円未満 8. 20～25万円未満 9. 25万円以上
11	お子さんの人数を選択してください。	単一 選択	1人 ～ 10人以上
12	お子さんの年齢（令和7年4月1日時点）を、年齢が上の子から順に、それぞれ入力してください。	入力	年齢 歳
13	お子さんの修学（就職）状況と進学の希望について伺います。		
13-1	○人目のお子さんの修学（就職）状況を、選択してください。	単一 選択	1. 小学校入学前 2. 小学校 3. 中学校 4. 高校 5. 高等専門学校 6. 短大・大学・専門学校 7. 大学院 8. その他の各種学校 9. 就労 10. その他（）
13-2	○人目のお子さんの進学について、どこまで進学させたいと思いますか。	単一 選択	1. 中学校 2. 高校 3. 高等専門学校 4. 短大・大学・専門学校 5. 大学院 6. その他の各種学校 7. その他（） 8. 未定
14	あなたの身近に、支援や援助をしてくれる人や、相談相手がいいますか。（行政やNPO等の団体を除く） あてはまるものを全て選択してください。	複数 選択	1. いなし 2. 自分の親 3. 自分の親族（親以外） 4. 知人・友人 5. 元配偶者 6. 元配偶者の親族 7. その他（）
15	設問14で選択した人から受けている支援として、あてはまるものを全て選択してください。	複数 選択	1. 家事・育児 2. 金銭 3. 食料品・生活用品 4. 相談相手・話し相手 5. その他（）
16	支援を受けたい時、あなたの身近な人以外で最初の相談先として思うところはどれですか。	複数 選択	1. 区役所の窓口 2. 川崎市母子・父子福祉センター サン・ライブ 3. ひとり親家庭を支援する民間団体 4. 保育所、幼稚園、学校 5. インターネット等の情報 6. ホームページの制度のページ等にある担当部署 7. わからない 8. その他（）
17	あなたは現在、就労していますか。（自営業も含む）	単一 選択	1. 就労している 2. 就労していない
18	現在の就労先はいくつありますか。（自営業をされている場合は1つとしてカウントしてください。）	単一 選択	1. 1つ 2. 2つ 3. 3つ 4. 4つ以上
19	現在の主な就労先の雇用形態を教えてください。	単一 選択	1. 正社員・正規職員 2. 契約社員 3. 派遣社員 4. パート・アルバイト 5. 会社役員 6. 自営業・個人事業主 7. 自営業手伝い 8. 家庭内での内職 9. その他（）
20	1週間の平均的な就業時間を教えてください。（時間外・残業の時間・休憩時間等を含む） 就労先が複数ある場合は、合計時間で選択してください。	単一 選択	1. 15時間未満 2. 15時間～25時間未満 3. 25時間～35時間未満 4. 35時間～40時間未満（7～8時間×5日程度） 5. 40時間超
21	あなたの年間の収入（手取りではなく額面）を選択してください。 給与のほか、その他の収入がある場合はそれを含めて選択してください（手当、年金、養育費は除く）	単一 選択	1. 0円 2. 100万円未満 3. 100万円～200万円未満 4. 200万円～300万円未満 5. 300万円～400万円未満 6. 400万円～500万円未満 7. 500万円～600万円未満 8. 600万円以上 9. 分からない
22	転職・就職、資格取得などによるキャリアアップや処遇改善を考えていますか。	単一 選択	1. 現在考えている 2. いずれ考えたい 3. 考えていない

令和7年度川崎市ひとり親家庭に関するアンケート調査項目

資料

※「その他（）」は自由記述とする。

番号	質問	回答方法	選択肢
23	キャリアアップ等を考えたときにネックと感じることはありますか。	複数 選択	1. 責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安 2. 転職や資格取得の時間がとれない 3. 条件に合う就労先がない 4. 新たな職場になることへの不安 5. その他（） 6. 特になし
24	キャリアアップ等を考えていない理由は何ですか。	複数 選択	1. 責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安 2. 転職や資格取得の時間がとれない 3. 条件に合う就労先がない 4. 新たな職場になることへの不安 5. 収入や待遇に満足している 6. 考える余裕がない 7. その他（）
25	過去1年間で、日常生活をするうえで経済的な（お金による）困りごとはありましたか。あてはまるものすべて選択してください。	複数 選択	1. 電気・ガス・水道料金の滞納 2. 税金・保険料の滞納 3. 家賃やローンの返済の滞納 4. 食事を我慢した 5. お子さんの塾や習い事をやめた 6. 私立高校への進学を諦めた 7. 大学・専門学校への進学を諦めた 8. その他（） 9. 特になし
26	お金による困りごととなった原因として思い当たることを選択してください。	複数 選択	1. 物価の高騰 2. 自分又はお子さんの病気やケガ 3. 自分の親族等の病気やケガ 4. お子さんの学校での費用、受験料等の出費 5. 収入が少ない(減った) 6. その他（）
27	離婚の際に、第三者を交えた交渉や審判を行いましたか。行った場合は利用した制度を選択してください。	複数 選択	1. 当人同士の話し合いのみ（制度利用なし） 2. 調停・審判（裁判所での話し合い） 3. 裁判（裁判所に判決を求める） 4. ADRによる話し合い（民間紛争解決手続） 5. その他（）
28	離婚の際、次の①～③の内容について、取り決めの方法としてあてはまるものを選択してください。 ①養育費 ②親子交流（面会交流）③共同親権	単一 選択	1. 公正証書 2. 調停調書 3. 裁判所の審判書や判決書等 4. ADRによる合意書 5. 私的な文書・念書 6. 口頭のみ 7. その他（） 8. 特に取り決めていない
29	設問28の内容以外で、お子さんの養育にかかる条件で取り決めた内容があれば教えてください。	自由 記述	
	取り決めの方法としてあてはまるものを選んでください。	単一 選択	1. 公正証書 2. 調停調書 3. 裁判所の審判書や判決書等 4. ADRによる合意書 5. 私的な文書・念書 6. 口頭のみ 7. その他（）
30	設問28の内容の取決めを行っていない理由としてあてはまるものをすべて選択してください。	複数 選択	1. 自身の要因（必要性を感じなかった、協議をできる状況ではなかった、等） 2. 元配偶者の要因（協議をできる状況ではなかった、養育費の支払い能力がない、等） 3. 協議を行ったが意見が折り合わなかった 4. 協議にかかる費用負担が大きかった 5. 相談できる機関を知らなかった 6. その他（）
31	養育費の受け取りの状況を教えてください。	単一 選択	1. おおむね継続的に受け取っている 2. 一部または時々受け取っている（金額や回数が守られていない） 3. 受け取っていない 4. その他（）
32	養育費の平均的な金額（月額）を教えてください。	単一 選択	1. 1万円未満 2. 1～3万円未満 3. 3～5万円未満 4. 5～7万円未満 5. 7～10万円未満 6. 10～15万円未満 7. 15万円以上
33	親子交流（面会交流）の実施状況を教えてください。	単一 選択	1. 現在も会っている 2. 以前は会っていたが、今は会っていない 3. 一度も会ったことがない 4. その他（）
34	親子交流（面会交流）を行わない（行うことができない）理由として思うことがあれば教えてください。	複数 選択	1. 元配偶者と関わりたくない・お子さんを会わせたくない 2. 元配偶者がお子さんと会いたがらない・連絡がとれない 3. お子さんが元配偶者に会いたがらない 4. その他（）
35	離婚をする前に「あればよかった」と思う機会があれば教えてください。	複数 選択	1. 取り決めておくべきことを知る機会 2. 離婚前後に活用できる支援や制度を知る機会 3. 子どもに関することを学ぶ機会 4. 同じように離婚を考えている人と知り合う機会 5. その他（） 6. 特にない
36	「川崎市母子・父子福祉センターサン・ライヴ」を利用したことがありますか。	単一 選択	1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. サン・ライヴを知らない
37	「川崎市母子・父子福祉センターサン・ライヴ」を利用していない理由を教えてください。	複数 選択	1. 興味のある事業やイベントがない 2. 利用する必要がある 3. サン・ライヴが遠い 4. 何をしているところか分からない 5. その他（）
38	ひとり親家庭同士で交流する機会がほしいと思いますか。	単一 選択	1. ほしいと思う 2. ややほしいと思う 3. あまりほしいと思わない 4. ほしいと思わない
39	川崎市のひとり親家庭の支援施策について、あなたが利用したことがあるものを全て選択してください。	複数 選択	1. ひとり親家庭等通勤交通費助成 2. ひとり親家庭等高校生等通学交通費助成 3. 学習支援・居場所づくり事業 4. 自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金 5. ひとり親家庭等日常生活支援（エンゼルパートナー制度） 6. 高等学校卒業程度認定試験合格支援 7. 母子父子寡婦福祉資金貸付金 8. 川崎市母子・父子福祉センターサン・ライヴで実施する各種相談や講習会等 9. 養育費確保支援・公正証書等作成費補助金 10. その他（） 11. なし
40	川崎市のひとり親家庭サポートガイドブック「まなざし」（Web版を含む）を知っていますか。	単一 選択	1. 知っている（持っているまたは見たことがある） 2. 使ったことがある 3. 知らない
41	ひとり親家庭サポートガイドブック「まなざし」の感想、印象や御意見があれば教えてください。	自由 記述	自由記述

令和7年度川崎市ひとり親家庭に関するアンケート調査項目

資料

※「その他（）」は自由記述とする。

番号	質問	回答方法	選択肢
42	川崎市のひとり親家庭LINEまたはメールマガジンを登録していますか。	単一選択	1. 両方登録している 2. LINEを登録している 3. メールマガジンを登録している 4. 知っているが登録していない 5. 知らない
43	川崎市のひとり親家庭LINEまたはメールマガジン登録していない理由を教えてください。	複数選択	1. 別の方法で情報を収集できるから 2. 登録が手間だから 3. メール・LINEを使わないから 4. 自分に役に立つ情報がないから 5. その他（）
44	川崎市のひとり親家庭LINEまたはメールマガジンで配信される情報のうち、どのような情報に興味がありますか。	複数選択	1. サン・ライブの講座やセミナーの情報 2. 各種手当や給付金、貸付金制度の情報 3. 親子で参加できるイベントの情報 4. 食料・物品提供の情報 5. 子育てに関する様々なセミナーや講演の情報 6. その他（） 7. 興味のある情報はない
45	川崎市のひとり親家庭LINEまたはメールマガジンで配信してほしい情報はありますか。 または、どんな情報を配信していると、登録しようと思いますか。	自由記述	自由記述
46	ひとり親家庭が利用できる支援や制度について、どのような方法で情報を得たいですか。	複数選択	1. 郵便によるお知らせ 2. 川崎市のホームページ 3. 川崎市が運営するメールマガジン・SNS 4. サポートガイドブック「まなざし」 5. 川崎市ホームページ以外のインターネット検索 6. 川崎市以外のSNS投稿 7. その他（）
47	その他、市の施策に対するご意見やご要望がありましたら、ご自由に記入してください。	自由記述	自由記述